

早島町まちづくりアンケート

調査結果報告書

平成 29 年 3 月

早島町

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象者	1
3	調査対象数	1
4	調査期間	1
5	配布・回収方法	1
6	回収状況	1
7	調査結果の見方等	1
8	標本誤差	2
II	調査結果	3
1	回答者の属性について	3
2	早島町での暮らしについて	12
3	まちづくり憲章に基づく町の施策について	24
I	まちづくり憲章の「町民総参加のまちづくり」に向けて	24
II	まちづくり憲章の「地域福祉のまちづくり」に向けて	34
III	まちづくり憲章の「水と緑の美しいまちづくり」に向けて	44
IV	まちづくり憲章の「生涯学習のまちづくり」に向けて	48
V	まちづくり憲章の「生活優先のまちづくり」に向けて	52
4	早島町の将来像について	67
5	男女共同参画社会について	73
6	重要度・満足度から見た分析について	109
7	自由意見について	113

I 調査概要

1 調査目的

これからのまちづくりの指針として『早島町まちづくり憲章』を定め、まちづくりの取組を進めているなかで、町民の皆様の町政や住み心地に対する満足度等を把握し、今後の施策の展開の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を行いました。また、男女共同参画社会の実現のための意識や現状についても併せて調査を実施しました。

2 調査対象者

早島町在住で20歳以上の男女2,000人を調査対象としました。

3 調査対象数

2,000人

4 調査期間

平成28年9月1日～平成28年9月16日

5 配布・回収方法

郵送配布・郵送回収によるアンケート調査

6 回収状況

配布数：2,000件

有効回収数：668件

有効回収率：33.4%

7 調査結果の見方等

- ・報告書中の「n=」とあるのはパーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ・算出されたパーセントは小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合もあります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は100.0%を超えます。
- ・居住地域、性別等が「無回答」の部分は、報告書の図表には表示していませんので、合計が全体のサンプル数と一致しない場合があります。
- ・自由意見（P113～P120）は、原則として原文のままとしました。判読不明な文字は●で表記しています。

8 標本誤差

- 本調査は抽出調査であるため、母集団（20歳以上の全町民）に対して標本誤差が生じる。統計学的には、次式で標本誤差率を計算して、母集団の回答を推測する。

■計算式

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N…母集団の大きさ（平成28年10月1日時点20歳以上人口 9,632人）

n…サンプル数（有効回答数 668件）

p…回答比率（%）（誤差が最大となる50%と設定）

危険率 5%（信頼度 95%）

信頼度95%の場合の標準偏差=1.96

注）信頼度95%：100回同じ調査を実施したときに、概ね95回まではこの精度が得られることを示す。

注）回答比率50%：回答比率は、ある質問に対する回答の割合。例えば質問に対して「はい」の回答が「50%」の場合、上記の式の『 $p(1-p)$ 』が『 $0.5(1-0.5)=0.25$ 』と最大となるため、回答比率50%が最も高い誤差率となる。

■標本誤差の数値

上記の計算から計算した誤差率は下記の表である。誤差率が最も高い回答比率50%の質問においても、その回答比率の誤差は±3.66であることを示している。

したがって、本報告書で示す調査結果は、誤差の範囲が±2.19～±3.66%であり、町民の傾向を把握するために十分なサンプル数を確保できたと考えられる。

回答比率 (p) \ サンプル数 (n)	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
2000	±1.17	±1.56	±1.79	±1.91	±1.95
1000	±1.76	±2.35	±2.69	±2.87	±2.93
800	±1.99	±2.65	±3.04	±3.25	±3.32
668	±2.19	±2.93	±3.35	±3.58	±3.66
500	±2.56	±3.41	±3.91	±4.18	±4.27
300	±3.34	±4.46	±5.10	±5.46	±5.57
100	±5.85	±7.80	±8.94	±9.55	±9.75

Ⅱ 調査結果

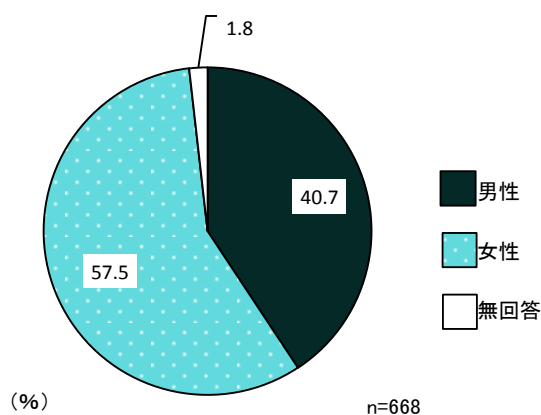
1 回答者の属性について

問1 あなたの性別をお答えください。

【○は1つだけ】

回答者の性別について、「女性」が57.5%、「男性」が40.7%となっています。

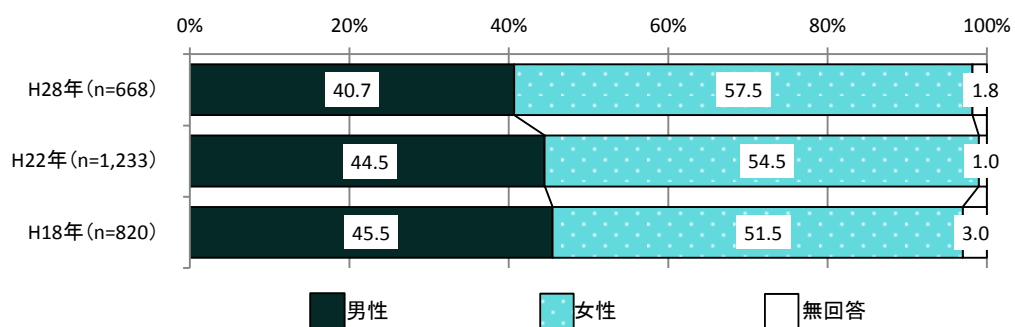
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」、「H18年調査」に比べて、「女性」が高くなっています。

【経年比較 図】

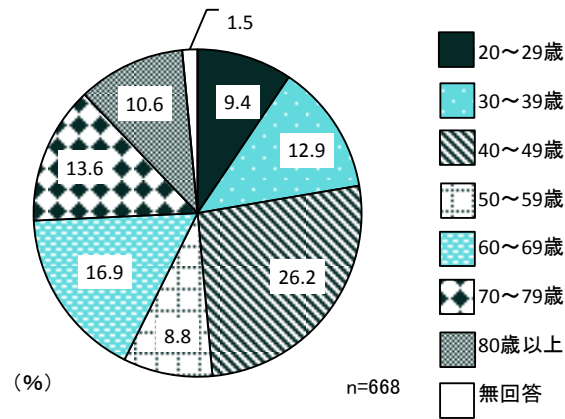


問2 あなたの年齢をお答えください。

【○は1つだけ】

回答者の年齢について、「40～49歳」が26.2%と最も高くなっています。ついで、「60～69歳」が16.9%、「70～79歳」が13.6%となっています。

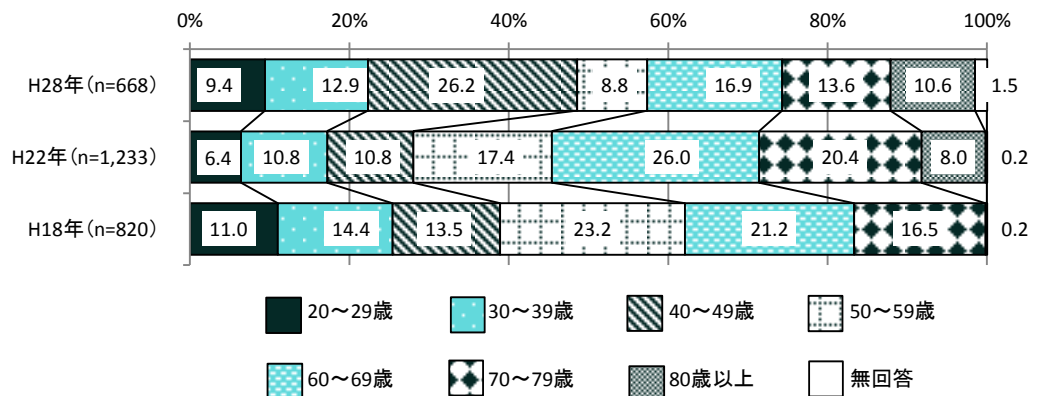
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」、「H18年調査」に比べて、「40～49歳」が高くなっています。

【経年比較 図】

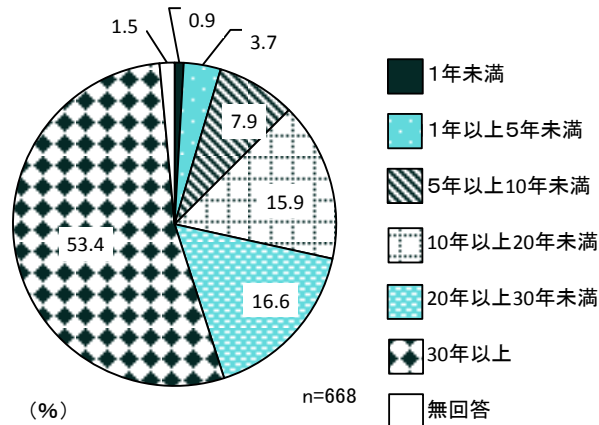


問3 あなたは、早島町に住んで何年になりますか。

【○は1つだけ】

居住年数について、「30年以上」が53.4%と最も高くなっています。ついで、「20年以上30年未満」が16.6%、「10年以上20年未満」が15.9%となっています。

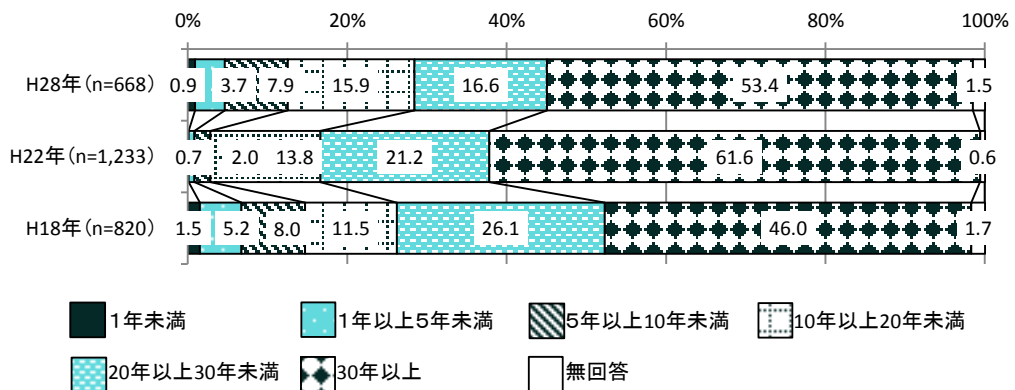
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」、「H18年調査」に比べて、「20年以上30年未満」が低くなっています。

【経年比較 図】

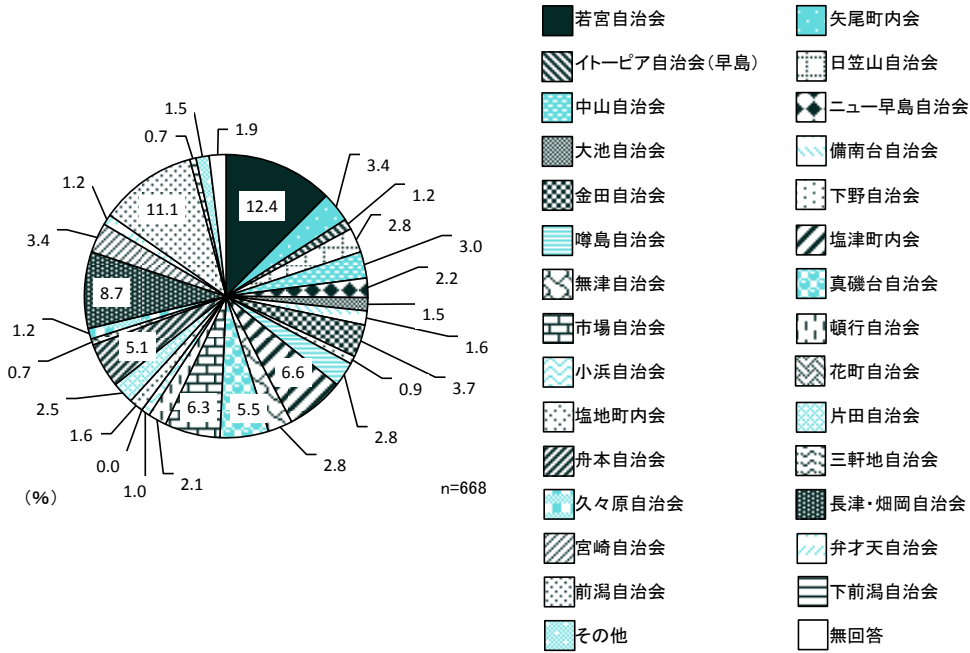


問4 あなたが加入する自治会・町内会はどこですか。

【○は1つだけ】

加入する自治会・町内会について、「若宮自治会」が12.4%と最も高くなっています。ついで、「前潟自治会」が11.1%、「長津・畑岡自治会」が8.7%となっています。

【全体 図】



◆北部

全体	若宮自治会	矢尾町内会	イトーピア自治会(早島)	日笠山自治会	中山自治会	ニュー早島自治会	大池自治会	備南台自治会	金田自治会	下野自治会	樽島自治会
668	83	23	8	19	20	15	10	11	25	6	19
100.0	12.4	3.4	1.2	2.8	3.0	2.2	1.5	1.6	3.7	0.9	2.8

◆南部

全体	塩津町内会	無津自治会	真磯台自治会	市場自治会	頓行自治会	小浜自治会	花町自治会	塩地町内会	片田自治会	舟本自治会	三軒地自治会	久々原自治会	長津・畑岡自治会	宮崎自治会	弁才天自治会	前潟自治会	下前潟自治会
668	44	19	37	42	14	7	0	11	17	34	5	8	58	23	8	74	5
100.0	6.6	2.8	5.5	6.3	2.1	1.0	0.0	1.6	2.5	5.1	0.7	1.2	8.7	3.4	1.2	11.1	0.7

◆その他

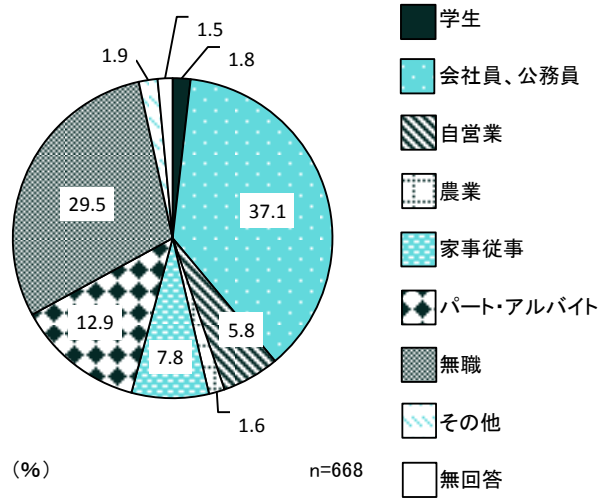
全体	その他	無回答
668	10	13
100.0	1.5	1.9

問5 あなたの職業は次のどれに該当しますか。

【○は1つだけ】

職業について、「会社員、公務員」が37.1%と最も高くなっています。ついで、「無職」が29.5%、「パート・アルバイト」が12.9%となっています。

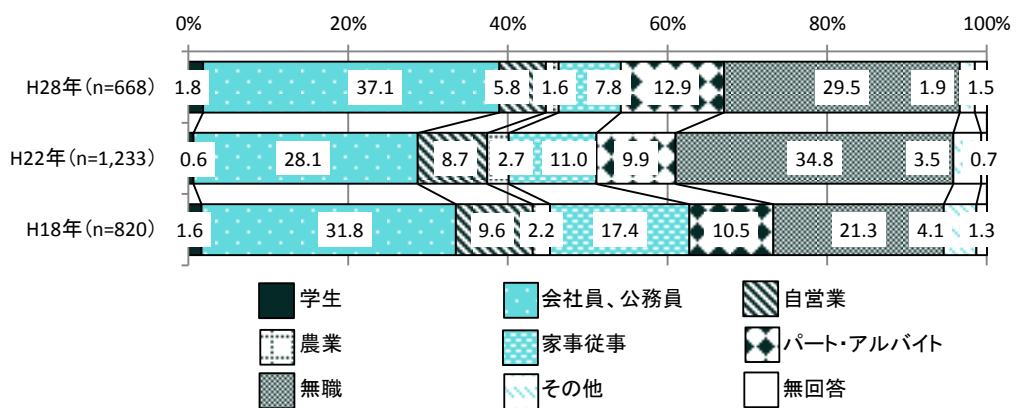
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」、「H18年調査」に比べて、「会社員、公務員」が高くなっています。

【経年比較 図】



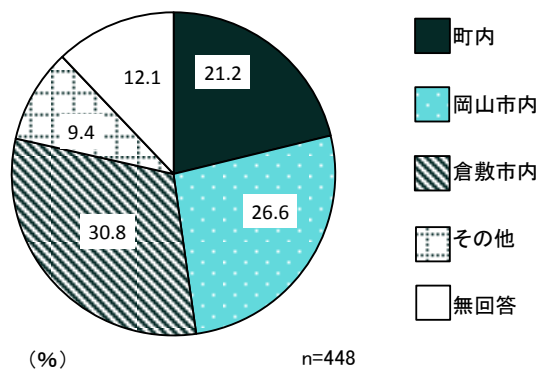
《問5で「1.」から「6.」を選択された方にお聞きします。》

問5-1 あなたの勤め先、通学先はどこですか。

【○は1つだけ】

勤め先、通学先について、「倉敷市内」が30.8%と最も高くなっています。ついで、「岡山市内」が26.6%、「町内」が21.2%となっています。

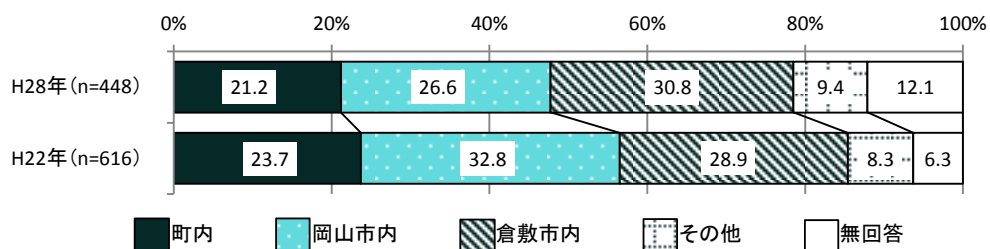
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「岡山市内」が6.2ポイント低くなっています。

【経年比較 図】

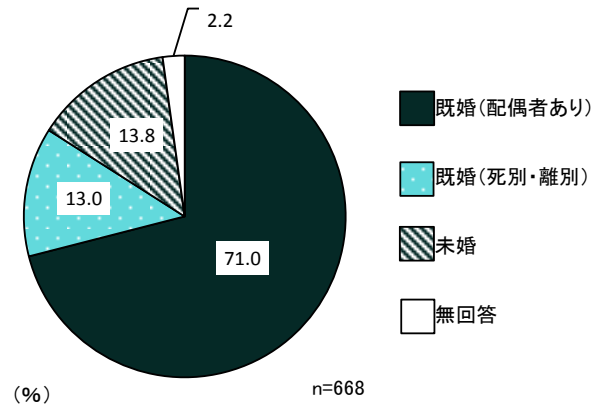


問6 あなたは結婚されていますか。

【○は1つだけ】

婚姻状況について、「既婚（配偶者あり）」が71.0%と最も高くなっています。ついで、「未婚」が13.8%、「既婚（死別・離別）」が13.0%となっています。

【全体 図】

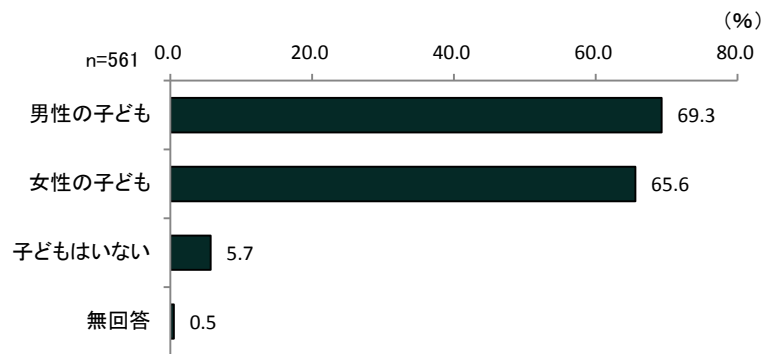


《問6で「1.」か「2.」を選択された方にお聞きします。》

問6-1 あなたは、お子さんがいますか。別居のお子さんも含めてあてはまるものに○をつけてください。 【○はいくつでも】

お子さんの有無について、「男性の子ども」が69.3%と最も高くなっています。ついで、「女性の子ども」が65.6%、「子どもはいない」が5.7%となっています。

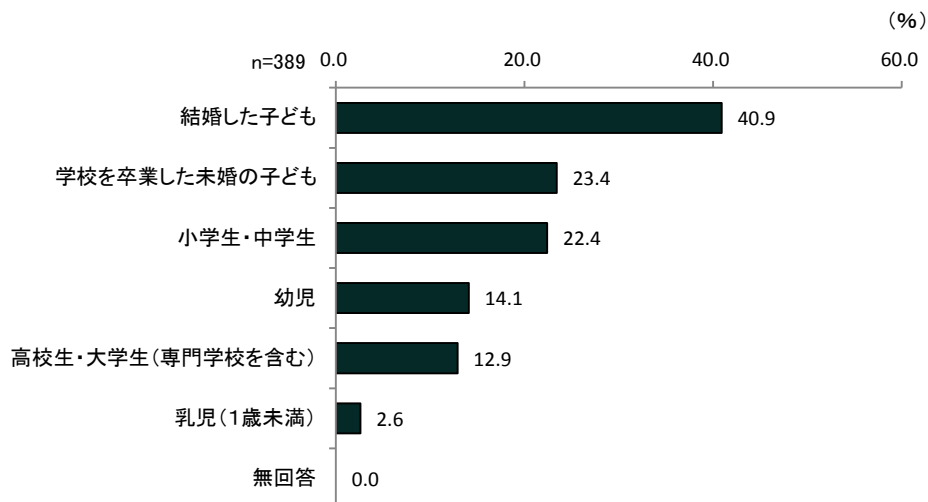
【全体 図】



①男性の子どもの年齢

男性の子どもの年齢について、「結婚した子ども」が40.9%と最も高くなっています。ついで、「学校を卒業した未婚の子ども」が23.4%、「小学生・中学生」が22.4%となっています。

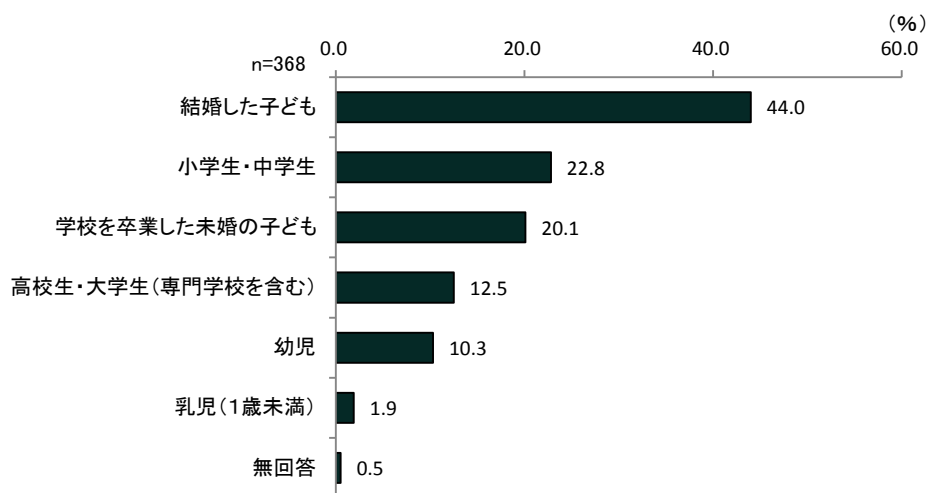
【全体 図】



②女性の子どもの年齢

女性の子どもの年齢について、「結婚した子ども」が44.0%と最も高くなっています。ついで、「小学生・中学生」が22.8%、「学校を卒業した未婚の子ども」が20.1%となっています。

【全体 図】

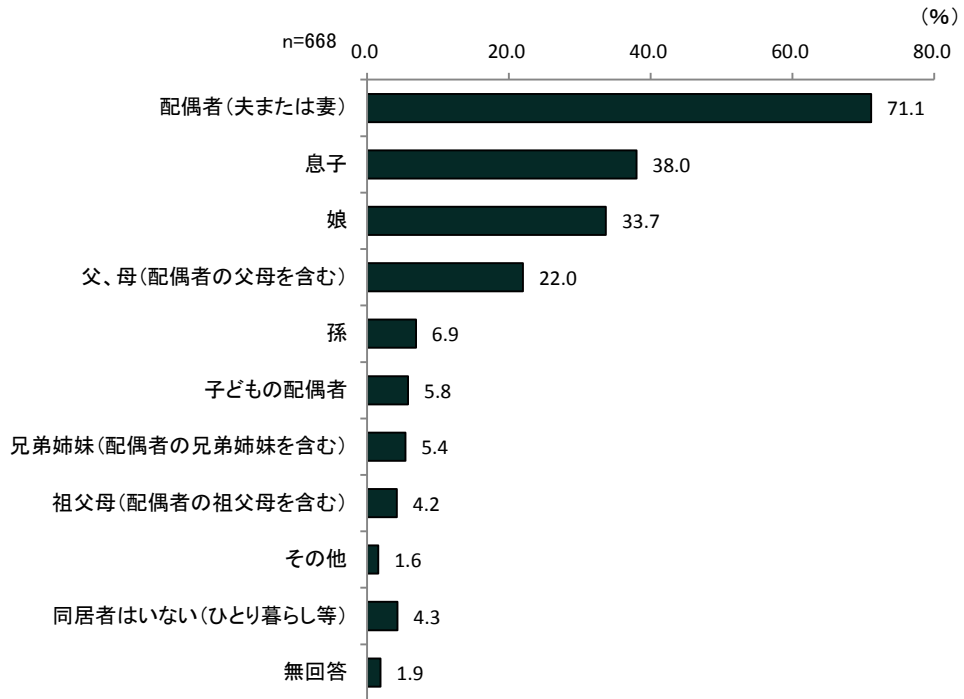


問7 現在、同居のご家族をすべて選んでお答えください。

【〇はいくつでも】

同居の家族について、「配偶者（夫または妻）」が71.1%と最も高くなっています。ついで、「息子」が38.0%、「娘」が33.7%となっています。

【全体 図】



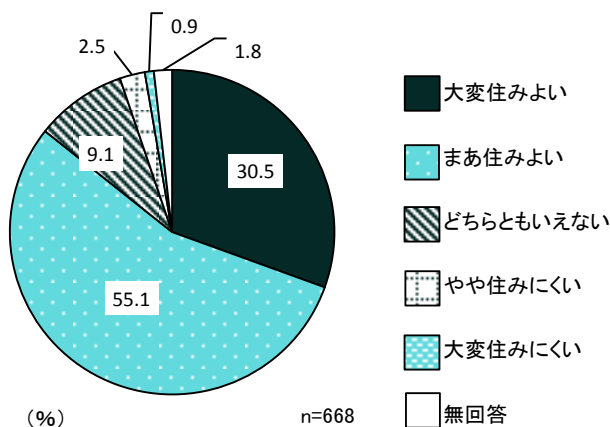
2 早島町での暮らしについて

問8 あなたにとって、早島町は住みよいところですか。

【○は1つだけ】

早島町の住みやすさについて、「まあ住みよい」が55.1%と最も高くなっています。ついで、「大変住みよい」が30.5%、「どちらともいえない」が9.1%となっています。

【全体 図】



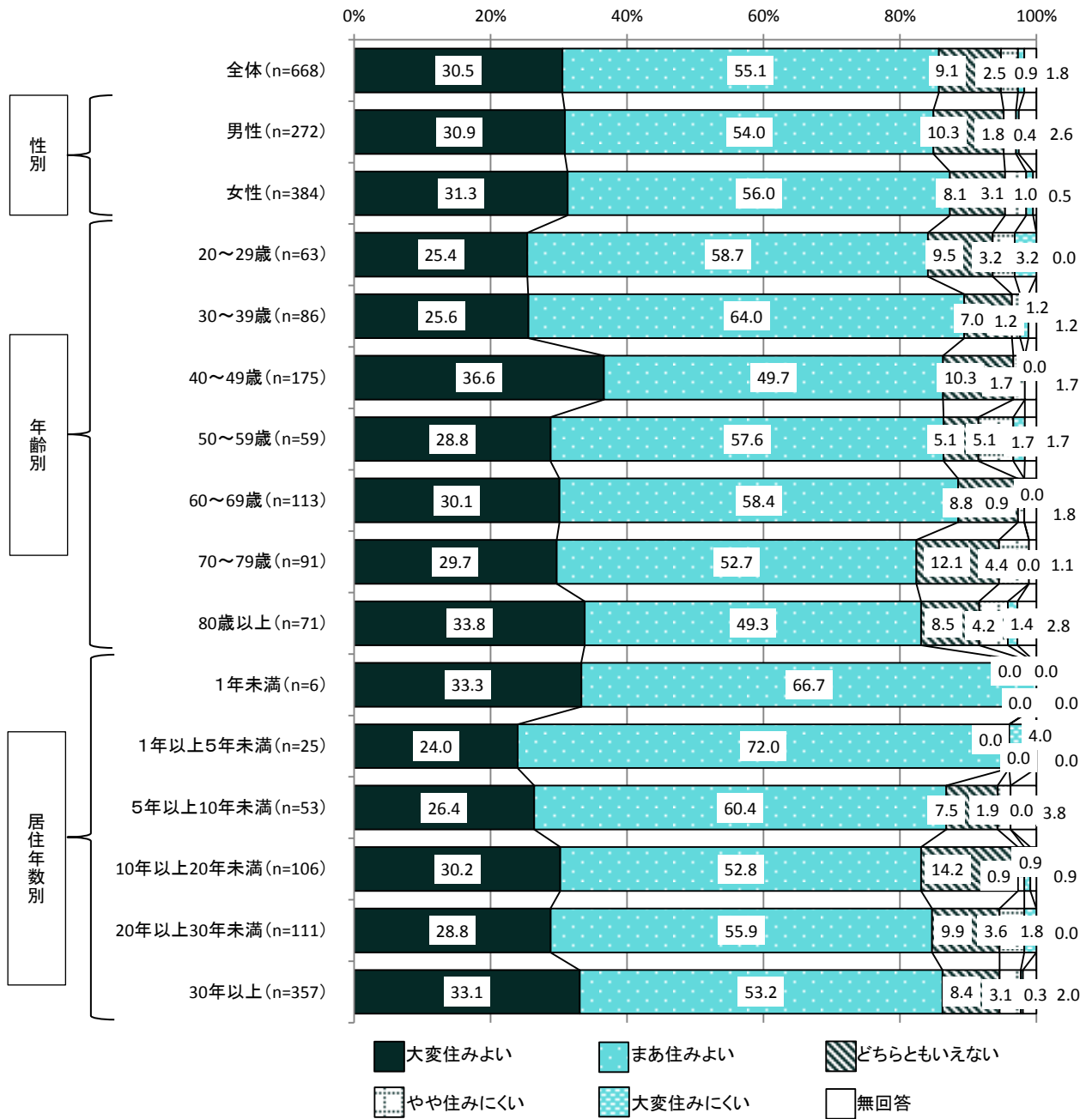
【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「大変住みよい」が高くなっています。また、「40～49歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「まあ住みよい」が高く、「60～69歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「まあ住みよい」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「10年以上20年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「大変住みよい」が高くなっており、「まあ住みよい」が低くなっています。また、「10年以上20年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「どちらともいえない」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 図】

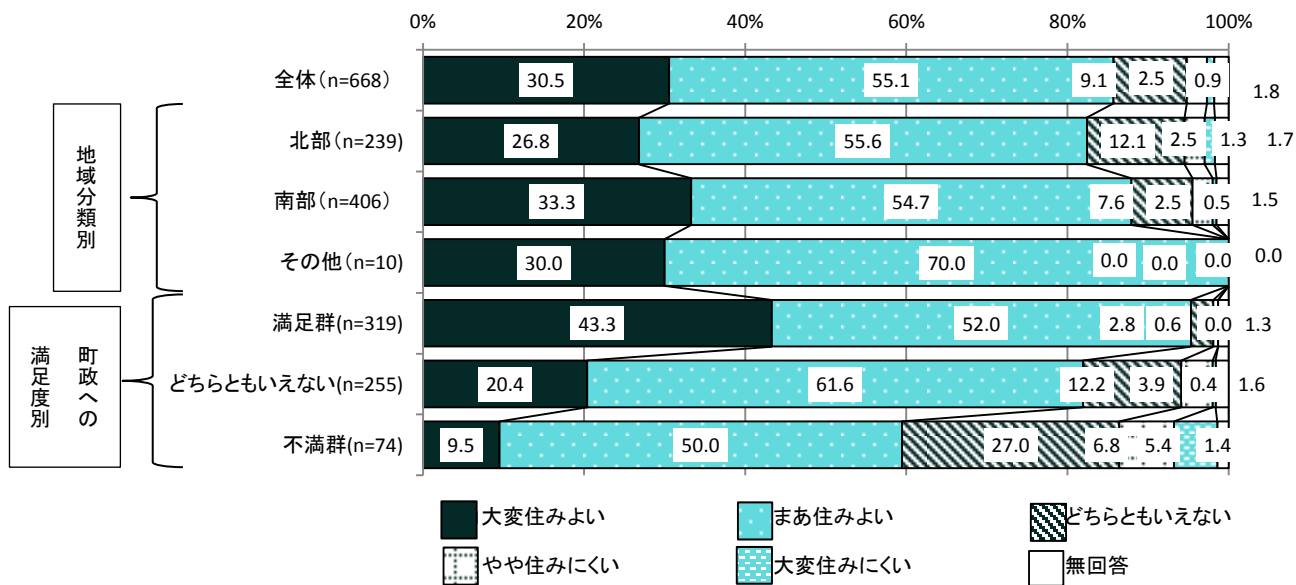


【地域分類・町政への満足度別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「まあ住みよい」が高くなっています。

町政への満足度別で見ると、「満足群」は「不満群」に比べて、「大変住みよい」が33.8ポイント高くなっています。

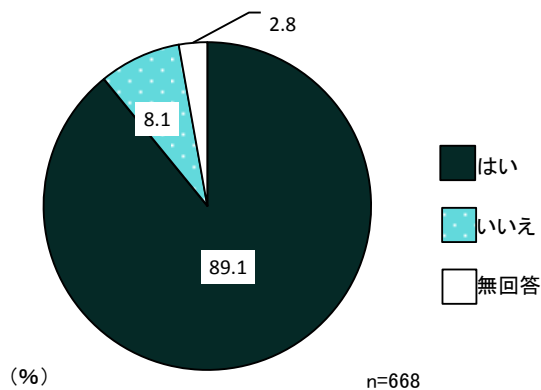
【地域分類・町政への満足度別 図】



問9 あなたは、今後も早島町に住み続けたいと思いますか。 【〇は1つだけ】

早島町への定住意向の有無について、「はい」が89.1%と最も高くなっています。ついで、「いいえ」が8.1%となっています。

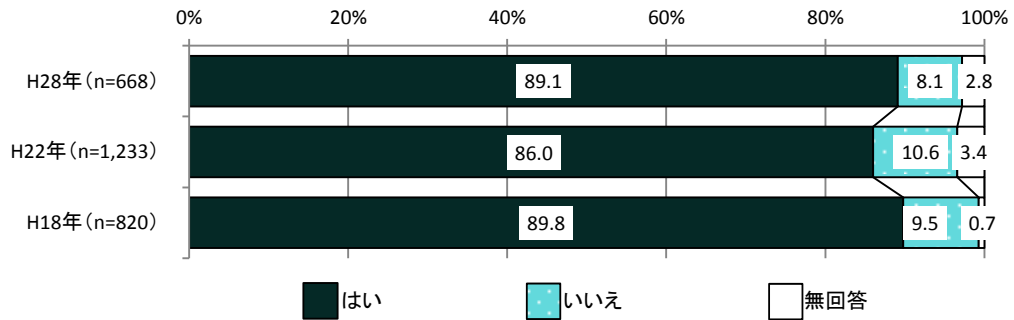
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、大きな差はみられません。

【経年比較 図】



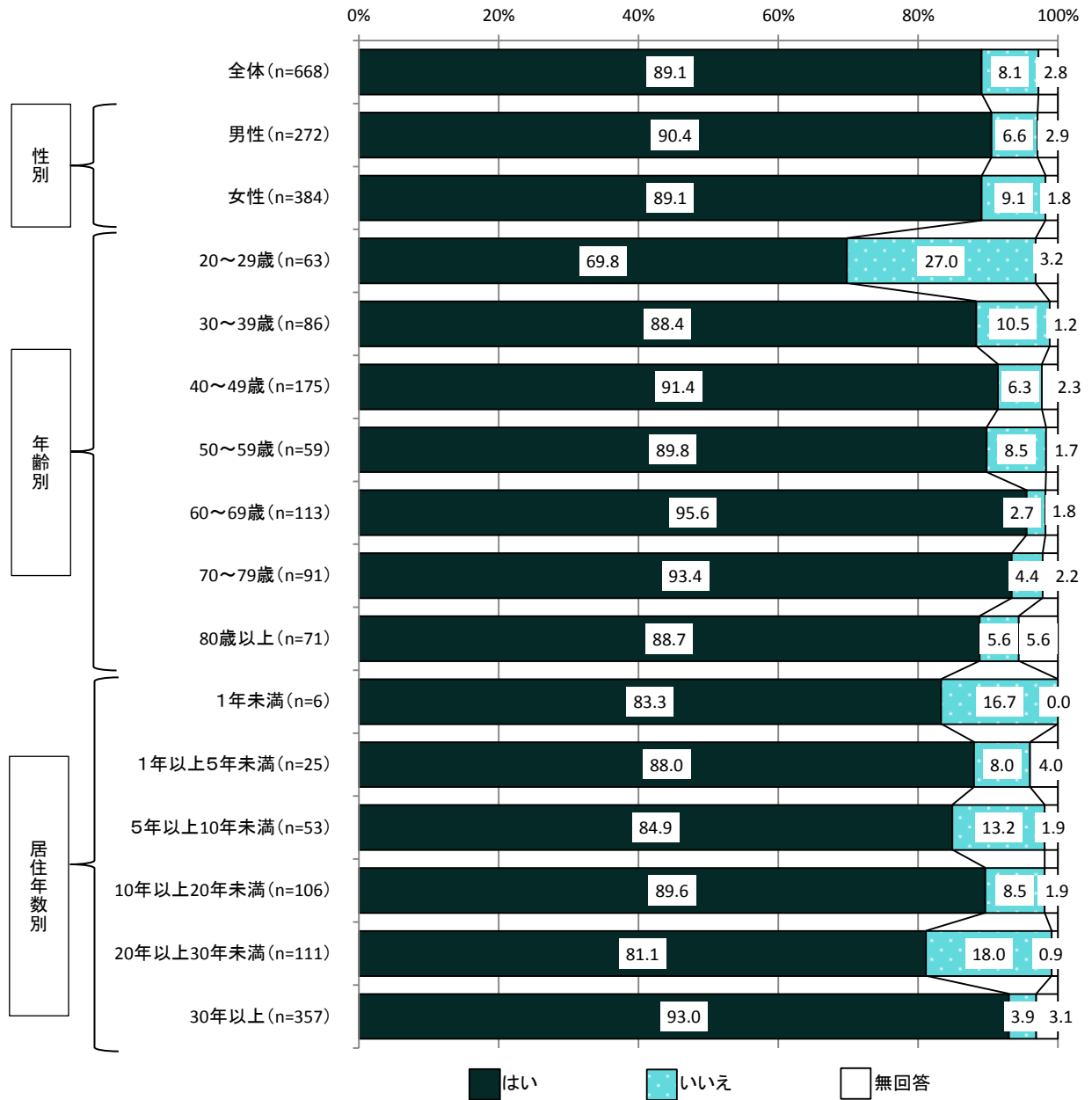
【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「はい」が高くなっています。また、「60～69歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「はい」が低くなっています。また、「20～29歳」は他の年齢に比べて、「いいえ」(27.0%)が高くなっています。

居住年数別でみると、大きな差はみられません。

【性別・年齢別・居住年数別 図】



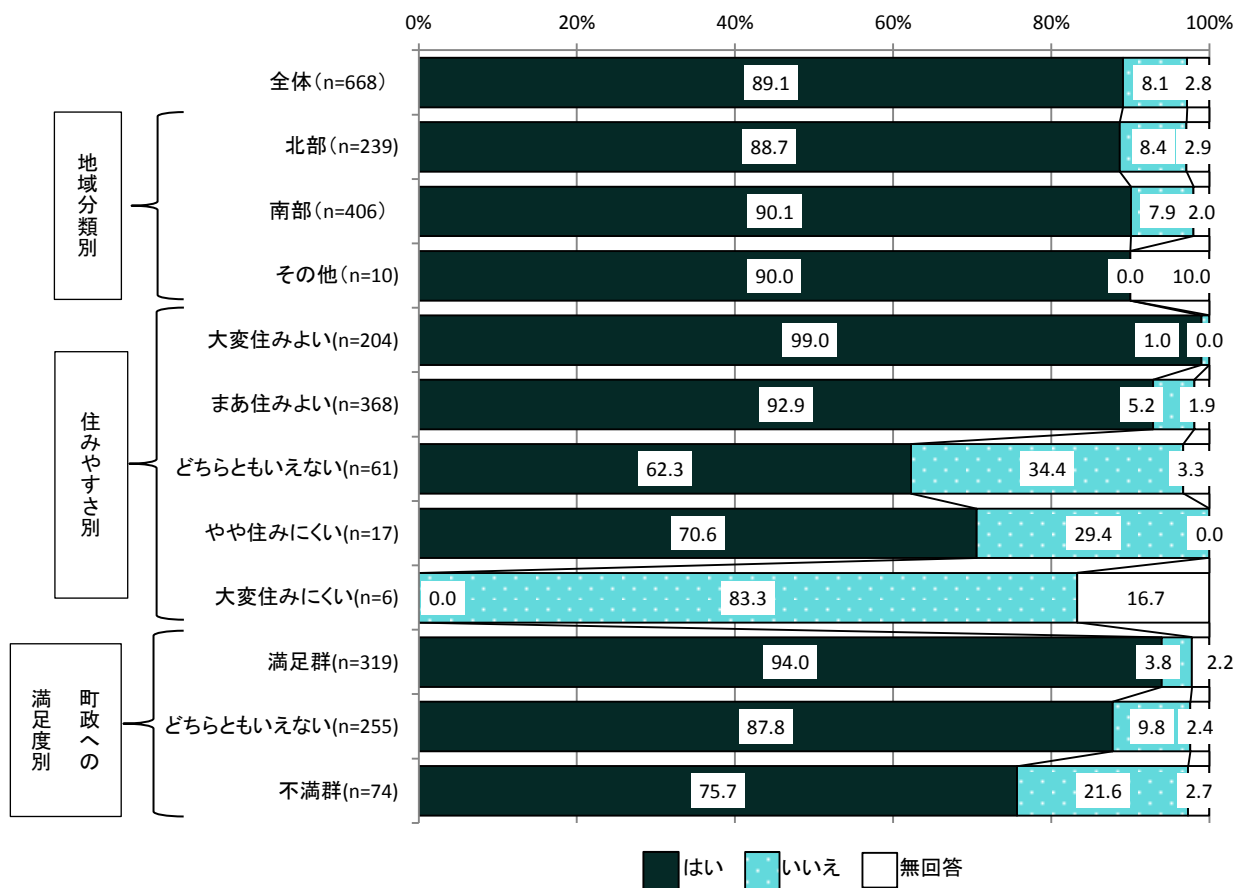
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「はい」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「はい」が6.1ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「はい」が18.3ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】



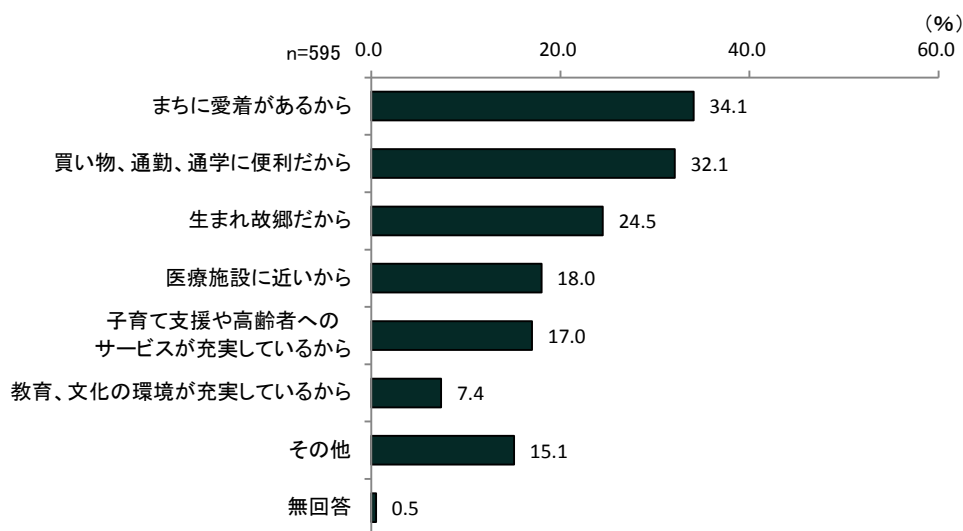
《問9で「1.」を選択された方にお聞きします。》

問9-1 住み続けたいと思う理由は何ですか。

【〇は2つまで】

住み続けたいと思う理由について、「まちに愛着があるから」が34.1%と最も高くなっています。ついで、「買い物、通勤、通学に便利だから」が32.1%、「生まれ故郷だから」が24.5%となっています。

【全体 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「生まれ故郷だから」が13.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「70～79歳」にかけて年齢が上がるにつれて「医療施設に近いから」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「生まれ故郷だから」と「医療施設に近いから」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	まちに愛着があるから	買い物、通勤、通学に便利だから	生まれ故郷だから	医療施設に近いから	子育て支援や高齢者へのサービスが充実しているから	教育、文化の環境が充実しているから	その他	無回答
全体		595	34.1	32.1	24.5	18.0	17.0	7.4	15.1	0.5
性別	男性	246	35.4	29.3	32.1	17.5	12.2	5.7	15.0	0.8
	女性	342	33.6	34.5	19.0	18.4	20.2	8.5	15.2	0.3
年齢別	20～29歳	44	29.5	40.9	43.2	2.3	20.5	6.8	2.3	0.0
	30～39歳	76	31.6	44.7	28.9	1.3	36.8	7.9	6.6	0.0
	40～49歳	160	25.0	46.3	22.5	9.4	17.5	6.9	16.9	0.6
	50～59歳	53	45.3	28.3	32.1	9.4	5.7	3.8	18.9	1.9
	60～69歳	108	39.8	24.1	22.2	24.1	13.0	7.4	20.4	0.9
	70～79歳	85	37.6	15.3	17.6	42.4	7.1	10.6	14.1	0.0
	80歳以上	63	41.3	15.9	19.0	34.9	17.5	6.3	19.0	0.0
居住年数別	1年未満	5	0.0	20.0	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0
	1年以上5年未満	22	13.6	50.0	0.0	0.0	68.2	4.5	0.0	0.0
	5年以上10年未満	45	4.4	57.8	4.4	6.7	33.3	15.6	15.6	0.0
	10年以上20年未満	95	15.8	53.7	9.5	14.7	25.3	6.3	12.6	1.1
	20年以上30年未満	90	37.8	38.9	22.2	15.6	7.8	6.7	17.8	1.1
	30年以上	332	44.6	19.9	33.7	22.3	10.8	6.3	15.7	0.3

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「まちに愛着があるから」が高くなっています。
 住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「まちに愛着があるから」が20.6ポイント高くなっています。
 町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「まちに愛着があるから」と、「買い物、通勤、通学に便利だから」が12.7ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

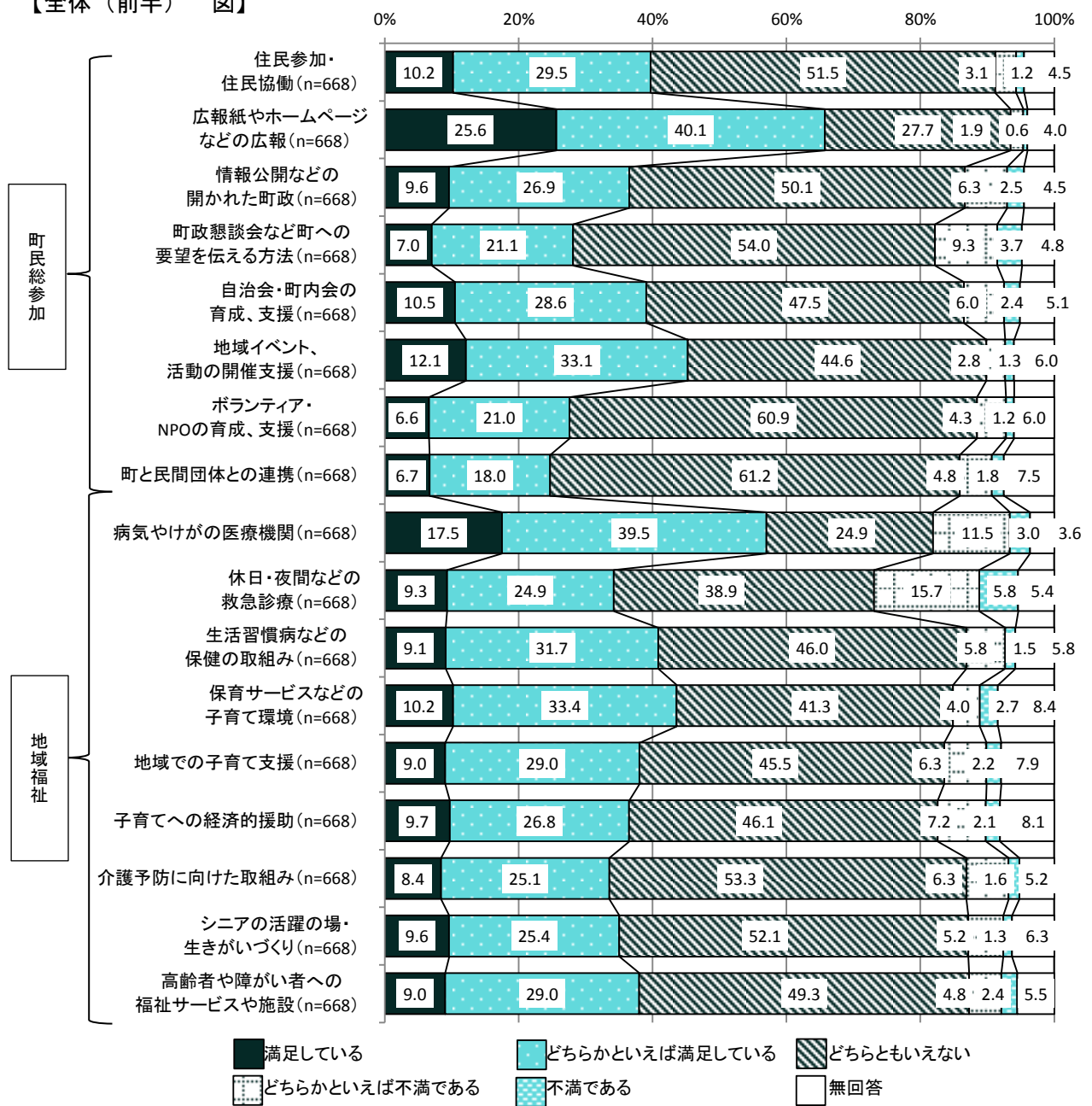
		サンプル数	まちに愛着があるから	買い物、通勤、通学に便利だから	生まれ故郷だから	医療施設に近いから	子育て支援や高齢者へのサービスが充実しているから	教育、文化の環境が充実しているから	その他	無回答
全体		595	34.1	32.1	24.5	18.0	17.0	7.4	15.1	0.5
地域分類別	北部	212	30.2	27.4	20.8	22.6	14.6	7.5	18.9	1.4
	南部	366	36.1	35.2	27.0	15.8	17.8	6.8	13.1	0.0
	その他	9	33.3	33.3	11.1	0.0	44.4	22.2	11.1	0.0
住みやすさ別	大変住みよい	202	49.0	31.2	25.7	20.8	23.3	10.4	5.9	0.0
	まあ住みよい	342	28.4	35.7	24.0	16.1	15.2	6.4	17.5	0.9
	どちらともいえない	38	15.8	15.8	21.1	18.4	5.3	2.6	31.6	0.0
	やや住みにくい	12	8.3	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0
	大変住みにくい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町政への満足度別	満足群	300	41.3	32.3	19.7	20.3	21.7	9.7	10.0	0.0
	どちらともいえない	224	26.3	35.3	28.1	14.3	12.1	4.9	18.8	0.9
	不満群	56	28.6	19.6	37.5	16.1	12.5	7.1	28.6	0.0

問 10 あなたは、早島町での暮らしをとりまく生活環境について、どのように感じていますか。
次の項目について、あてはまる番号を項目ごとに1つずつ選んでください。

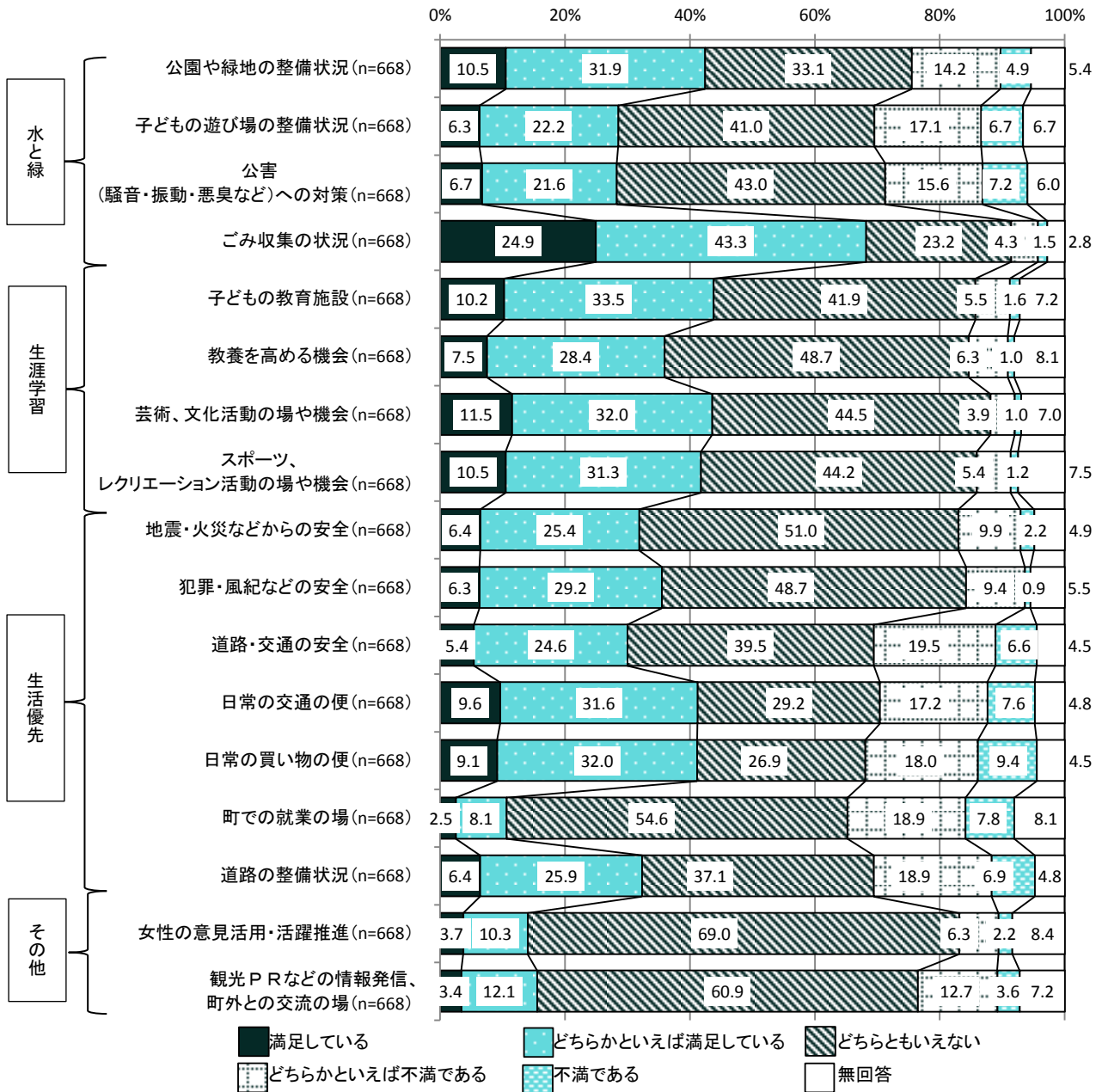
【〇はそれぞれ1つだけ】

早島町での暮らしをとりまく生活環境について、『満足群』【(満足している) + (どちらかといえど満足している)】では、「ごみ収集の状況」が68.2%と最も高くなっています。ついで、「広報紙やホームページなどの広報」が65.7%、「病気やけがの医療機関」が57.0%となっています。また、『不満群』【(不満である) + (どちらかといえど不満である)】では、「日常の買い物の便」が27.4%と最も高くなっています。ついで、「町での就業の場」が26.7%、「道路・交通の安全」が26.1%となっています。

【全体（前半） 図】



【全体（後半） 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「情報公開などの開かれた町政」が0.40点と最も高くなっています。ついで、「広報紙やホームページなどの広報」が0.37点、「病気やけがの医療機関」が0.35点となっています。また、「道路の整備状況」がマイナス0.12点と最も低くなっています。ついで、「道路・交通の安全」がマイナス0.10点、「公園や緑地の整備状況」がマイナス0.04点となっています。

【経年比較 表】

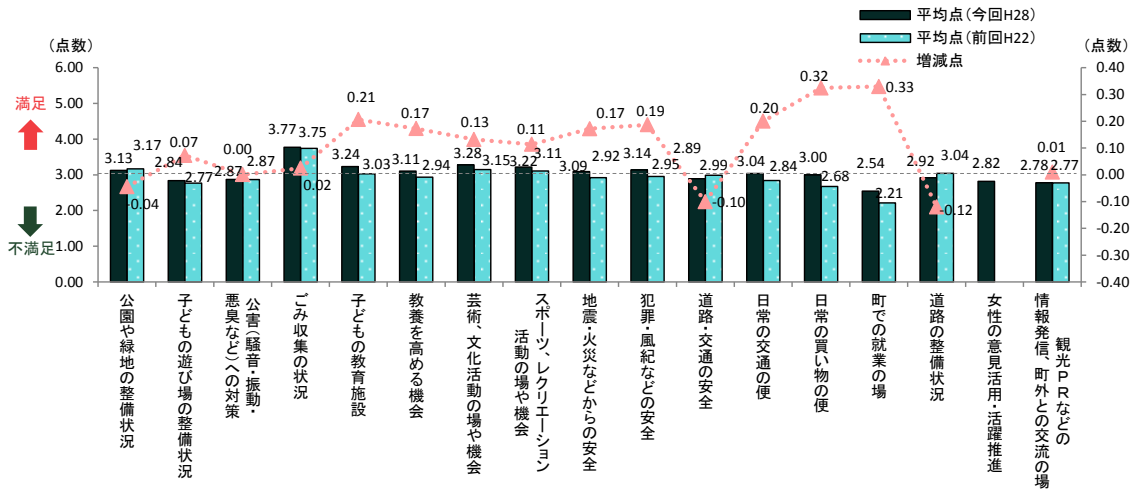
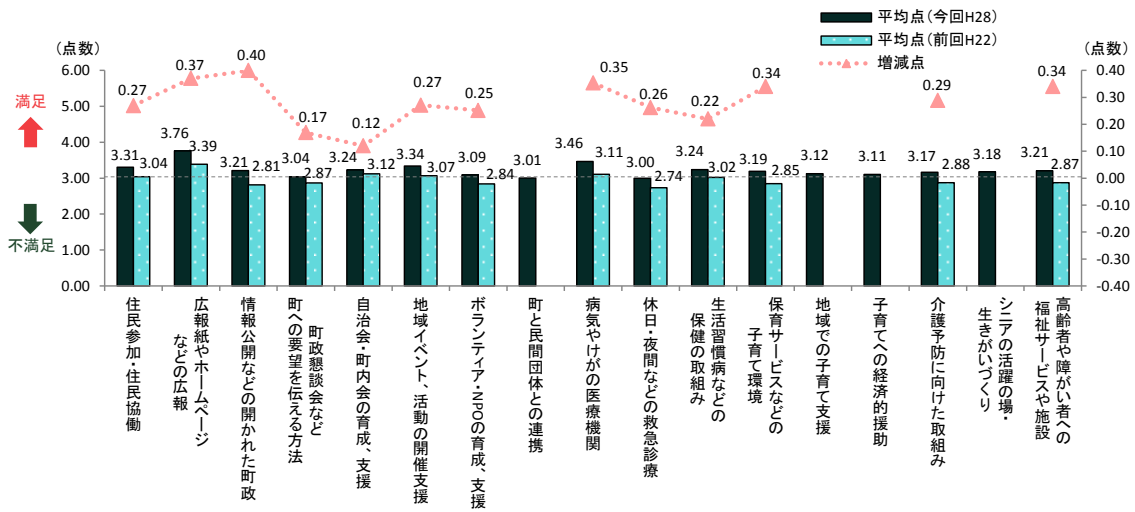
項目	満足している		どちらかといえば満足している		どちらともいえない		どちらかといえば不満である		不満である		合計		前回比較 点差
	前回 (H22)	今回 (H28)	前回 (H22)	今回 (H28)	前回 (H22)	今回 (H28)	前回 (H22)	今回 (H28)	前回 (H22)	今回 (H28)	前回 (H22)	今回 (H28)	
	点数	点数	点数	点数	点数	点数	点数	点数	点数	点数	平均点	平均点	
住民参加・住民協働	550	340	1,188	788	1,794	1,032	170	42	45	8	3.04	3.31	0.27
広報紙やホームページなどの広報	870	855	1,992	1,072	1,197	555	102	26	19	4	3.39	3.76	0.37
情報公開などの開かれた町政	340	320	1,012	720	1,755	1,005	286	84	75	17	2.81	3.21	0.40
町政懇談会など町への要望を伝える方法	370	235	1,076	564	1,788	1,083	238	124	68	25	2.87	3.04	0.17
自治会・町内会の育成、支援	635	350	1,512	764	1,488	951	174	80	40	16	3.12	3.24	0.12
地域イベント、活動の開催支援	580	405	1,496	884	1,542	894	128	38	36	9	3.07	3.34	0.27
ボランティア・NPOの育成、支援	385	220	952	560	1,935	1,221	192	58	41	8	2.84	3.09	0.25
町と民間団体との連携		225		480		1,227		64		12		3.01	
病気やけがの医療機関	845	585	1,544	1,056	978	498	404	154	62	20	3.11	3.46	0.35
休日・夜間などの救急診療	505	310	948	664	1,332	780	498	210	91	39	2.74	3.00	0.26
生活習慣病などの保健の取組み	450	305	1,436	848	1,575	921	232	78	35	10	3.02	3.24	0.22
保育サービスなどの子育て環境	360	340	1,224	892	1,659	828	220	54	46	18	2.85	3.19	0.34
地域での子育て支援		300		776		912		84		15		3.12	
子育てへの経済的援助		325		716		924		96		14		3.11	
介護予防に向けた取組み	365	280	1,072	672	1,761	1,068	306	84	44	11	2.88	3.17	0.29
シニアの活躍の場・生きがいつくり		320		680		1,044		70		9		3.18	
高齢者や障がい者への福祉サービスや施設	445	300	1,096	776	1,578	987	346	64	79	16	2.87	3.21	0.34
公園や緑地の整備状況	800	350	1,732	852	1,041	663	270	190	66	33	3.17	3.13	△0.04
子どもの遊び場の整備状況	375	210	1,160	592	1,395	822	398	228	84	45	2.77	2.84	0.07
公害（騒音・振動・悪臭など）への対策	425	225	1,156	576	1,590	861	286	208	82	48	2.87	2.87	0.00
ごみ収集の状況	1,660	830	2,188	1,156	651	465	94	58	26	10	3.75	3.77	0.02
子どもの教育施設	490	340	1,604	896	1,413	840	186	74	41	11	3.03	3.24	0.21
教養を高める機会	415	250	1,284	760	1,650	975	230	84	40	7	2.94	3.11	0.17
芸術、文化活動の場や機会	625	385	1,604	856	1,425	891	200	52	27	7	3.15	3.28	0.13
スポーツ、レクリエーション活動の場や機会	540	350	1,584	836	1,500	885	174	72	32	8	3.11	3.22	0.11
地震・火災などからの安全	330	215	1,144	680	1,857	1,023	232	132	36	15	2.92	3.09	0.17
犯罪・風紀などの安全	335	210	1,308	780	1,692	975	268	126	37	6	2.95	3.14	0.19
道路・交通の安全	485	180	1,520	656	1,224	792	386	260	67	44	2.99	2.89	△0.10
日常の交通の便	540	320	1,392	844	918	585	516	230	134	51	2.84	3.04	0.20
日常の買い物の便	415	305	1,200	856	942	540	566	240	176	63	2.68	3.00	0.32
町での就業の場	130	85	244	216	1,599	1,095	584	252	174	52	2.21	2.54	0.33
道路の整備状況	525	215	1,676	692	1,161	744	320	252	70	46	3.04	2.92	△0.12
女性の意見活用・活躍推進		125		276		1,383		84		15		2.82	
観光PRなどの情報発信、町外との交流の場	260	115	812	324	1,986	1,221	308	170	55	24	2.77	2.78	0.01

■ : 上位3位 ■ : 下位3位

※点数は票数に、満足している：5点、どちらかといえば満足している：4点、どちらともいえない：3点、どちらかといえば不満である：2点、不満である：1点と点数を与えて算出しています。

【経年比較 図】

平均点（今回、前回）+増減点

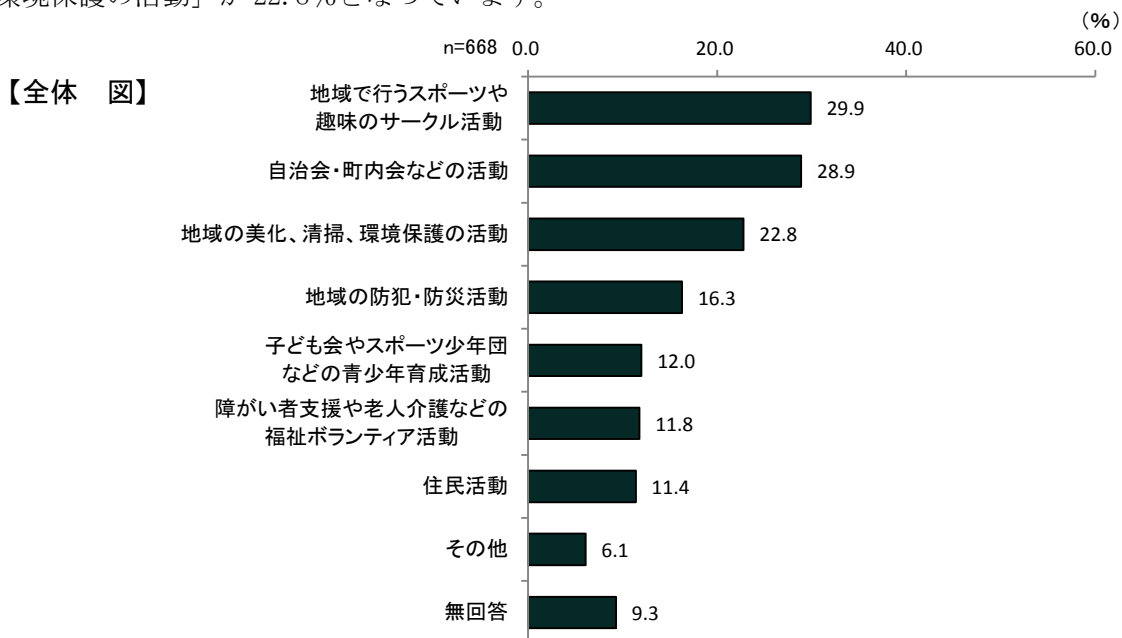


3 まちづくり憲章に基づく町の施策について

I まちづくり憲章の「町民総参加のまちづくり」に向けて

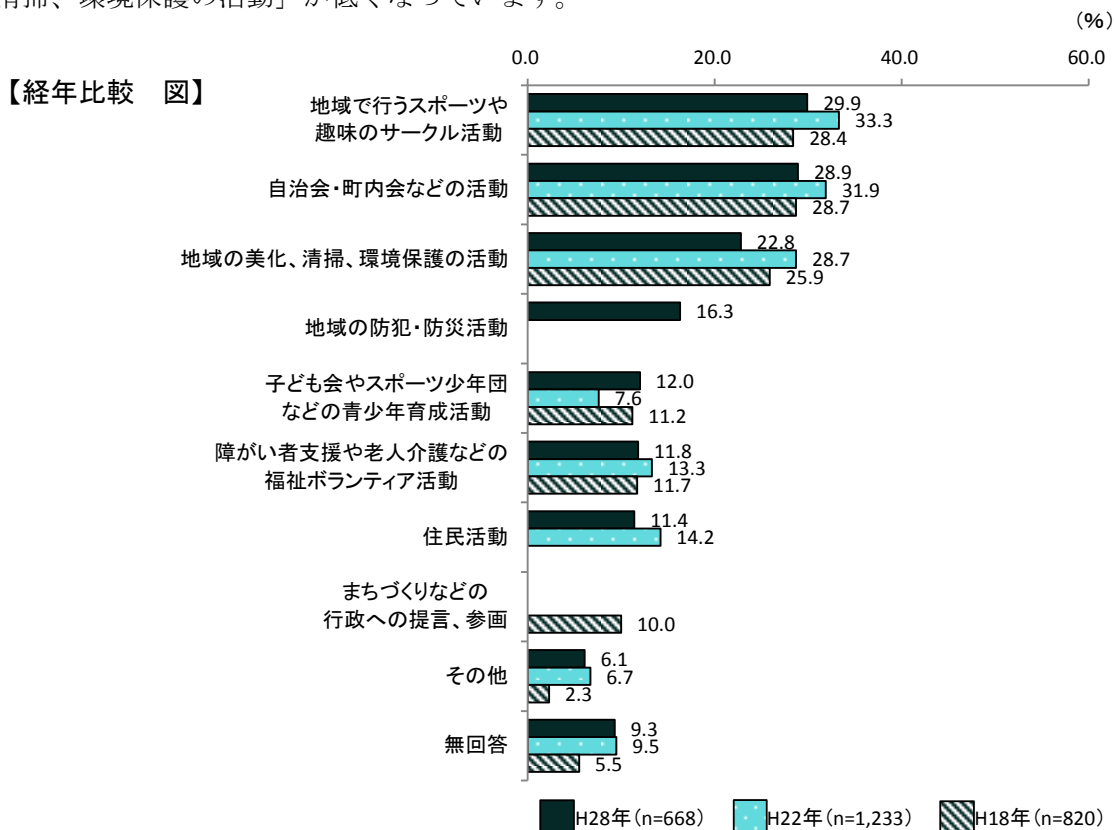
問 11 これからは、住民一人ひとりが地域づくりに参画することが大切といわれています。あなたはどのような活動に参加、協力してみたいですか。 【〇は2つまで】

参加、協力してみたい活動について、「地域で行うスポーツや趣味のサークル活動」が 29.9%と最も高くなっています。ついで、「自治会・町内会などの活動」が 28.9%、「地域の美化、清掃、環境保護の活動」が 22.8%となっています。



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は、「H22年調査」、「H18年調査」に比べて、「地域の美化、清掃、環境保護の活動」が低くなっています。



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「障がい者支援や老人介護などの福祉ボランティア活動」が10.0ポイント低くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「子ども会やスポーツ少年団などの青少年育成活動」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「子ども会やスポーツ少年団などの青少年育成活動」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	地域でのサークル活動や	自治会・町内会などの活動	地域の美化、清掃、環境保護の活動	地域の防犯・防災活動	子ども会やスポーツ少年団などの青少年育成活動	障がい者支援や老人介護などの福祉ボランティア活動	住民活動	その他	無回答
全体		668	29.9	28.9	22.8	16.3	12.0	11.8	11.4	6.1	9.3
性別	男性	272	30.1	33.5	27.2	20.2	13.2	5.9	14.7	3.3	5.5
	女性	384	30.7	26.3	19.5	13.5	10.9	15.9	9.1	8.1	10.9
年齢別	20～29歳	63	33.3	11.1	20.6	19.0	28.6	14.3	4.8	7.9	4.8
	30～39歳	86	30.2	24.4	18.6	8.1	29.1	8.1	12.8	2.3	9.3
	40～49歳	175	28.6	22.9	22.9	23.4	11.4	8.6	12.6	4.6	9.7
	50～59歳	59	40.7	30.5	23.7	18.6	8.5	11.9	16.9	1.7	5.1
	60～69歳	113	33.6	38.1	28.3	16.8	6.2	12.4	14.2	3.5	3.5
	70～79歳	91	28.6	40.7	26.4	12.1	2.2	16.5	8.8	5.5	15.4
80歳以上	71	21.1	36.6	15.5	8.5	1.4	15.5	7.0	19.7	14.1	
居住年数別	1年未満	6	66.7	0.0	16.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上5年未満	25	32.0	8.0	8.0	24.0	48.0	8.0	4.0	4.0	8.0
	5年以上10年未満	53	24.5	30.2	13.2	13.2	22.6	11.3	15.1	1.9	7.5
	10年以上20年未満	106	26.4	28.3	23.6	20.8	14.2	10.4	16.0	3.8	6.6
	20年以上30年未満	111	36.9	23.4	25.2	17.1	8.1	10.8	7.2	7.2	9.9
30年以上	357	29.4	33.1	24.4	14.3	7.0	13.2	11.5	7.3	9.8	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、「北部」は「自治会・町内会などの活動」(35.1%)が高くなっており、「南部」は、「地域で行うスポーツや趣味のサークル活動」(29.6%)が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「地域の美化、清掃、環境保護の活動」が5.6ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「地域で行うスポーツや趣味のサークル活動」が18.0ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

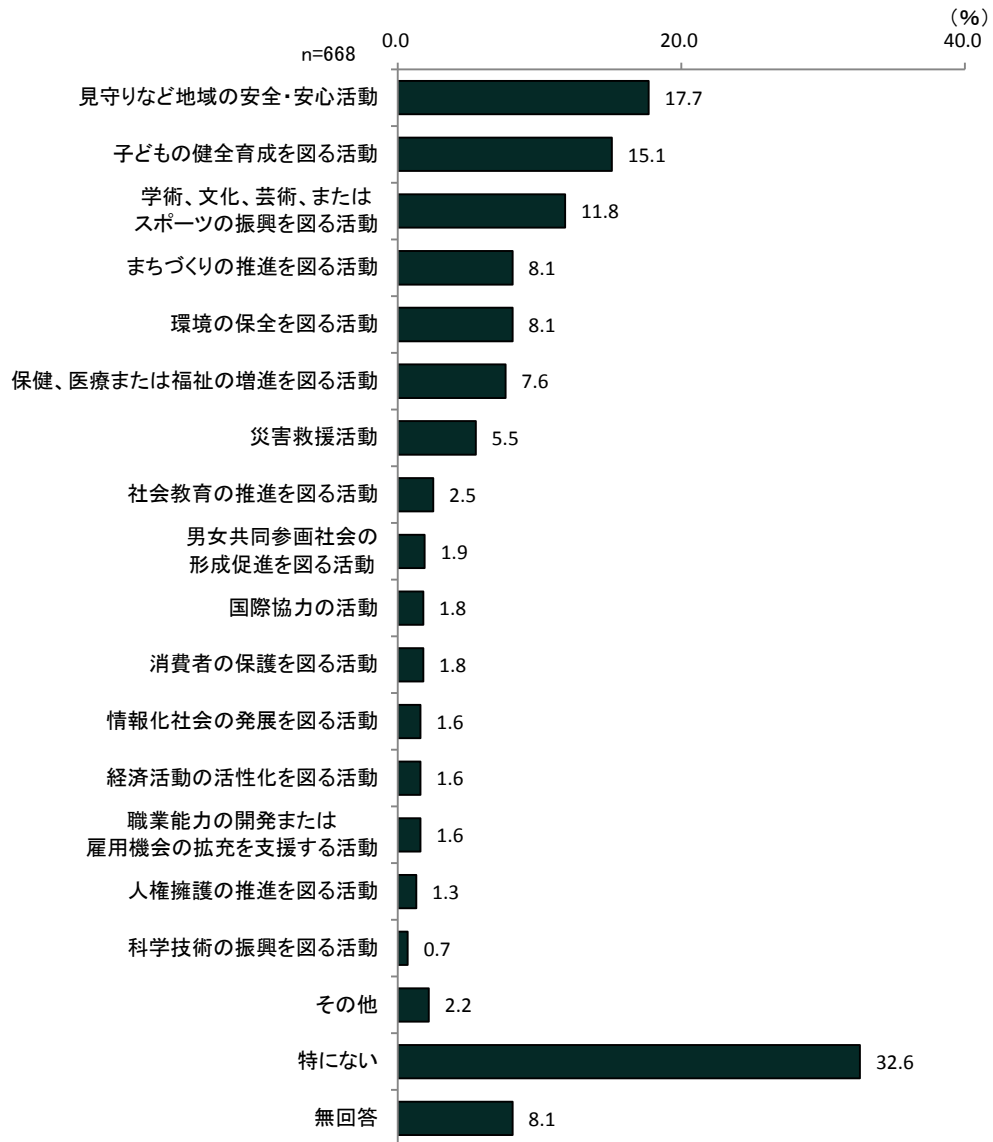
	サンプル数	地域でのサークル活動や趣味の活動	自治会・町内会などの活動	地域の美化、清掃、環境保護の活動	地域の防犯・防災活動	子ども会や青少年育成活動	障害者の福祉ボランティア	住民活動	その他	無回答	
全体	668	29.9	28.9	22.8	16.3	12.0	11.8	11.4	6.1	9.3	
地域分類別	北部	239	31.0	35.1	21.8	13.0	8.8	10.9	12.6	6.3	8.4
	南部	406	29.6	26.6	23.9	18.5	12.8	12.8	10.1	5.9	9.4
	その他	10	50.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	30.9	30.9	26.5	17.6	13.2	11.8	13.7	3.4	8.3
	まあ住みよい	368	30.7	30.7	20.9	15.8	12.5	11.4	10.1	7.1	7.6
	どちらともいえない	61	24.6	18.0	26.2	23.0	8.2	13.1	13.1	8.2	11.5
	やや住みにくい	17	17.6	5.9	11.8	0.0	11.8	11.8	11.8	17.6	23.5
	大変住みにくい	6	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3
町政への満足度別	満足群	319	34.2	30.7	23.2	18.2	11.0	12.2	11.9	5.0	6.6
	どちらともいえない	255	28.2	26.3	22.7	15.3	12.5	11.8	10.6	6.7	10.6
	不満群	74	16.2	31.1	24.3	14.9	13.5	12.2	14.9	10.8	9.5

問 12 あなたが現在、参加していること、または参加が可能だと考えるものは何ですか。

【〇は2つまで】

参加していることや参加が可能なことについて、「見守りなど地域の安全・安心活動」が17.7%と最も高くなっています。ついで、「子どもの健全育成を図る活動」が15.1%、「学術、文化、芸術、またはスポーツの振興を図る活動」が11.8%となっています。

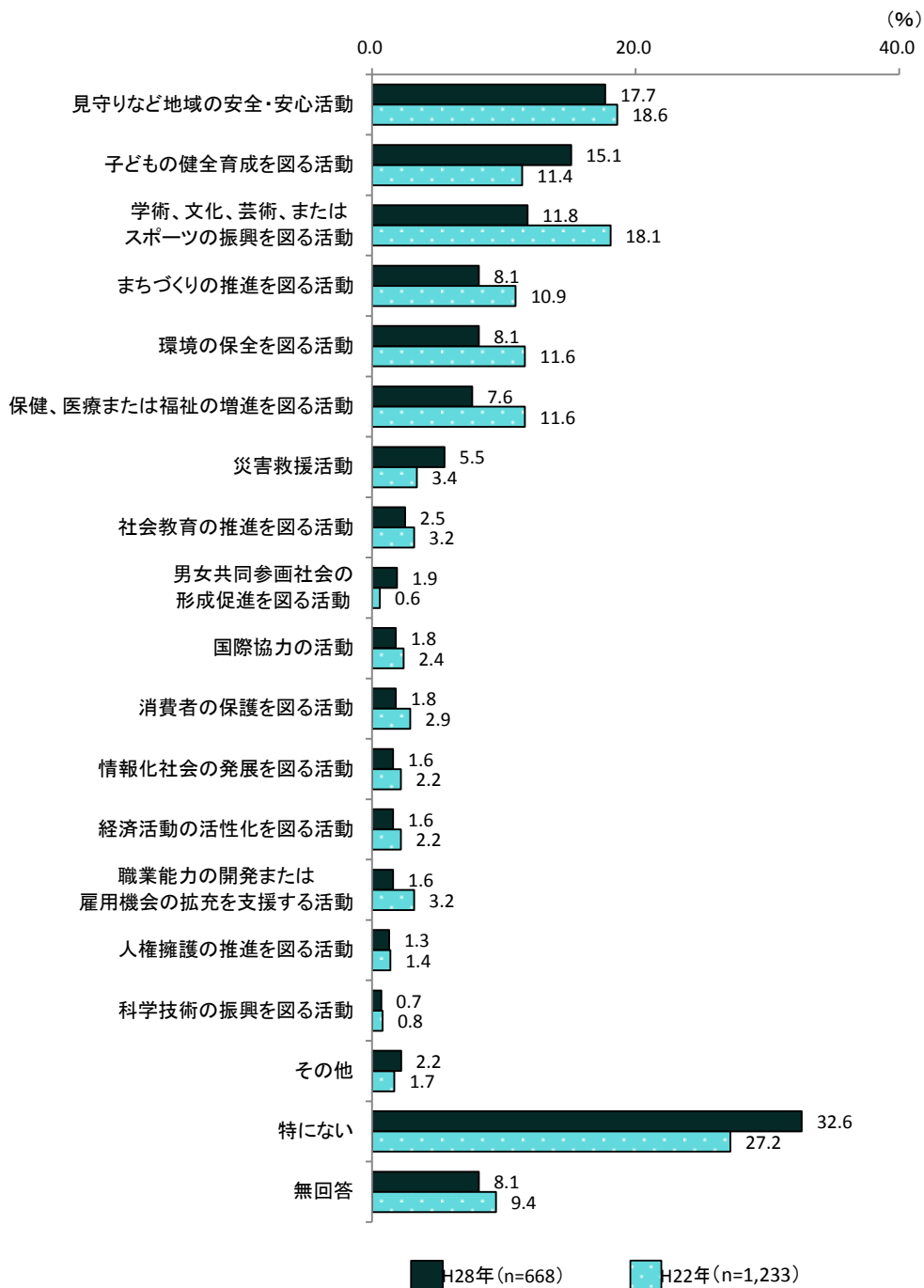
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「学術、文化、芸術、またはスポーツの振興を図る活動」が6.3ポイント低くなっています。また、「子どもの健全育成を図る活動」が3.7ポイント高くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「まちづくりの推進を図る活動」が9.8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「70～79歳」にかけて年齢が上がるにつれて「まちづくりの推進を図る活動」が高くなっています。

居住年数別にみると、「5年以上10年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「情報化社会の発展を図る活動」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	全見守りなど地域安心活動	子どもの健全育成を図る活動	学術、文化、芸術、スポーツの振興を図る活動	まちづくりの推進を図る活動	環境の保全を図る活動	保健、医療または福祉の増進を図る活動	災害救援活動	社会教育の推進を図る活動	男女共同参画社会の形成を推進する活動		
全体		668	17.7	15.1	11.8	8.1	8.1	7.6	5.5	2.5	1.9		
性別	男性	272	18.4	10.7	11.0	14.0	12.5	5.1	9.2	2.9	0.7		
	女性	384	17.4	18.5	12.8	4.2	5.2	9.6	3.1	2.3	2.9		
年齢別	20～29歳	63	11.1	17.5	15.9	9.5	4.8	4.8	4.8	3.2	1.6		
	30～39歳	86	11.6	30.2	8.1	3.5	4.7	7.0	3.5	2.3	0.0		
	40～49歳	175	18.3	16.6	12.6	6.3	7.4	6.9	6.9	2.9	3.4		
	50～59歳	59	22.0	13.6	15.3	10.2	10.2	10.2	3.4	0.0	1.7		
	60～69歳	113	18.6	9.7	15.0	13.3	9.7	8.0	10.6	4.4	2.7		
	70～79歳	91	26.4	12.1	13.2	14.3	12.1	7.7	4.4	2.2	0.0		
	80歳以上	71	14.1	5.6	2.8	0.0	8.5	11.3	1.4	1.4	2.8		
居住年数別	1年未満	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1年以上5年未満	25	20.0	12.0	20.0	8.0	4.0	16.0	0.0	0.0	4.0		
	5年以上10年未満	53	13.2	20.8	7.5	3.8	3.8	7.5	5.7	3.8	0.0		
	10年以上20年未満	106	17.9	27.4	17.0	7.5	11.3	7.5	2.8	2.8	0.9		
	20年以上30年未満	111	10.8	17.1	13.5	9.9	8.1	1.8	3.6	1.8	4.5		
30年以上	357	20.2	9.5	9.8	8.7	8.4	9.2	7.6	2.8	1.7			
		サンプル数	国際協力の活動	消費者の保護を図る活動	情報化社会の発展を図る活動	経済活動の活性化を図る活動	雇用機会の拡大を支援する活動	職業能力の向上を図る活動	人権擁護の推進を図る活動	科学技術の振興を図る活動	その他	特になし	無回答
全体		668	1.8	1.8	1.6	1.6	1.6	1.3	0.7	2.2	32.6	8.1	
性別	男性	272	1.8	1.5	3.3	2.2	2.2	1.1	1.5	2.6	31.3	6.3	
	女性	384	1.8	1.8	0.5	1.3	1.3	1.3	0.3	1.8	34.1	8.1	
年齢別	20～29歳	63	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	1.6	1.6	0.0	46.0	1.6	
	30～39歳	86	0.0	0.0	1.2	1.2	2.3	1.2	1.2	1.2	31.4	9.3	
	40～49歳	175	2.9	0.6	2.9	1.1	2.9	0.6	1.1	1.1	32.6	6.3	
	50～59歳	59	5.1	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	35.6	5.1	
	60～69歳	113	1.8	2.7	0.9	1.8	3.5	3.5	0.9	2.7	27.4	3.5	
	70～79歳	91	0.0	3.3	1.1	3.3	0.0	2.2	0.0	2.2	22.0	13.2	
	80歳以上	71	1.4	4.2	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	7.0	42.3	15.5	
居住年数別	1年未満	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	1年以上5年未満	25	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.0	8.0	
	5年以上10年未満	53	3.8	0.0	3.8	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	39.6	7.5	
	10年以上20年未満	106	1.9	0.9	2.8	0.9	2.8	0.9	0.9	0.0	29.2	1.9	
	20年以上30年未満	111	2.7	0.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	39.6	8.1	
30年以上	357	1.1	2.8	1.1	2.2	1.4	1.4	0.6	3.9	30.5	9.2		

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「見守りなど地域の安全・安心活動」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「見守りなど地域の安全・安心活動」が7.0ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「子供の健全育成を図る活動」が7.4ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

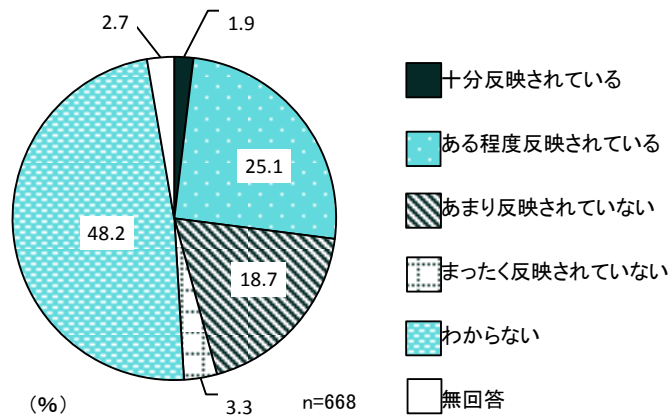
		サンプル数	見守りなど地域の安全・安心活動	子どもの健全育成を図る活動	学術、文化、スポーツの振興を図る活動	まちづくりの推進を図る活動	環境の保全を図る活動	保健、医療または福祉の増進を図る活動	災害救援活動	社会教育の推進を図る活動	男女共同参画社会の形成を促進する活動		
全体		668	17.7	15.1	11.8	8.1	8.1	7.6	5.5	2.5	1.9		
地域分類別	北部	239	21.3	15.1	8.4	7.9	8.4	7.5	4.6	2.9	2.5		
	南部	406	16.3	15.0	13.5	8.6	8.4	8.1	6.4	2.5	1.7		
	その他	10	0.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
住みやすさ別	大変住みよい	204	22.5	17.2	11.8	9.8	11.3	9.3	7.8	3.9	2.9		
	まあ住みよい	368	15.5	16.8	12.5	8.4	7.6	6.5	5.2	2.4	1.4		
	どちらともいえない	61	19.7	6.6	9.8	3.3	3.3	6.6	1.6	0.0	0.0		
	やや住みにくい	17	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	17.6	0.0	0.0	5.9		
	大変住みにくい	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
町政への満足度別	満足群	319	18.2	18.2	14.4	9.4	9.1	8.8	7.2	3.1	1.6		
	どちらともいえない	255	17.3	13.7	9.0	5.9	8.2	7.1	3.1	2.4	2.4		
	不満群	74	21.6	10.8	9.5	9.5	5.4	2.7	5.4	1.4	2.7		
		サンプル数	国際協力の活動	消費者の保護を図る活動	情報化社会の発展を図る活動	経済活動の活性化を図る活動	雇用機会の拡大を支援する活動	職業能力の向上を図る活動	人権擁護の推進を図る活動	科学技術の振興を図る活動	その他	特にない	無回答
全体		668	1.8	1.8	1.6	1.6	1.6	1.3	0.7	2.2	32.6	8.1	
地域分類別	北部	239	1.3	2.1	0.0	1.3	1.3	2.1	0.8	2.9	32.2	7.1	
	南部	406	2.0	1.5	2.7	2.0	2.0	0.7	0.7	1.7	32.8	7.6	
	その他	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0	20.0	
住みやすさ別	大変住みよい	204	1.5	1.5	2.9	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	23.5	7.4	
	まあ住みよい	368	2.2	1.9	0.8	1.1	1.4	0.5	0.3	2.7	35.3	6.8	
	どちらともいえない	61	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	4.9	0.0	1.6	44.3	9.8	
	やや住みにくい	17	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	52.9	11.8	
	大変住みにくい	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	
町政への満足度別	満足群	319	1.6	1.6	1.6	0.9	1.3	0.9	0.9	3.1	26.6	7.2	
	どちらともいえない	255	1.6	1.2	2.4	1.6	2.4	1.6	0.8	0.8	37.3	8.2	
	不満群	74	4.1	5.4	0.0	4.1	1.4	2.7	0.0	4.1	41.9	5.4	

問 13 あなたは、現在の町政に町民の意向がどの程度反映されていると思いますか。

【○は1つだけ】

町政に町民の意向が反映されている程度について、「ある程度反映されている」が25.1%と最も高くなっています。ついで、「あまり反映されていない」が18.7%、「まったく反映されていない」が3.3%となっています。

【全体 図】



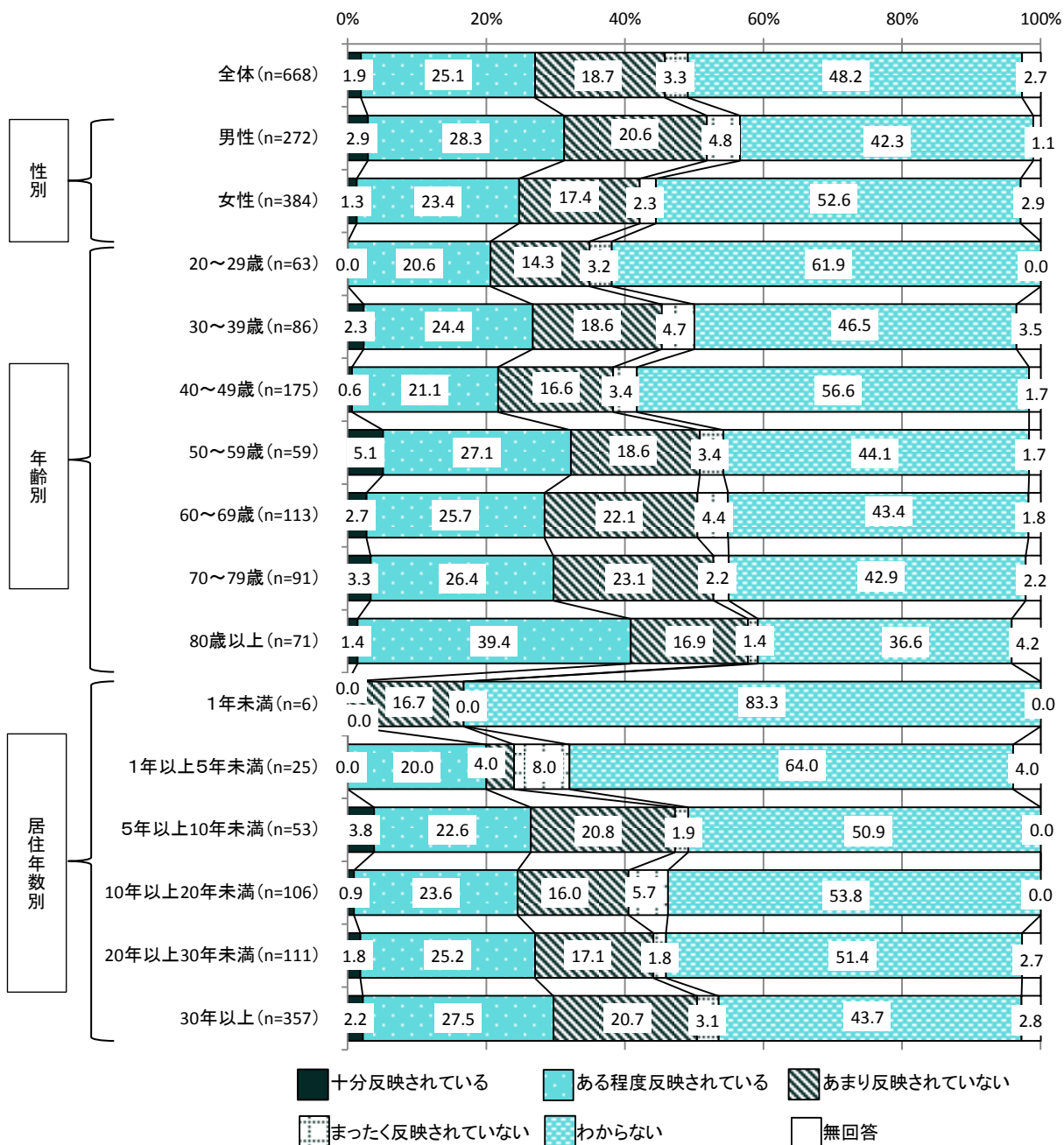
【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「40～49歳」から「70～79歳」にかけて年齢が上がるにつれて「あまり反映されていない」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「ある程度反映されている」が高くなっています。

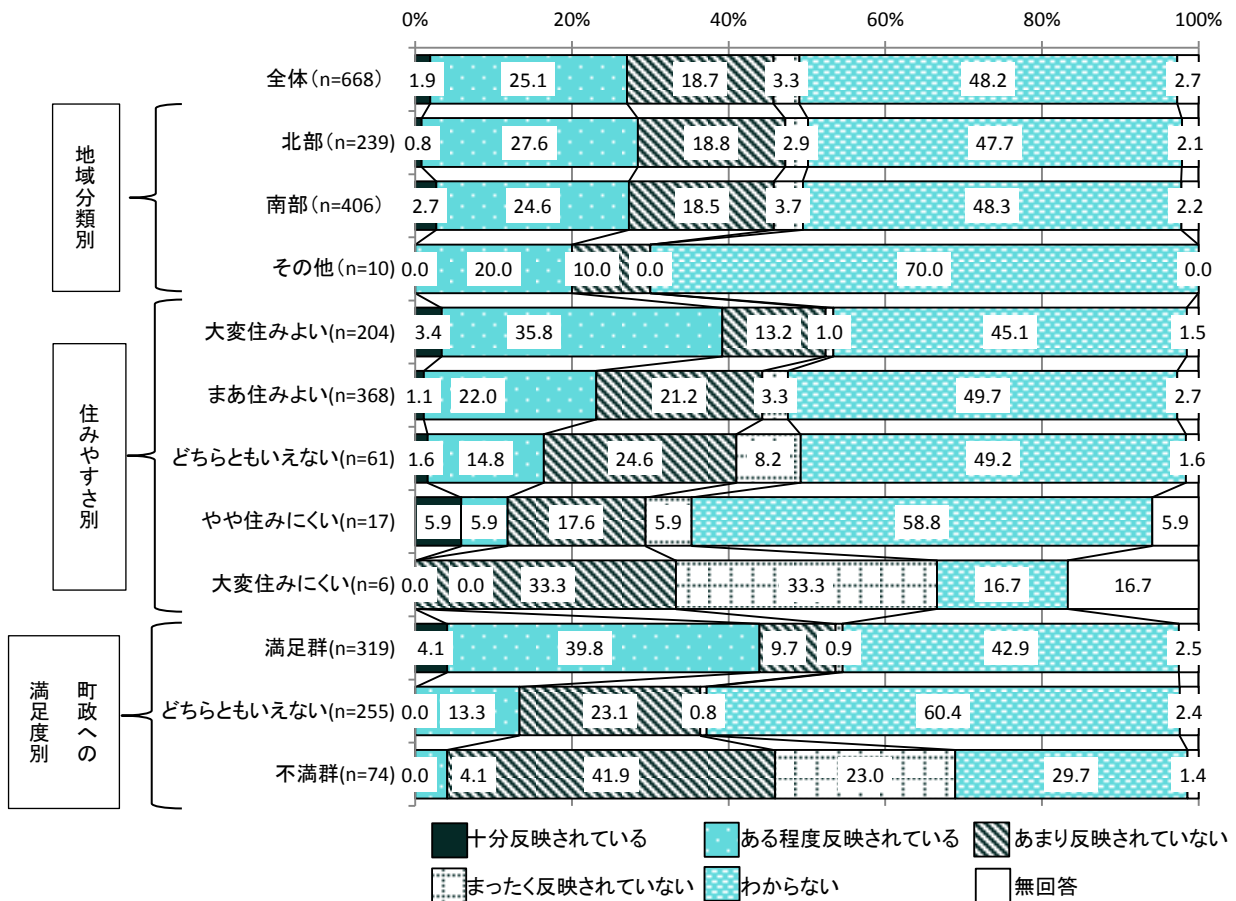
【性別・年齢別・居住年数別 図】



【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「ある程度反映されている」が高くなっています。
 住みやすさ別で見ると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「ある程度反映されている」が13.8ポイント高くなっています。
 町政への満足度別で見ると、「満足群」は「不満群」に比べて、「ある程度反映されている」が35.7ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】

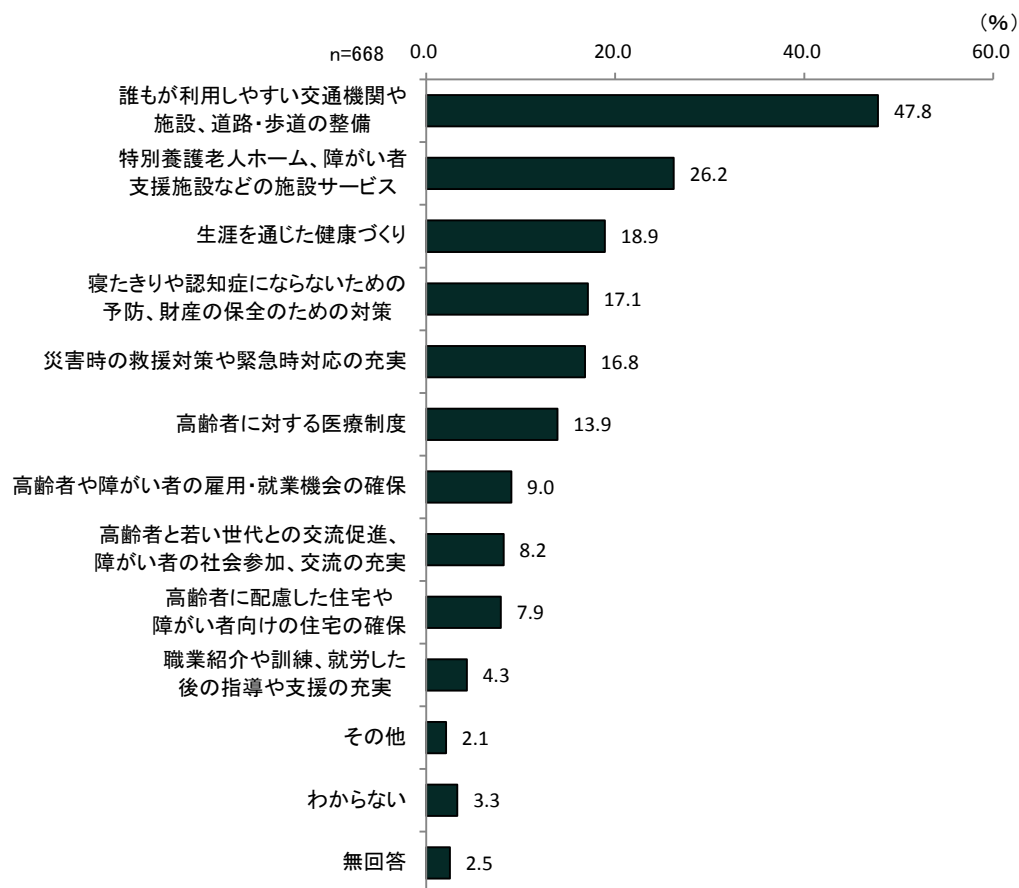


Ⅱ まちづくり憲章の「地域福祉のまちづくり」に向けて

問 14 高齢者や障がい者が安心して暮らせるために、あなたはどのような施策が必要だと思いますか。 【〇は2つまで】

高齢者や障がい者が安心して暮らせるために必要な施策について、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が47.8%と最も高くなっています。ついで、「特別養護老人ホーム、障がい者支援施設などの施設サービス」が26.2%、「生涯を通じた健康づくり」が18.9%となっています。

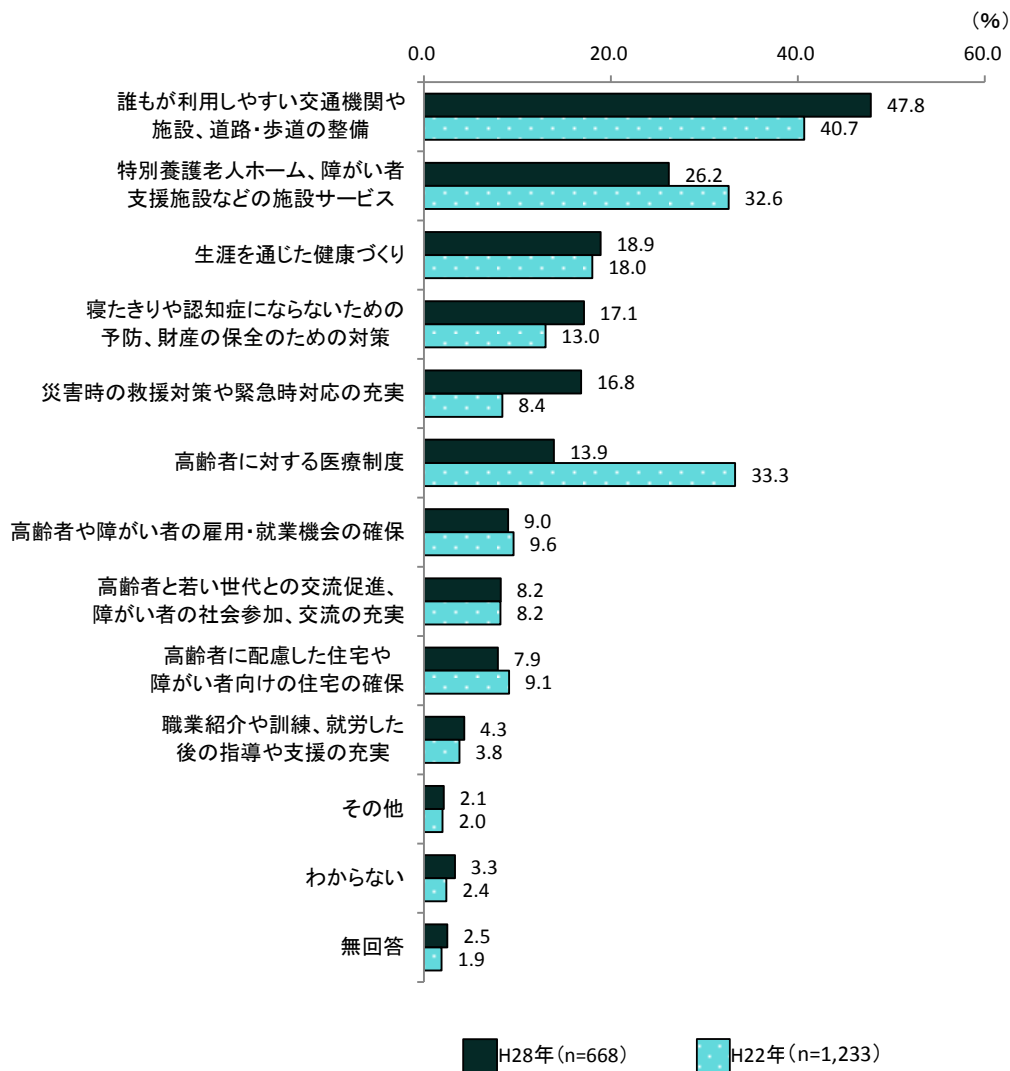
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「高齢者に対する医療制度」が19.4ポイント低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「20～29歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「高齢者や障がい者の雇用・就業機会の確保」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	歩道 の整備	誰もが 利用し やすい 交通 設備	障がい 者支援 施設 など	特別 養護 老人 ホーム 、 障がい 者サ ービス	生涯 を通 じた 健康 づく り	寝た きり や認 知症 にな らな いた め の予 防、 財 産の 保 全 の た め の 対 策	急 時 対 応 の 充 実	災 害 時 の 救 援 対 策 や 緊 急 時 の 充 実	高 齢 者 に 対 す る 医 療 制 度		
全体		668	47.8	26.2	18.9	17.1	16.8	13.9					
性別	男性	272	48.5	23.5	20.6	19.1	15.4	15.8					
	女性	384	47.7	28.4	18.2	15.4	18.0	12.2					
年齢別	20～29歳	63	47.6	25.4	12.7	15.9	12.7	15.9					
	30～39歳	86	57.0	9.3	18.6	14.0	10.5	9.3					
	40～49歳	175	52.6	22.9	13.7	13.1	20.6	9.7					
	50～59歳	59	39.0	33.9	25.4	18.6	18.6	11.9					
	60～69歳	113	40.7	35.4	26.5	15.9	16.8	17.7					
	70～79歳	91	50.5	33.0	23.1	19.8	16.5	12.1					
	80歳以上	71	40.8	26.8	16.9	28.2	18.3	25.4					
居住年数別	1年未満	6	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7					
	1年以上5年未満	25	60.0	20.0	16.0	12.0	8.0	16.0					
	5年以上10年未満	53	66.0	18.9	11.3	13.2	18.9	11.3					
	10年以上20年未満	106	52.8	22.6	15.1	16.0	15.1	12.3					
	20年以上30年未満	111	42.3	27.0	21.6	14.4	12.6	9.9					
	30年以上	357	44.8	29.1	21.0	19.6	19.0	15.7					
全体		668	9.0	8.2	7.9	4.3	2.1	3.3	2.5				
性別	男性	272	10.3	7.7	7.7	4.8	2.2	3.3	1.8				
	女性	384	8.3	8.9	8.3	4.2	2.1	3.4	2.1				
年齢別	20～29歳	63	4.8	11.1	7.9	9.5	4.8	6.3	0.0				
	30～39歳	86	18.6	16.3	10.5	7.0	1.2	1.2	3.5				
	40～49歳	175	11.4	8.0	9.1	6.3	3.4	4.0	1.7				
	50～59歳	59	10.2	3.4	5.1	3.4	1.7	3.4	1.7				
	60～69歳	113	11.5	6.2	9.7	2.7	0.9	1.8	0.9				
	70～79歳	91	2.2	7.7	5.5	1.1	0.0	2.2	3.3				
	80歳以上	71	0.0	5.6	5.6	0.0	2.8	5.6	4.2				
居住年数別	1年未満	6	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0				
	1年以上5年未満	25	12.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0				
	5年以上10年未満	53	11.3	15.1	13.2	3.8	3.8	0.0	0.0				
	10年以上20年未満	106	11.3	11.3	6.6	3.8	1.9	5.7	0.0				
	20年以上30年未満	111	9.0	5.4	12.6	8.1	2.7	5.4	2.7				
	30年以上	357	7.6	7.0	6.7	3.1	1.7	2.5	2.8				

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「寝たきりや認知症にならないための予防、財産の保全のための対策」が7.1ポイント低くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

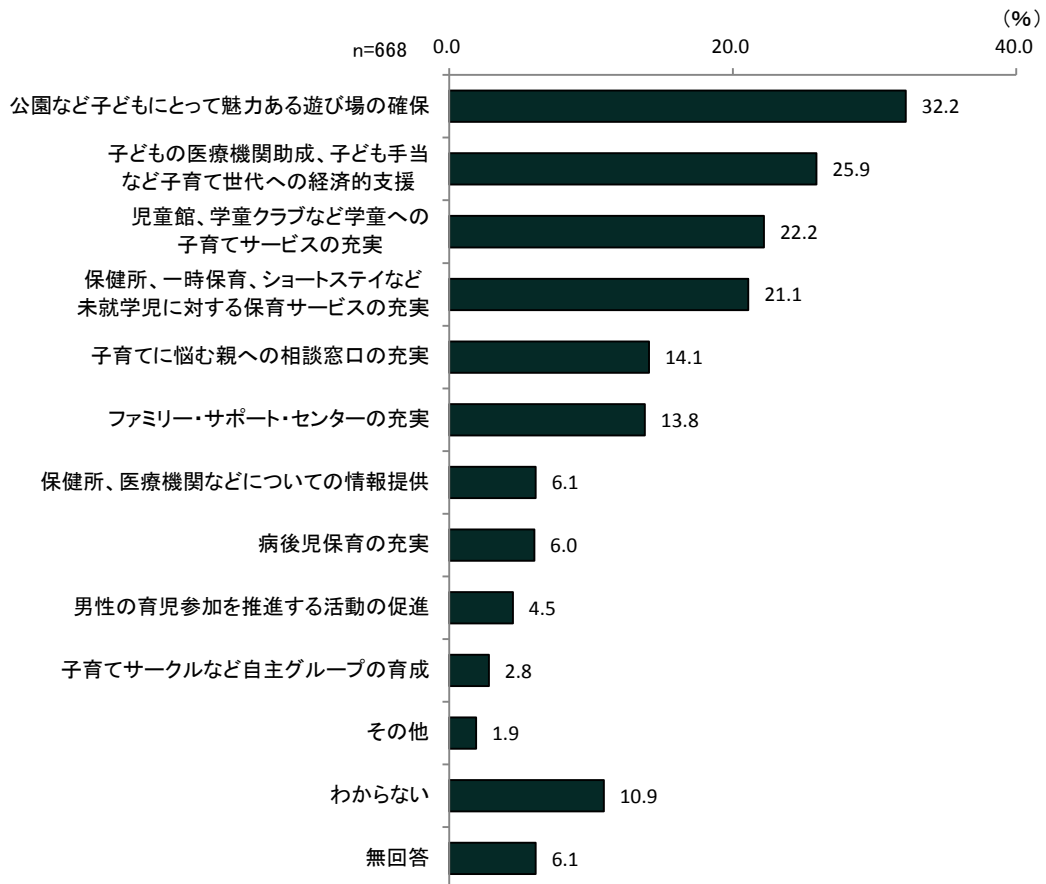
		サ ン プ ル 数	歩 道 の 整 備	通 機 が 利 用 し や す い ・ 交	誰 も が サ ー ビ ス	障 が い サ ー ビ ス	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 、 な ど	り 生 涯 を 通 じ た 健 康 づ く	産 ら 寝 の 保 全 の た め の 予 知 防 の 対 策	急 災 害 時 の 救 援 対 策 や 緊	度 高 齢 者 に 対 す る 医 療 制			
全体		668	47.8	26.2	18.9	17.1	16.8	13.9						
地域分類別	北部	239	43.1	27.6	20.5	18.4	17.2	11.7						
	南部	406	51.0	26.1	18.0	17.0	17.0	15.3						
	その他	10	50.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0						
住みやすさ別	大変住みよい	204	47.1	28.4	18.6	16.7	19.6	15.7						
	まあ住みよい	368	47.6	26.4	20.4	17.7	14.7	14.4						
	どちらともいえない	61	52.5	23.0	14.8	14.8	24.6	6.6						
	やや住みにくい	17	52.9	17.6	11.8	5.9	11.8	5.9						
	大変住みにくい	6	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3						
町政への満足度別	満足群	319	46.4	28.5	22.3	17.2	17.9	14.7						
	どちらともいえない	255	51.4	25.1	14.1	14.1	13.7	14.5						
	不満群	74	47.3	23.0	21.6	24.3	21.6	9.5						
全体		668	9.0	8.2	7.9	4.3	2.1	3.3	2.5					
地域分類別	北部	239	7.1	9.6	8.8	5.0	1.7	3.3	2.1					
	南部	406	10.1	7.4	7.6	3.4	2.2	3.2	2.2					
	その他	10	10.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0					
住みやすさ別	大変住みよい	204	12.3	5.9	9.8	6.4	2.5	1.5	1.0					
	まあ住みよい	368	7.6	8.7	6.3	3.8	1.9	3.8	2.4					
	どちらともいえない	61	6.6	11.5	11.5	1.6	0.0	6.6	1.6					
	やや住みにくい	17	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9					
	大変住みにくい	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7					
町政への満足度別	満足群	319	8.8	7.8	7.5	4.7	1.9	1.6	1.9					
	どちらともいえない	255	10.2	7.8	7.8	4.3	1.2	5.5	2.4					
	不満群	74	6.8	10.8	9.5	4.1	5.4	4.1	1.4					

問15 あなたが安心して子育てを行なうため、町で特に必要だと思うことは何ですか。

【〇は2つまで】

安心して子育てを行うために特に必要なことについて、「公園など子どもにとって魅力ある遊び場の確保」が32.2%と最も高くなっています。ついで、「子どもの医療機関助成、子ども手当など子育て世代への経済的支援」が25.9%、「児童館、学童クラブなど学童への子育てサービスの充実」が22.2%となっています。

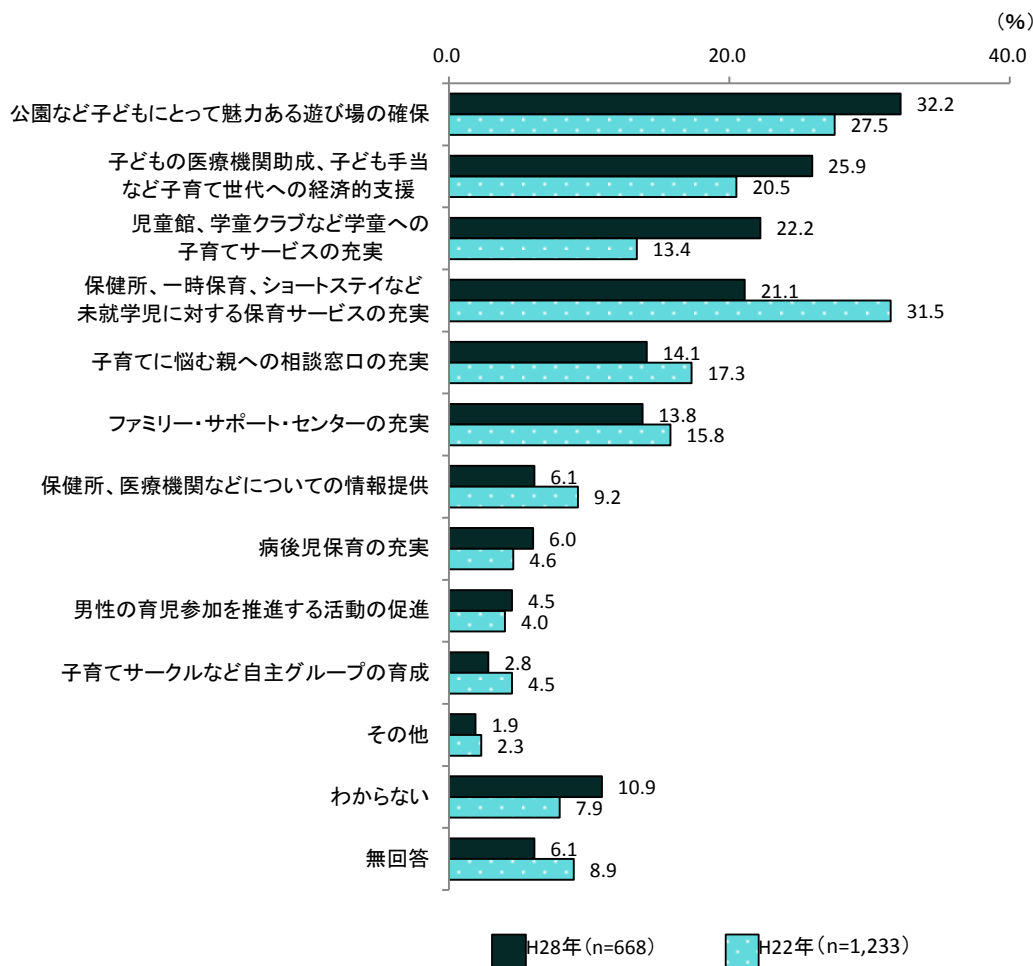
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「保健所、一時保育、ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実」が10.4ポイント低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「公園など子どもにとって魅力ある遊び場の確保」が6.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「40～49歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「子どもの医療機関助成、子ども手当など子育て世代への経済的支援」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「子育てに悩む親への相談窓口の充実」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	公園など遊び場の確保	子どもの経済的支援	子ども手当などの医療機関関係の世帯への支援	児童館、子育てサークルなど児童への支援	保健所、一時保育、ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実	子育てに悩む親への相談窓口の充実	ファミリー・サポート・センターの充実	
全体		668	32.2	25.9	22.2	21.1	14.1	13.8		
性別	男性	272	36.0	26.8	22.1	19.9	14.0	16.2		
	女性	384	29.9	25.5	22.7	22.7	14.3	12.5		
年齢別	20～29歳	63	25.4	41.3	11.1	27.0	11.1	11.1		
	30～39歳	86	45.3	33.7	30.2	23.3	4.7	10.5		
	40～49歳	175	34.3	36.0	24.0	24.0	12.0	11.4		
	50～59歳	59	30.5	25.4	22.0	30.5	10.2	20.3		
	60～69歳	113	27.4	23.0	22.1	22.1	23.0	22.1		
	70～79歳	91	33.0	8.8	26.4	15.4	19.8	12.1		
	80歳以上	71	26.8	5.6	14.1	7.0	16.9	11.3		
居住年数別	1年未満	6	50.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0		
	1年以上5年未満	25	48.0	52.0	16.0	32.0	4.0	16.0		
	5年以上10年未満	53	41.5	32.1	32.1	26.4	7.5	11.3		
	10年以上20年未満	106	47.2	36.8	32.1	28.3	8.5	5.7		
	20年以上30年未満	111	23.4	24.3	12.6	27.0	16.2	16.2		
	30年以上	357	28.0	19.3	21.6	16.5	17.1	16.2		
		サンプル数	保健所、医療機関などについての情報提供	病後児保育の充実	男性の育児参加を推進する活動の促進	子育てサークルなど自主グループの育成	その他	わからない	無回答	
全体		668	6.1	6.0	4.5	2.8	1.9	10.9	6.1	
性別	男性	272	6.6	2.2	4.4	2.9	2.9	11.4	4.0	
	女性	384	5.7	8.1	4.7	2.9	1.3	10.7	6.5	
年齢別	20～29歳	63	14.3	6.3	3.2	3.2	1.6	15.9	0.0	
	30～39歳	86	5.8	9.3	4.7	0.0	4.7	7.0	3.5	
	40～49歳	175	6.9	8.6	4.0	1.7	2.9	5.7	3.4	
	50～59歳	59	1.7	5.1	3.4	3.4	0.0	10.2	6.8	
	60～69歳	113	5.3	1.8	6.2	4.4	0.9	8.0	1.8	
	70～79歳	91	4.4	2.2	5.5	5.5	1.1	12.1	12.1	
	80歳以上	71	4.2	4.2	4.2	2.8	1.4	26.8	16.9	
居住年数別	1年未満	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年以上5年未満	25	4.0	8.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	
	5年以上10年未満	53	5.7	15.1	1.9	1.9	1.9	5.7	0.0	
	10年以上20年未満	106	5.7	6.6	0.9	0.9	1.9	5.7	0.0	
	20年以上30年未満	111	9.0	5.4	4.5	3.6	2.7	13.5	5.4	
	30年以上	357	5.3	3.9	5.9	3.4	2.0	13.4	8.7	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「公園など子どもにとって魅力ある遊び場の確保」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「子どもの医療機関助成、子ども手当など子育て世代への経済的支援」が10.2ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「児童館、学童クラブなど学童への子育てサービスの充実」が10.3ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

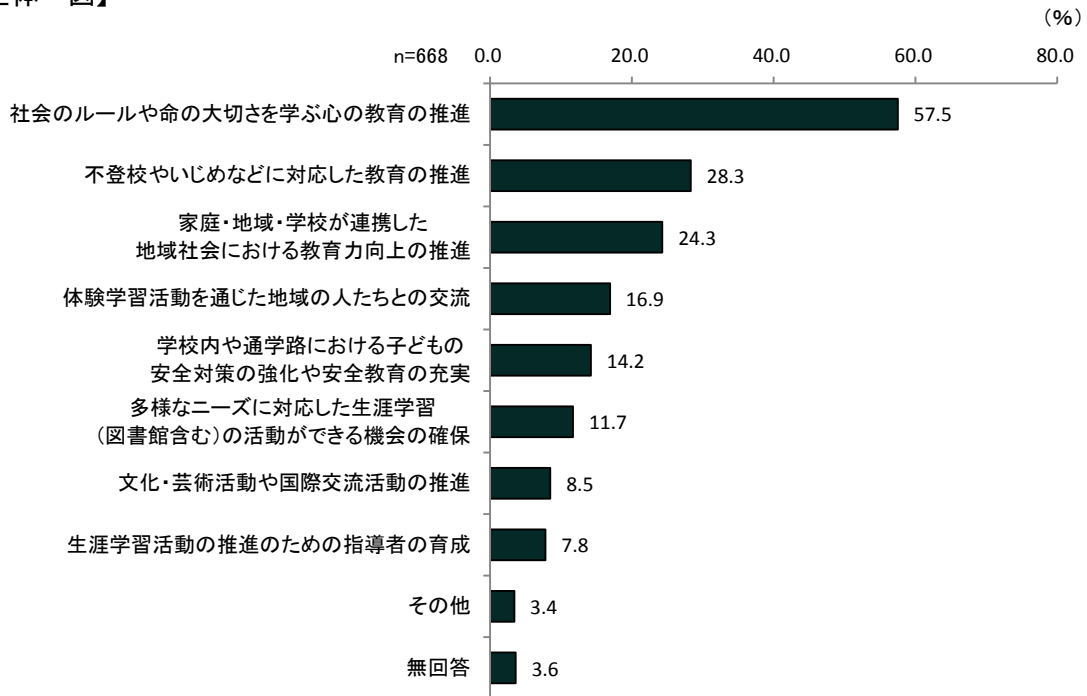
	サンプル数	公園など遊び場の確保	子どもの経済的支援	子ども手当などの医療機関助成、子育て世代への子	児童館、学童クラブなど学	児童館、学童クラブなど学	児童館、学童クラブなど学	児童館、学童クラブなど学	児童館、学童クラブなど学	児童館、学童クラブなど学
全体	668	32.2	25.9	22.2	21.1	14.1	13.8			
地域分類別	北部	239	28.0	27.2	19.7	22.2	15.9	13.8		
	南部	406	34.2	24.1	24.1	21.2	13.3	14.3		
	その他	10	50.0	70.0	10.0	20.0	20.0	10.0		
	その他	10	50.0	70.0	10.0	20.0	20.0	10.0		
住みやすさ別	大変住みよい	204	32.8	32.8	22.1	19.1	15.7	13.2		
	まあ住みよい	368	30.7	22.6	23.6	23.4	14.9	14.4		
	どちらともいえない	61	39.3	23.0	21.3	11.5	8.2	14.8		
	やや住みにくい	17	29.4	17.6	5.9	17.6	11.8	11.8		
	大変住みにくい	6	33.3	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
町政への満足度別	満足群	319	32.0	24.8	23.8	21.9	15.0	14.7		
	どちらともいえない	255	29.8	27.1	22.7	21.6	12.9	11.4		
	不満群	74	40.5	31.1	13.5	17.6	10.8	17.6		
	サンプル数	に保 つ健 い所 ての 医 療 機 関 提 供 な ど	病 後 児 保 育 の 充 実	す 男 性 の 活 動 の 育 児 参 加 を 推 進	主 子 育 て サ ー プ ル の 育 成 な ど 自	そ 他	わ か ら な い	無 回 答		
全体	668	6.1	6.0	4.5	2.8	1.9	10.9	6.1		
地域分類別	北部	239	5.9	5.4	3.8	1.7	0.4	13.4	6.3	
	南部	406	6.4	5.9	4.9	3.2	3.0	9.6	5.7	
	その他	10	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	10	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
住みやすさ別	大変住みよい	204	5.9	2.0	6.9	4.4	2.5	9.3	4.9	
	まあ住みよい	368	6.3	8.2	4.1	2.2	1.1	10.6	5.4	
	どちらともいえない	61	6.6	6.6	1.6	1.6	3.3	18.0	4.9	
	やや住みにくい	17	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	17.6	11.8	
	大変住みにくい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
町政への満足度別	満足群	319	7.8	6.9	5.6	2.2	1.3	9.1	5.3	
	どちらともいえない	255	4.3	5.9	3.1	3.5	2.4	12.9	6.3	
	不満群	74	6.8	4.1	5.4	4.1	4.1	13.5	2.7	

問 16 あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。

【○は2つまで】

教育を充実させるために力を入れるべきことについて、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が 57.5%と最も高くなっています。ついで、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 28.3%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 24.3%となっています。

【全体 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が 10.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「30～39 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1 年未満」から「5 年以上 10 年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実」が低くなっています。また、「5 年以上 10 年未満」から「30 年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「生涯学習活動の推進のための指導者の育成」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	を社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	した登校やいじめなどの対応	向地域・地域・学校が連携し	家庭・地域・学校が連携し	体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流	全教育の充実	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安	動が学習（図書館含む）の確保	多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の確保	文化・芸術活動や国際交流	の生涯学習活動の推進のため	その他	無回答
全体		668	57.5	28.3	24.3	16.9	14.2	11.7	8.5	7.8	3.4	3.6			
性別	男性	272	64.3	27.9	24.3	17.3	15.8	12.9	6.3	7.7	2.2	2.2			
	女性	384	54.2	28.9	24.5	16.7	13.0	11.2	10.4	7.8	4.4	3.4			
年齢別	20～29歳	63	52.4	30.2	19.0	19.0	22.2	14.3	11.1	4.8	3.2	0.0			
	30～39歳	86	48.8	22.1	33.7	22.1	17.4	11.6	9.3	7.0	4.7	3.5			
	40～49歳	175	51.4	28.6	21.1	16.6	19.4	14.9	12.6	8.0	2.9	2.9			
	50～59歳	59	61.0	35.6	28.8	18.6	10.2	13.6	8.5	1.7	1.7	1.7			
	60～69歳	113	71.7	26.5	25.7	16.8	11.5	12.4	3.5	11.5	1.8	0.9			
	70～79歳	91	68.1	29.7	26.4	13.2	6.6	6.6	11.0	9.9	3.3	4.4			
	80歳以上	71	53.5	29.6	16.9	12.7	7.0	7.0	1.4	8.5	8.5	9.9			
居住年数別	1年未満	6	83.3	16.7	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
	1年以上5年未満	25	40.0	16.0	28.0	28.0	24.0	20.0	4.0	8.0	4.0	4.0			
	5年以上10年未満	53	47.2	28.3	39.6	15.1	20.8	11.3	11.3	1.9	3.8	0.0			
	10年以上20年未満	106	53.8	23.6	25.5	23.6	21.7	16.0	10.4	7.5	0.9	0.0			
	20年以上30年未満	111	52.3	30.6	20.7	15.3	10.8	11.7	15.3	8.1	5.4	3.6			
30年以上	357	63.6	30.3	22.1	15.1	10.6	10.1	6.2	9.0	3.6	4.5				

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流」が5.6ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、大きな差はみられません。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

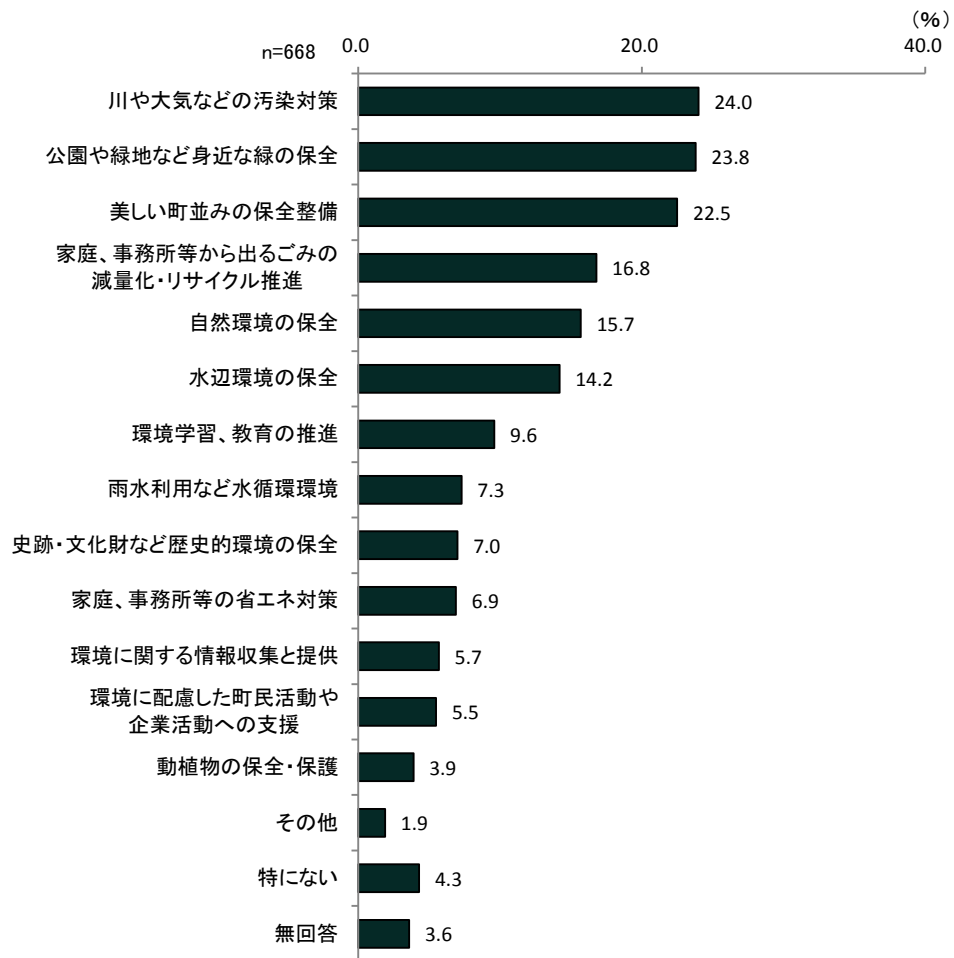
		サンプル数	を社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	した登校やいじめなどの対応	向地域・地域・学校が連携し	家庭・地域・学校が連携し	体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流	全教育の充実	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安	動が学習（図書館含む）の確保	多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の確保	文化・芸術活動や国際交流	の生涯学習活動の推進のため	その他	無回答
全体		668	57.5	28.3	24.3	16.9	14.2	11.7	8.5	7.8	3.4	3.6			
地域分類別	北部	239	61.1	31.4	21.8	15.5	13.0	9.6	10.5	7.9	3.8	2.9			
	南部	406	56.9	26.8	25.6	17.5	14.8	12.8	6.9	7.6	3.4	3.4			
	その他	10	40.0	30.0	30.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0			
住みやすさ別	大変住みよい	204	59.3	31.9	23.5	21.6	15.2	9.8	8.3	6.9	1.5	2.0			
	まあ住みよい	368	58.7	26.9	26.4	16.0	14.1	12.0	8.4	7.3	4.1	3.5			
	どちらともいえない	61	52.5	34.4	18.0	9.8	19.7	13.1	9.8	9.8	1.6	1.6			
	やや住みにくい	17	35.3	17.6	35.3	11.8	0.0	11.8	5.9	17.6	11.8	5.9			
町政への満足度別	満足群	319	60.2	27.3	23.2	18.2	14.4	12.5	8.2	7.8	1.6	3.4			
どちらともいえない	255	52.5	30.2	27.1	15.3	13.7	11.8	9.0	8.6	3.1	3.1				
不満群	74	64.9	29.7	20.3	16.2	13.5	9.5	9.5	5.4	13.5	1.4				

Ⅲ まちづくり憲章の「水と緑の美しいまちづくり」に向けて

問17 よりよい環境づくりのため、あなたは町としてどのような分野に取り組むべきだと思いますか。 【〇は2つまで】

環境づくりのために取り組む分野について、「川や大気などの汚染対策」が24.0%と最も高くなっています。ついで、「公園や緑地など身近な緑の保全」が23.8%、「美しい町並みの保全整備」が22.5%となっています。

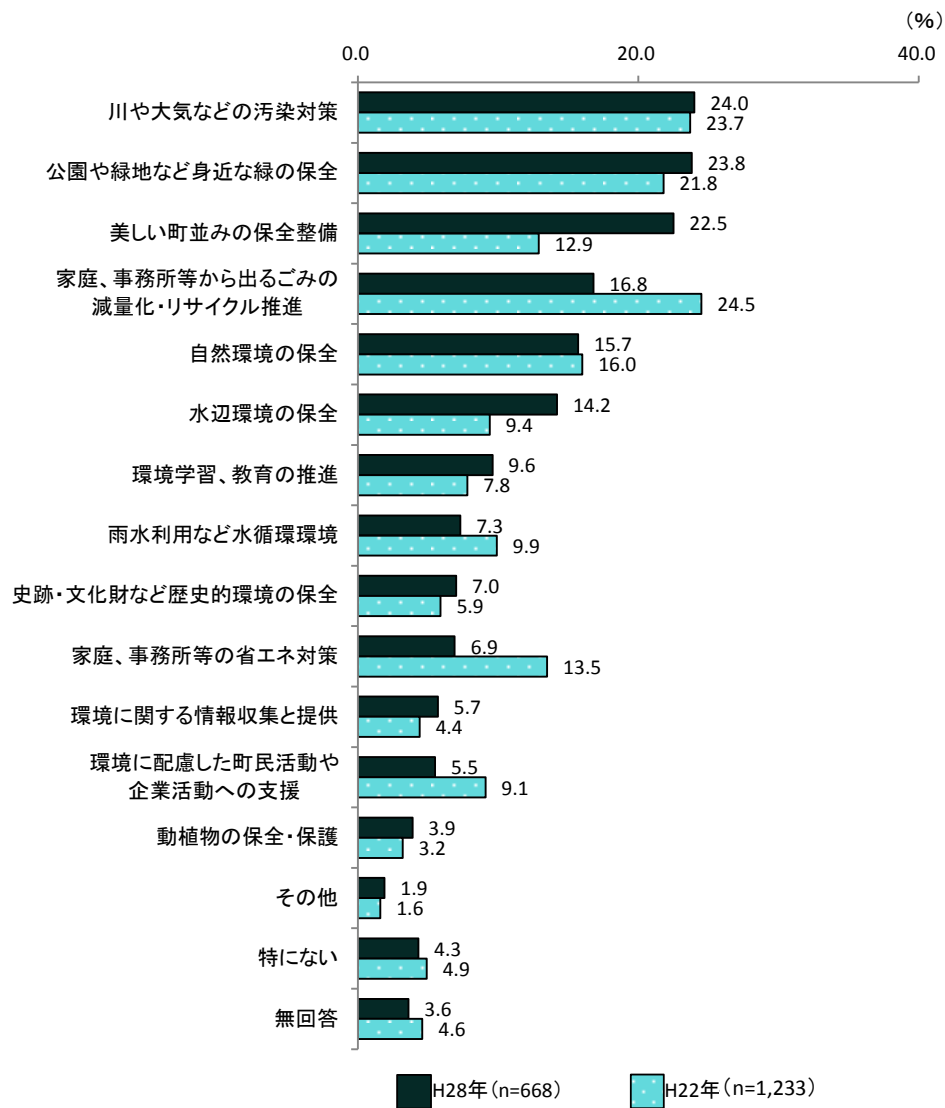
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「家庭、事務所等から出るごみの減量化・リサイクル推進」が7.7ポイント低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「30～39歳」から「60歳～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「美しい町並みの保全整備」が低くなっています。また、「20～29歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「史跡・文化財など歴史的環境の保全」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「環境学習、教育の推進」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	川や大気などの汚染対策	公園や緑地など身近な緑の保全	美しい町並みの保全整備	家庭、事務所等から出るごみの減量化・リサイクルの推進	自然環境の保全	水辺環境の保全	環境学習、教育の推進	雨水利用など水循環環境
全体		668	24.0	23.8	22.5	16.8	15.7	14.2	9.6	7.3
性別	男性	272	26.1	26.5	22.4	14.3	16.9	16.5	7.7	9.6
	女性	384	22.7	22.1	22.1	18.8	15.1	12.8	11.2	5.7
年齢別	20～29歳	63	25.4	23.8	23.8	14.3	14.3	9.5	7.9	9.5
	30～39歳	86	16.3	32.6	30.2	20.9	12.8	11.6	10.5	4.7
	40～49歳	175	21.1	29.1	28.0	13.1	12.0	17.7	9.1	5.7
	50～59歳	59	23.7	13.6	20.3	16.9	23.7	16.9	15.3	6.8
	60～69歳	113	23.0	22.1	15.9	20.4	15.0	15.9	14.2	11.5
	70～79歳	91	33.0	24.2	18.7	14.3	24.2	11.0	4.4	6.6
居住年数別	80歳以上	71	29.6	12.7	12.7	21.1	14.1	14.1	7.0	7.0
	1年未満	6	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	1年以上5年未満	25	4.0	36.0	32.0	24.0	12.0	12.0	20.0	4.0
	5年以上10年未満	53	20.8	30.2	35.8	13.2	18.9	22.6	11.3	1.9
	10年以上20年未満	106	26.4	30.2	27.4	12.3	13.2	17.0	10.4	7.5
	20年以上30年未満	111	19.8	20.7	18.9	18.0	14.4	10.8	7.2	9.9
30年以上	357	26.3	21.6	19.0	17.9	16.5	14.0	9.0	7.6	
		サンプル数	史的環境・文化財など歴史的環境の保全	家庭、事務所等の省エネ対策	環境に関する情報収集と提供	環境や企業活動への町民支援	動植物の保全・保護	その他	特になし	無回答
全体		668	7.0	6.9	5.7	5.5	3.9	1.9	4.3	3.6
性別	男性	272	7.7	6.3	5.1	7.0	3.7	2.9	4.8	2.2
	女性	384	6.8	7.6	6.3	4.7	4.2	1.3	4.2	3.4
年齢別	20～29歳	63	4.8	12.7	6.3	6.3	4.8	0.0	7.9	0.0
	30～39歳	86	5.8	7.0	3.5	3.5	4.7	4.7	2.3	4.7
	40～49歳	175	9.1	7.4	3.4	4.0	3.4	2.3	5.1	1.7
	50～59歳	59	13.6	6.8	1.7	3.4	1.7	1.7	3.4	1.7
	60～69歳	113	5.3	7.1	14.2	8.0	3.5	0.9	2.7	0.9
	70～79歳	91	4.4	7.7	6.6	7.7	6.6	2.2	4.4	4.4
居住年数別	80歳以上	71	7.0	0.0	2.8	7.0	1.4	1.4	5.6	11.3
	1年未満	6	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	1年以上5年未満	25	4.0	8.0	0.0	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0
	5年以上10年未満	53	0.0	9.4	3.8	3.8	1.9	3.8	0.0	0.0
	10年以上20年未満	106	9.4	8.5	0.9	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0
	20年以上30年未満	111	8.1	7.2	6.3	5.4	4.5	1.8	10.8	2.7
30年以上	357	7.3	5.6	7.6	6.7	4.2	1.4	3.9	4.8	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、「北部」は「公園や緑地など身近な緑の保全」(25.5%)が高くなっており、「南部」は「川や大気などの汚染対策」(27.1%)が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「自然環境の保全」が7.7ポイント低くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「家庭、事務所等から出るごみの減量化・リサイクル推進」が9.3ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

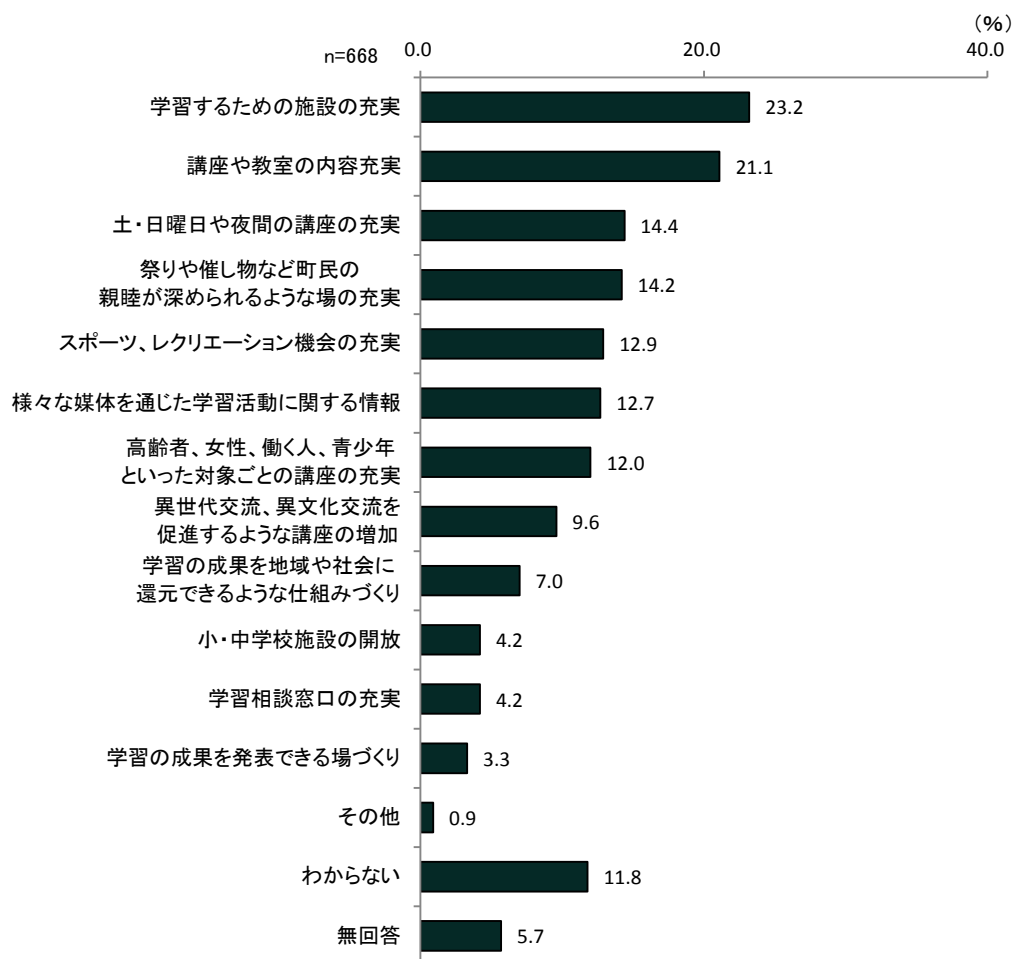
	サンプル数	川や大気などの汚染対策	公園や緑地など身近な緑の保全	美しい町並みの保全	家庭、事務所等から出るごみの削減・リサイクル推進	自然環境の保全	水辺環境の保全	環境学習、教育の推進	雨水利用など水循環環境
全体	668	24.0	23.8	22.5	16.8	15.7	14.2	9.6	7.3
地域分類別	北部	239	19.2	25.5	18.8	16.3	19.7	15.5	8.8
	南部	406	27.1	22.2	22.9	17.7	13.8	13.5	10.1
	その他	10	20.0	50.0	50.0	0.0	10.0	10.0	20.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	22.5	25.5	27.9	19.1	11.3	15.7	7.8
	まあ住みよい	368	24.7	23.1	22.0	16.3	19.0	13.3	10.3
	どちらともいえない	61	27.9	24.6	11.5	14.8	13.1	16.4	9.8
	やや住みにくい	17	23.5	23.5	5.9	17.6	11.8	11.8	11.8
	大変住みにくい	6	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
町政への満足度別	満足群	319	25.1	24.1	26.0	18.8	16.0	12.5	9.7
	どちらともいえない	255	23.5	25.5	20.4	17.3	14.1	17.6	7.1
	不満群	74	23.0	18.9	17.6	9.5	20.3	12.2	14.9
全体	668	7.0	6.9	5.7	5.5	3.9	1.9	4.3	3.6
地域分類別	北部	239	4.6	6.7	7.9	5.9	6.3	0.8	5.0
	南部	406	8.9	7.1	4.7	5.2	2.7	2.7	4.2
	その他	10	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	12.3	6.9	4.4	6.4	5.4	0.5	1.5
	まあ住みよい	368	5.7	7.1	6.0	5.2	3.8	2.2	4.1
	どちらともいえない	61	1.6	8.2	4.9	3.3	1.6	1.6	13.1
	やや住みにくい	17	0.0	0.0	11.8	5.9	0.0	5.9	17.6
	大変住みにくい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
町政への満足度別	満足群	319	8.8	7.5	6.0	5.0	4.1	1.3	1.3
	どちらともいえない	255	6.7	6.3	4.3	5.5	3.1	1.6	6.7
	不満群	74	2.7	5.4	9.5	6.8	5.4	5.4	10.8

IV まちづくり憲章の「生涯学習のまちづくり」に向けて

問 18 あなたは、生涯学習を行う環境の整備について、町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。 【〇は2つまで】

生涯学習を行う環境の整備で取り組むことについて、「学習するための施設の充実」が23.2%と最も高くなっています。ついで、「講座や教室の内容充実」が21.1%、「土・日曜日や夜間の講座の充実」が14.4%となっています。

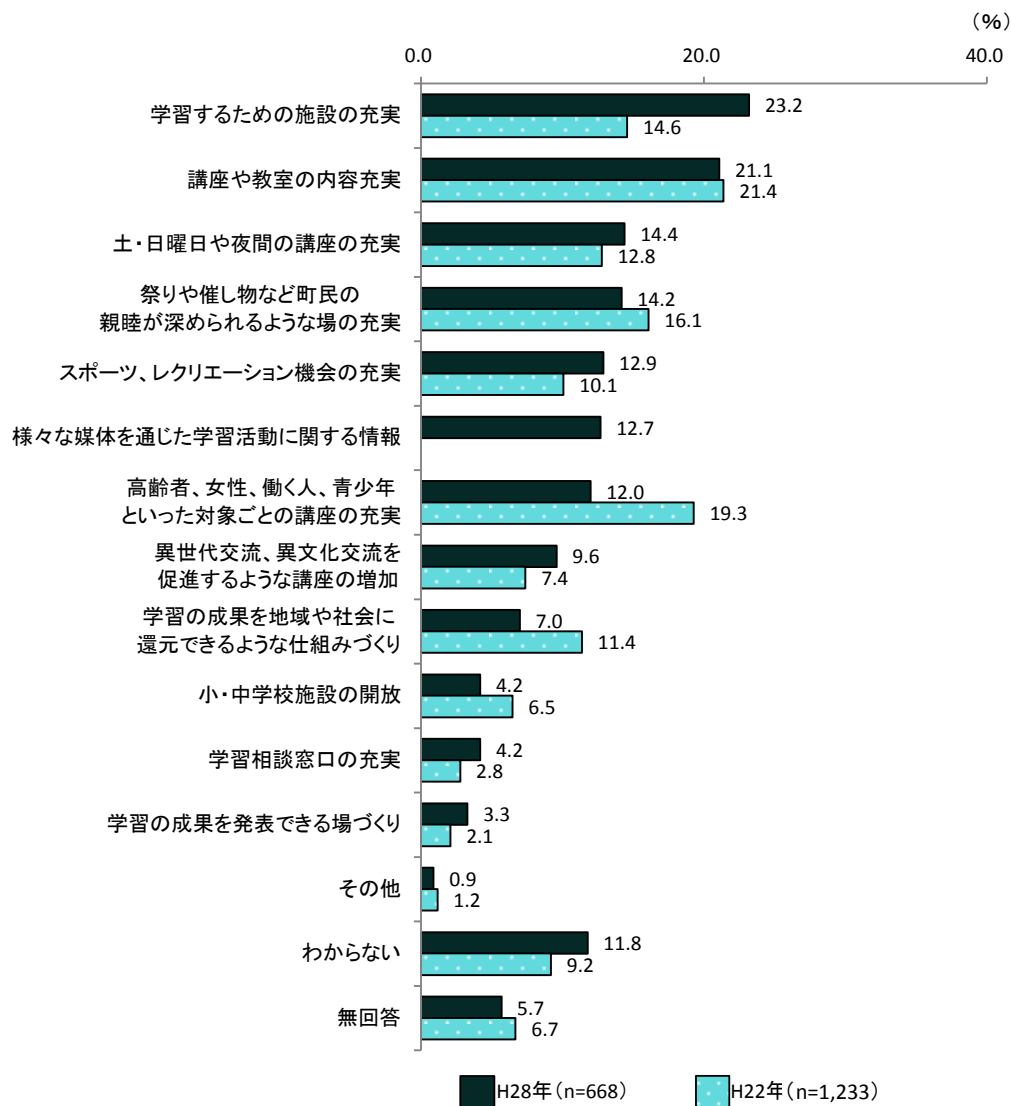
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「学習するための施設の充実」が8.6ポイント高くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「学習するための施設の充実」が6.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「20～29歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「土・日曜日や夜間の講座の充実」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	学習するための施設の充実	講座や教室の内容充実	土・日曜日や夜間の講座の充実	の親や睦が深められるよ	祭りの催し物など町民	スポーツ、レクリエーション機会の充実	様々な媒体を通じた学習活動に関する情報	象人、高齢者、青少年との講座の充実	高齢者、女性、働く人、女性、勤労者
全体		668	23.2	21.1	14.4	14.2	12.9	12.7	12.0		
性別	男性	272	27.2	21.7	11.8	13.2	16.9	15.4	11.8		
	女性	384	20.6	20.8	16.7	15.1	10.4	10.7	12.5		
年齢別	20～29歳	63	33.3	17.5	19.0	14.3	15.9	4.8	6.3		
	30～39歳	86	26.7	22.1	16.3	20.9	12.8	9.3	11.6		
	40～49歳	175	24.0	18.9	19.4	13.7	18.3	13.7	6.9		
	50～59歳	59	18.6	27.1	25.4	8.5	11.9	10.2	22.0		
	60～69歳	113	26.5	28.3	12.4	12.4	12.4	18.6	15.0		
	70～79歳	91	19.8	20.9	5.5	15.4	9.9	15.4	12.1		
	80歳以上	71	11.3	14.1	2.8	14.1	4.2	9.9	18.3		
居住年数別	1年未満	6	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3		
	1年以上5年未満	25	32.0	20.0	24.0	36.0	12.0	0.0	16.0		
	5年以上10年未満	53	20.8	18.9	17.0	22.6	11.3	17.0	9.4		
	10年以上20年未満	106	34.0	16.0	16.0	11.3	17.0	13.2	8.5		
	20年以上30年未満	111	28.8	18.0	15.3	14.4	15.3	11.7	7.2		
	30年以上	357	18.2	24.4	12.9	12.0	11.2	13.2	14.6		
		サンプル数	座流異の増進交流、異文化講座	仕組に還元の成果を地域や社	小・中学校施設の開放	学習相談窓口の充実	る学習の成果を発表でき	その他	わからない	無回答	
全体		668	9.6	7.0	4.2	4.2	3.3	0.9	11.8	5.7	
性別	男性	272	9.6	8.1	4.0	5.5	2.9	1.1	10.3	4.4	
	女性	384	9.9	6.0	4.4	3.1	3.6	0.8	13.0	5.7	
年齢別	20～29歳	63	11.1	4.8	6.3	4.8	3.2	0.0	11.1	1.6	
	30～39歳	86	11.6	7.0	8.1	3.5	1.2	2.3	11.6	3.5	
	40～49歳	175	13.1	7.4	1.7	4.0	5.7	0.6	10.3	2.3	
	50～59歳	59	13.6	8.5	6.8	0.0	0.0	1.7	11.9	1.7	
	60～69歳	113	6.2	10.6	3.5	6.2	0.9	0.9	4.4	4.4	
	70～79歳	91	6.6	4.4	5.5	3.3	6.6	1.1	14.3	12.1	
	80歳以上	71	4.2	2.8	1.4	5.6	2.8	0.0	23.9	15.5	
居住年数別	1年未満	6	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年以上5年未満	25	8.0	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0	8.0	4.0	
	5年以上10年未満	53	9.4	9.4	3.8	3.8	1.9	1.9	7.5	3.8	
	10年以上20年未満	106	13.2	7.5	5.7	2.8	7.5	0.9	6.6	2.8	
	20年以上30年未満	111	14.4	8.1	4.5	1.8	2.7	1.8	13.5	1.8	
	30年以上	357	7.6	6.2	3.6	5.0	2.8	0.6	14.0	7.8	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「学習するための施設の充実」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「スポーツ、レクリエーション機会の充実」が8.1ポイント低くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

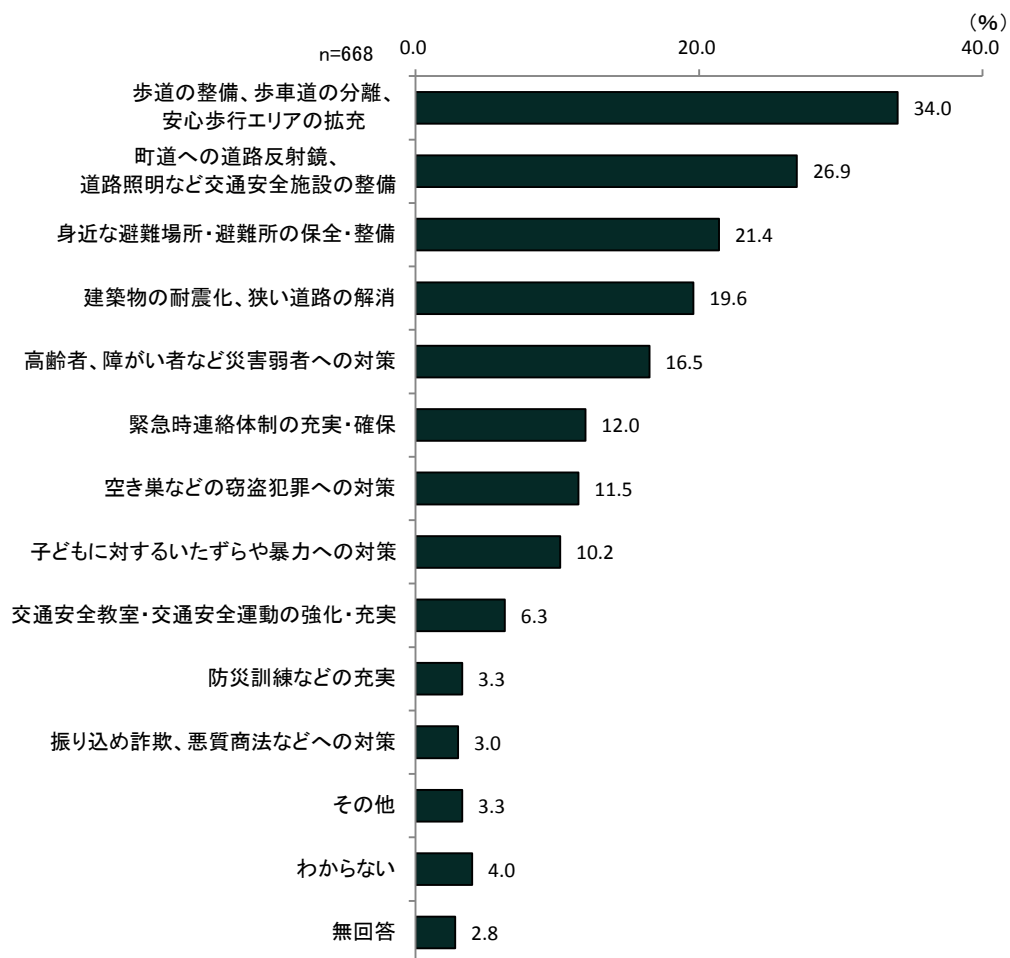
		サンプル数	学習するための施設の充実	講座や教室の内容充実	土・日曜日や夜間の講座の充実	祭りの催し物など町民の親睦が深められるような場の充実	スポーツ、レクリエーション機会の充実	様々な媒体を通じた学習活動に関する情報	高齢者、女性、働く人、青少年といった対象ごとの講座の充実			
全体		668	23.2	21.1	14.4	14.2	12.9	12.7	12.0			
地域分類別	北部	239	25.5	21.3	13.8	8.8	12.6	11.7	13.4			
	南部	406	22.2	21.4	15.0	16.7	12.6	13.1	11.6			
	その他	10	0.0	20.0	20.0	40.0	30.0	10.0	10.0			
住みやすさ別	大変住みよい	204	22.5	19.6	11.8	18.6	12.7	14.7	11.8			
	まあ住みよい	368	23.6	23.6	16.3	14.7	12.2	12.2	12.0			
	どちらともいえない	61	27.9	14.8	13.1	3.3	18.0	13.1	11.5			
	やや住みにくい	17	23.5	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	11.8			
	大変住みにくい	6	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0			
町政への満足度別	満足群	319	22.3	24.5	14.4	16.9	12.2	12.9	13.2			
	どちらともいえない	255	25.5	19.2	15.7	11.8	12.5	14.1	11.8			
	不満群	74	25.7	18.9	12.2	12.2	20.3	10.8	10.8			
		サンプル数	な交流を促進するよう	異世代交流、異文化	社会的な取り組みづくり	学習の成果を地域や	小・中学校施設の開放	学習相談窓口の充実	学習の成果を発表できる場づくり	その他	わからない	無回答
全体		668	9.6	7.0	4.2	4.2	3.3	0.9	11.8	5.7		
地域分類別	北部	239	10.9	5.9	5.0	5.0	3.8	1.3	12.6	5.0		
	南部	406	9.1	7.1	3.7	3.4	3.2	0.7	11.8	5.9		
	その他	10	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
住みやすさ別	大変住みよい	204	11.8	8.3	3.9	2.0	4.4	0.5	10.3	7.4		
	まあ住みよい	368	9.0	6.5	4.9	5.2	3.3	1.1	10.3	3.8		
	どちらともいえない	61	9.8	4.9	3.3	6.6	0.0	1.6	21.3	1.6		
	やや住みにくい	17	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	29.4	17.6		
	大変住みにくい	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3		
町政への満足度別	満足群	319	11.3	7.2	3.1	3.1	4.7	0.9	9.4	4.1		
	どちらともいえない	255	9.0	6.3	5.5	5.1	1.6	0.8	14.1	3.5		
	不満群	74	6.8	8.1	5.4	5.4	4.1	1.4	16.2	1.4		

V まちづくり憲章の「生活優先のまちづくり」に向けて

問19 安全・安心なまちづくりを進めるうえで、町に特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。 【〇は2つまで】

安全・安心なまちづくりを進めるうえで力を入れてほしいことについて、「歩道の整備、歩車道の分離、安心歩行エリアの拡充」が34.0%と最も高くなっています。ついで、「町道への道路反射鏡、道路照明など交通安全施設の整備」が26.9%、「身近な避難場所・避難所の保全・整備」が21.4%となっています。

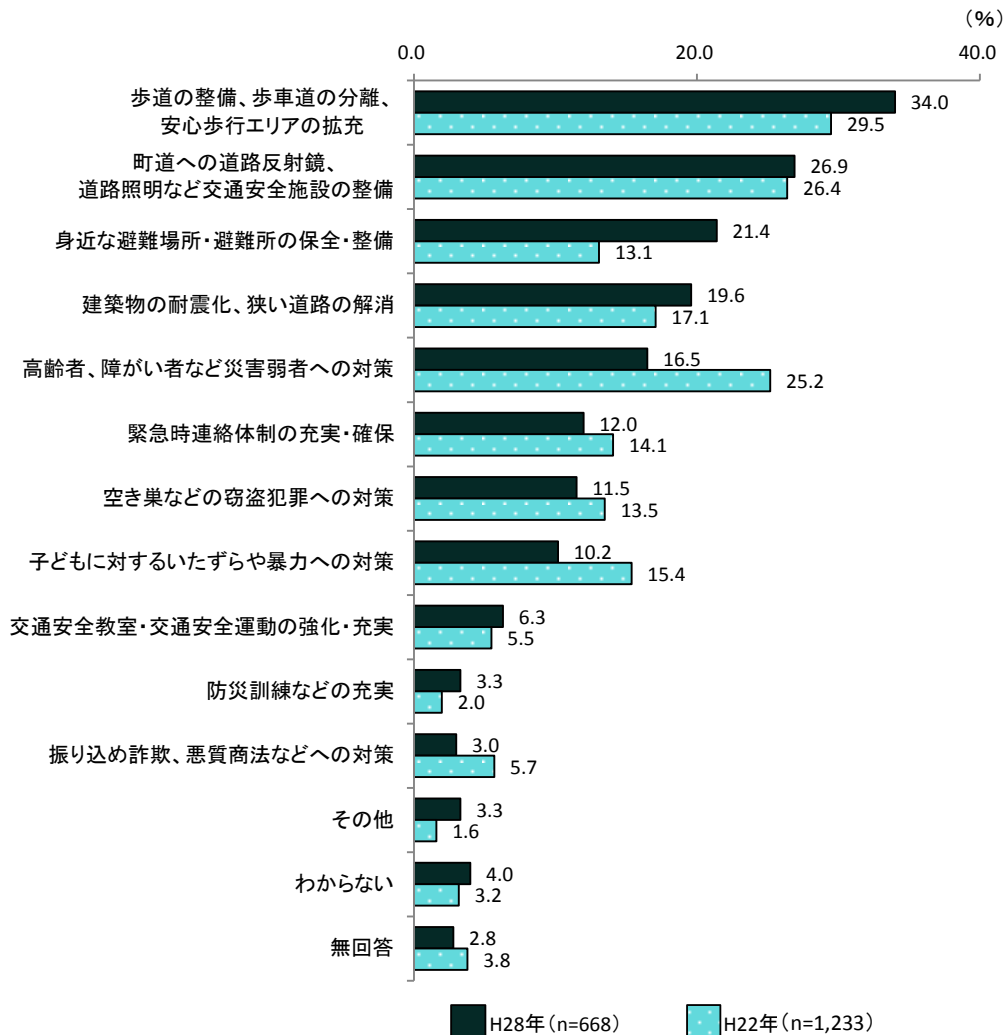
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「高齢者、障がい者など災害弱者への対策」が8.7ポイント低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「町道への道路反射鏡、道路照明など交通安全施設の整備」が6.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「60～69歳」にかけて年齢があがるにつれて「交通安全教室・交通安全運動の強化・充実」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「身近な避難場所・避難所の保全・整備」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	歩道の整備、歩車道の拡充、安心歩行エリアの	道路照明など交通安全施設の整備	町道への道路反射鏡、道路への交通安全	身近な避難場所・避難所の保全・整備	建築物の耐震化、狭い道路の解消	高齢者、障がい者など災害弱者への対策	緊急時連絡体制の充実・確保	空き巣などの窃盗犯罪への対策
全体		668	34.0	26.9	21.4	19.6	16.5	12.0	11.5	
性別	男性	272	33.1	30.9	20.6	21.7	14.7	13.2	9.6	
	女性	384	35.2	24.7	22.4	18.5	17.4	11.2	12.8	
年齢別	20～29歳	63	36.5	33.3	22.2	17.5	11.1	7.9	12.7	
	30～39歳	86	41.9	31.4	19.8	18.6	11.6	3.5	10.5	
	40～49歳	175	38.3	32.0	18.3	23.4	9.1	11.4	14.9	
	50～59歳	59	33.9	27.1	23.7	20.3	13.6	8.5	11.9	
	60～69歳	113	33.6	23.9	22.1	21.2	19.5	24.8	7.1	
	70～79歳	91	34.1	24.2	24.2	14.3	17.6	13.2	14.3	
	80歳以上	71	14.1	14.1	25.4	18.3	39.4	8.5	8.5	
居住年数別	1年未満	6	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	
	1年以上5年未満	25	48.0	20.0	24.0	24.0	4.0	4.0	8.0	
	5年以上10年未満	53	39.6	28.3	22.6	26.4	9.4	9.4	11.3	
	10年以上20年未満	106	44.3	36.8	22.6	17.9	8.5	4.7	15.1	
	20年以上30年未満	111	29.7	30.6	20.7	17.1	17.1	10.8	12.6	
	30年以上	357	30.8	23.5	21.0	19.9	20.4	15.4	10.9	
		サンプル数	子どもへの対策	交通安全強化室・交通安全	防災訓練などの充実	振り込み詐欺、悪質商	その他	わからない	無回答	
全体		668	10.2	6.3	3.3	3.0	3.3	4.0	2.8	
性別	男性	272	7.4	7.4	4.8	4.4	3.7	2.6	2.9	
	女性	384	11.7	5.5	2.3	2.1	3.1	5.2	2.1	
年齢別	20～29歳	63	11.1	6.3	3.2	1.6	1.6	6.3	1.6	
	30～39歳	86	19.8	10.5	2.3	1.2	4.7	3.5	2.3	
	40～49歳	175	6.9	8.6	1.7	2.3	4.0	4.0	1.7	
	50～59歳	59	15.3	5.1	6.8	0.0	6.8	0.0	0.0	
	60～69歳	113	8.0	2.7	4.4	3.5	3.5	2.7	2.7	
	70～79歳	91	8.8	4.4	3.3	4.4	2.2	5.5	3.3	
	80歳以上	71	5.6	4.2	4.2	8.5	0.0	5.6	7.0	
居住年数別	1年未満	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年以上5年未満	25	24.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	
	5年以上10年未満	53	11.3	3.8	5.7	0.0	5.7	0.0	3.8	
	10年以上20年未満	106	7.5	8.5	1.9	1.9	4.7	1.9	1.9	
	20年以上30年未満	111	9.0	6.3	3.6	1.8	3.6	7.2	0.9	
	30年以上	357	9.2	4.8	3.6	4.5	2.8	4.8	3.1	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、「北部」は「町道への道路反射鏡、道路照明など交通安全施設の整備」(31.0%)が高くなっており、「南部」は「歩道の整備、歩車道の分離、安心歩行エリアの拡充」(37.2%)が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「身近な避難場所・避難所の保全・整備」が14.1ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

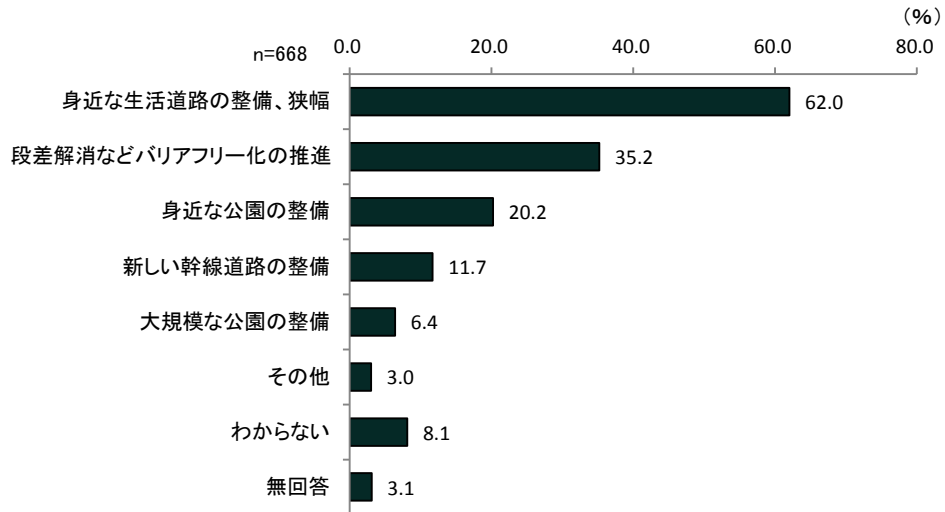
	サンプル数	歩道の整備、歩車道の分離、安心歩行エリアの拡充	町道への道路照明など反射鏡、道路施設の整備	身近な避難場所・整備	建築物の耐震化、狭い道路の解消	高齢者、障がい者など災害弱者への対策	緊急時連絡体制の充実・確保	空き巣などの窃盗犯への対策
全体	668	34.0	26.9	21.4	19.6	16.5	12.0	11.5
地域分類別	北部	239	28.5	31.0	23.0	15.9	12.6	11.3
	南部	406	37.2	25.4	20.4	22.2	16.3	11.8
	その他	10	50.0	10.0	30.0	20.0	10.0	20.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	31.9	25.0	24.5	17.2	12.3	12.3
	まあ住みよい	368	36.4	28.5	20.9	21.5	11.4	11.1
	どちらともいえない	61	29.5	29.5	21.3	19.7	9.8	6.6
	やや住みにくい	17	41.2	23.5	5.9	17.6	11.8	11.8
	大変住みにくい	6	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
町政への満足度別	満足群	319	31.0	26.3	26.3	22.3	15.0	12.2
	どちらともいえない	255	38.4	29.0	18.8	18.8	17.3	11.0
	不満群	74	40.5	28.4	12.2	16.2	21.6	12.2
	サンプル数	子どもに対する対策	交通安全強化室・充実に	防災訓練などの充実	振り込め詐欺、悪質商	その他	わからない	無回答
全体	668	10.2	6.3	3.3	3.0	3.3	4.0	2.8
地域分類別	北部	239	12.1	5.4	1.7	5.9	3.8	2.5
	南部	406	9.1	6.2	4.4	1.5	3.0	2.7
	その他	10	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	11.3	6.9	4.4	3.4	3.4	3.4
	まあ住みよい	368	9.8	6.0	2.4	2.2	3.5	1.6
	どちらともいえない	61	6.6	6.6	6.6	3.3	4.9	1.6
	やや住みにくい	17	5.9	5.9	0.0	11.8	5.9	5.9
	大変住みにくい	6	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
町政への満足度別	満足群	319	9.7	7.8	3.8	3.8	2.8	0.9
	どちらともいえない	255	11.4	5.5	2.4	2.0	5.1	0.4
	不満群	74	10.8	2.7	4.1	4.1	6.8	1.4

問20 あなたは、今後どのような都市基盤整備を推進していくべきだと思いますか。

【○は2つまで】

今後の都市基盤整備の推進について、「身近な生活道路の整備、狭幅」が62.0%と最も高くなっています。ついで、「段差解消などバリアフリー化の推進」が35.2%、「身近な公園の整備」が20.2%となっています。

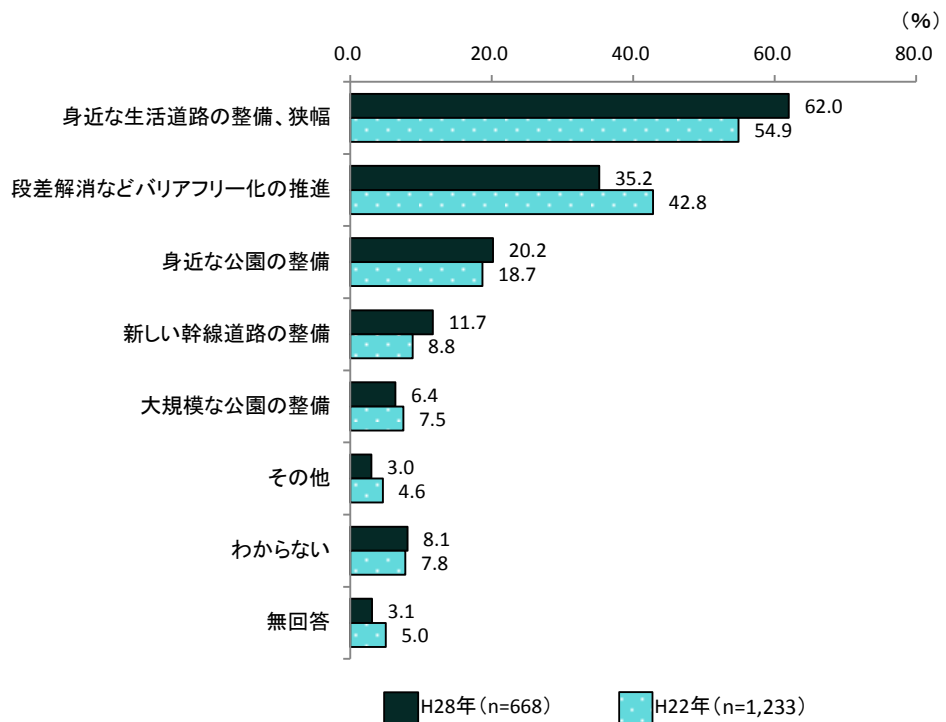
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「段差解消などバリアフリー化の推進」が7.6ポイント低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「身近な生活道路の整備、狭幅」が12.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「大規模な公園の整備」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「大規模な公園の整備」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	整備、身近な生活道路の狭幅	ア段差解消など推進	身近な公園の整備	新しい幹線道路の整備	大規模な公園の整備	その他	わからない	無回答
全体		668	62.0	35.2	20.2	11.7	6.4	3.0	8.1	3.1
性別	男性	272	69.5	27.6	23.2	16.9	7.4	4.0	6.6	3.3
	女性	384	56.8	40.6	18.5	8.1	5.7	2.3	9.4	2.3
年齢別	20～29歳	63	58.7	39.7	20.6	14.3	4.8	3.2	9.5	1.6
	30～39歳	86	61.6	24.4	37.2	7.0	14.0	5.8	5.8	2.3
	40～49歳	175	60.0	28.6	20.6	12.6	10.9	4.0	8.0	2.9
	50～59歳	59	67.8	33.9	16.9	15.3	5.1	5.1	6.8	1.7
	60～69歳	113	71.7	38.1	17.7	14.2	3.5	1.8	4.4	3.5
	70～79歳	91	60.4	41.8	18.7	9.9	1.1	1.1	12.1	3.3
居住年数別	80歳以上	71	50.7	49.3	9.9	8.5	0.0	0.0	11.3	4.2
	1年未満	6	50.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上5年未満	25	68.0	36.0	28.0	8.0	20.0	4.0	0.0	4.0
	5年以上10年未満	53	50.9	37.7	24.5	17.0	17.0	1.9	7.5	3.8
	10年以上20年未満	106	69.8	23.6	27.4	14.2	7.5	4.7	2.8	2.8
	20年以上30年未満	111	61.3	27.9	20.7	7.2	3.6	5.4	14.4	2.7
	30年以上	357	60.8	40.1	17.1	11.8	4.5	2.0	8.7	2.8

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「身近な生活道路の整備、狭幅」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「段差解消などバリアフリー化の推進」が5.7ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「身近な生活道路の整備、狭幅」が5.7ポイント高くなっています。

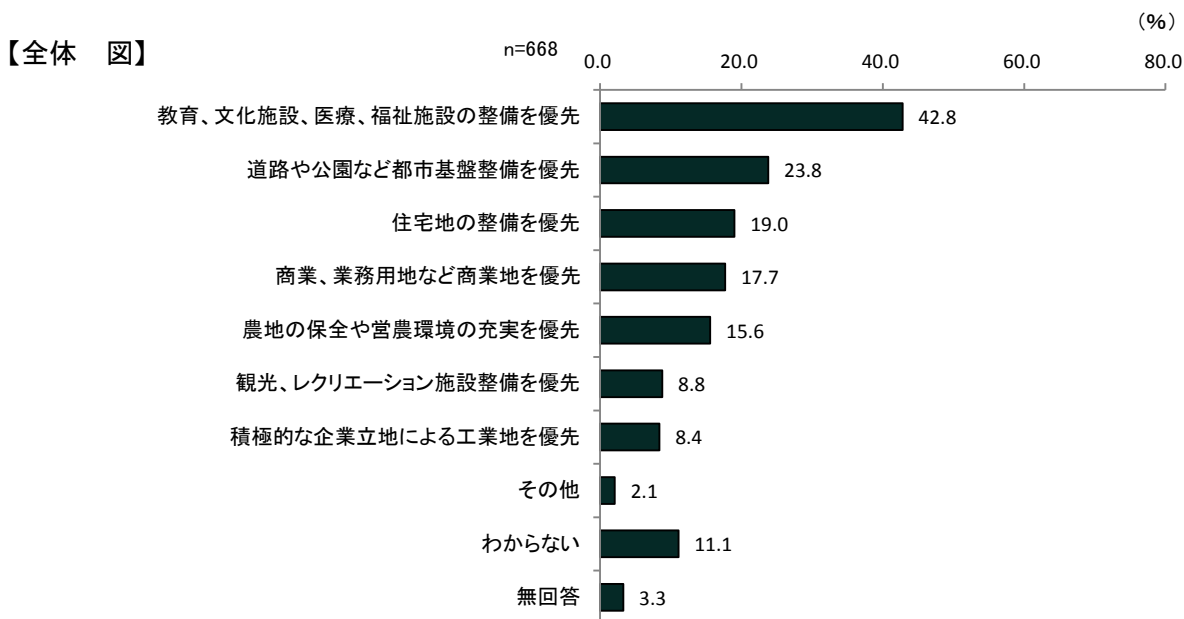
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

	サンプル数	整備近 幅狭な 生活道 路の	ア段 フ差 リ解 り消 化な の推 バ進 り	身 近 な 公 園 の 整 備	整 備 新 しい 幹 線 道 路 の	備 大 規 模 な 公 園 の 整 備	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全体	668	62.0	35.2	20.2	11.7	6.4	3.0	8.1	3.1	
地域分類別	北部	239	60.7	33.9	20.1	11.7	4.2	2.1	7.5	3.8
	南部	406	62.8	35.7	21.2	11.6	6.9	3.7	8.6	2.5
	その他	10	40.0	50.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	64.2	39.7	21.1	12.3	6.4	3.4	4.9	3.9
	まあ住みよい	368	60.6	34.0	20.9	11.4	6.8	2.4	10.1	1.9
	どちらともいえない	61	63.9	34.4	21.3	11.5	6.6	3.3	6.6	1.6
	やや住みにくい	17	64.7	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	5.9
	大変住みにくい	6	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
町政への 満足度別	満足群	319	65.2	37.3	18.8	13.5	7.2	2.5	6.0	1.6
	どちらともいえない	255	63.1	34.9	23.1	9.0	4.3	3.1	11.0	0.4
	不満群	74	59.5	33.8	18.9	14.9	10.8	5.4	8.1	1.4

問 21 あなたは、今後どのような土地利用が優先されるべきだと思いますか。

【〇は2つまで】

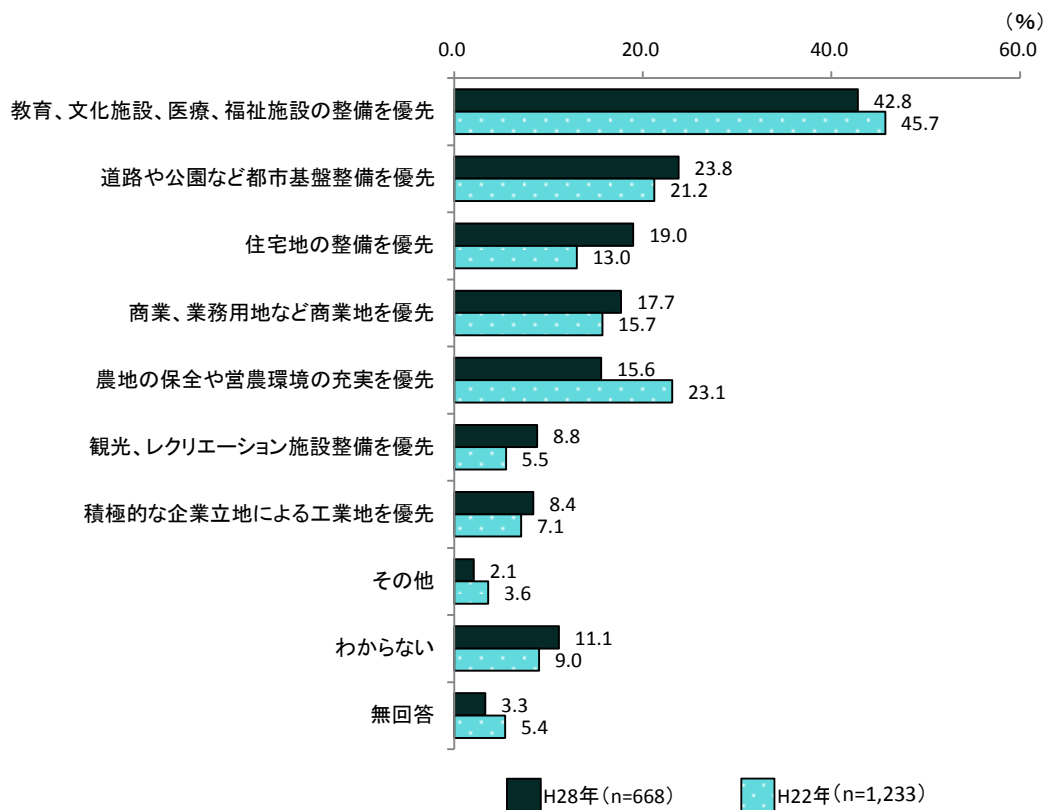
今後の優先されるべき土地利用について、「教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先」が42.8%と最も高くなっています。ついで、「道路や公園など都市基盤整備を優先」が23.8%、「住宅地の整備を優先」が19.0%となっています。



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」に比べて、「農地の保全や営農環境の充実を優先」が7.5ポイント低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先」が8.2ポイント低くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「積極的な企業立地による工業地を優先」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先	道路や公園など都市基盤整備を優先	住宅地の整備を優先	商業、業務用地など商業地を優先	農地の保全や営農環境の充実を優先	観光、レクリエーション施設整備を優先	積極的な企業立地による工業地を優先	その他	わからない	無回答
全体		668	42.8	23.8	19.0	17.7	15.6	8.8	8.4	2.1	11.1	3.3
性別	男性	272	37.9	27.9	24.3	19.5	17.3	8.5	12.9	2.9	7.4	2.9
	女性	384	46.1	20.8	15.9	16.4	14.8	9.1	5.5	1.6	13.8	2.9
年齢別	20～29歳	63	41.3	19.0	34.9	22.2	14.3	6.3	7.9	1.6	7.9	1.6
	30～39歳	86	43.0	33.7	20.9	11.6	16.3	15.1	3.5	7.0	9.3	2.3
	40～49歳	175	42.3	24.6	15.4	25.1	16.6	8.0	8.6	1.1	10.3	2.3
	50～59歳	59	42.4	20.3	22.0	18.6	13.6	8.5	10.2	3.4	13.6	1.7
	60～69歳	113	45.1	28.3	15.9	14.2	16.8	11.5	12.4	1.8	6.2	2.7
	70～79歳	91	39.6	23.1	18.7	15.4	16.5	5.5	7.7	0.0	13.2	4.4
居住年数別	80歳以上	71	45.1	11.3	16.9	9.9	14.1	5.6	8.5	1.4	19.7	7.0
	1年未満	6	83.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上5年未満	25	52.0	40.0	24.0	16.0	4.0	16.0	0.0	0.0	4.0	4.0
	5年以上10年未満	53	49.1	32.1	34.0	11.3	7.5	11.3	5.7	0.0	9.4	3.8
	10年以上20年未満	106	44.3	33.0	14.2	22.6	16.0	5.7	7.5	3.8	4.7	1.9
	20年以上30年未満	111	36.0	17.1	21.6	19.8	17.1	9.0	10.8	2.7	14.4	2.7
30年以上	357	41.7	20.2	17.6	16.8	17.6	9.0	9.2	2.0	12.9	3.4	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先」が7.5ポイント低くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「教育、文化施設、医療、福祉施設の整備を優先」が11.5ポイント高くなっています。

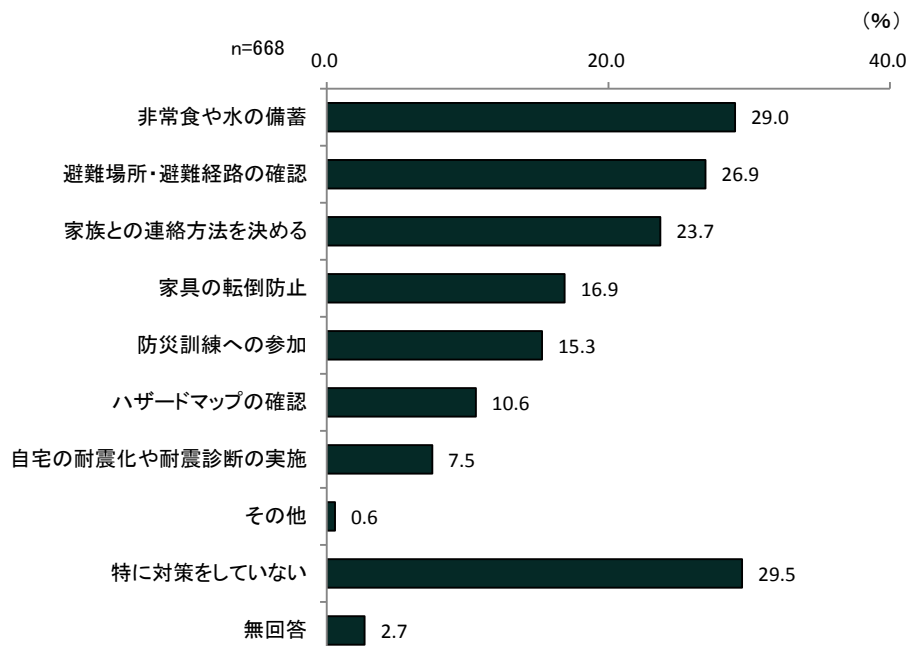
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

	サンプル数	医療、福祉施設の整備を優先	教育、文化施設、施設	市道、公園、整備を優先	住宅地の整備を優先	商業、業務用地を優先	環境の保全や農業	農地の充実を優先	観光、レクリエーション施設整備を優先	先による工業地立	積極的な企業を優	その他	わからない	無回答
全体	668	42.8	23.8	19.0	17.7	15.6	8.8	8.4	2.1	11.1	3.3			
地域分類別	北部	239	46.9	25.5	17.2	15.1	13.0	11.7	7.1	0.8	8.4	3.3		
	南部	406	40.6	22.9	19.2	19.0	17.2	7.4	9.6	3.0	12.3	3.0		
	その他	10	30.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0		
住みやすさ別	大変住みよい	204	38.7	23.0	23.0	19.1	19.6	8.8	11.3	1.5	8.3	4.4		
	まあ住みよい	368	46.2	25.5	18.8	16.3	14.1	7.9	7.9	2.2	10.6	1.9		
	どちらともいえない	61	34.4	23.0	13.1	21.3	14.8	13.1	3.3	3.3	19.7	1.6		
	やや住みにくい	17	41.2	17.6	5.9	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	23.5	5.9		
大変住みにくい	6	83.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7			
町政への満足度別	満足群	319	48.0	23.2	19.7	21.0	15.7	9.1	9.4	1.9	7.5	1.9		
	どちらともいえない	255	40.8	25.9	18.8	14.1	14.5	7.8	7.5	1.6	16.9	0.4		
	不満群	74	36.5	23.0	20.3	20.3	23.0	10.8	8.1	5.4	8.1	1.4		

問22 あなたが実施している災害に対する備えをお答えください。 【○はいくつでも】

実施している災害に対する備えについて、「非常食や水の備蓄」が29.0%と最も高くなっています。ついで、「避難場所・避難経路の確認」が26.9%、「家族との連絡方法を決める」が23.7%となっています。一方で、「特に対策をしていない」も29.5%となっています。

【全体 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「防災訓練への参加」が6.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「20～29歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「非常食や水の備蓄」が高くなっています。

居住年数別にみると、「5年以上10年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「自宅の耐震化や耐震診断の実施」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	非常食や水の備蓄	避難場所・避難経路の確認	家族との連絡方法を定める	家具の転倒防止	防災訓練への参加	確認ハザードマップの	地震診断の実施や自宅の耐震化や耐	その他	特に対策をしていない	無回答
全体		668	29.0	26.9	23.7	16.9	15.3	10.6	7.5	0.6	29.5	2.7
性別	男性	272	29.0	29.4	22.8	17.6	19.5	12.9	8.1	0.7	28.3	2.2
	女性	384	29.4	25.0	24.2	16.7	12.8	9.4	7.0	0.5	30.7	2.3
年齢別	20～29歳	63	17.5	20.6	23.8	11.1	3.2	9.5	4.8	1.6	49.2	1.6
	30～39歳	86	24.4	19.8	16.3	19.8	14.0	11.6	12.8	0.0	33.7	2.3
	40～49歳	175	31.4	29.1	24.0	12.6	9.1	11.4	9.1	0.6	29.7	1.7
	50～59歳	59	42.4	22.0	28.8	23.7	18.6	16.9	10.2	0.0	13.6	1.7
	60～69歳	113	33.6	31.0	26.5	21.2	22.1	11.5	4.4	0.9	24.8	2.7
	70～79歳	91	26.4	31.9	26.4	16.5	33.0	7.7	5.5	0.0	22.0	3.3
	80歳以上	71	25.4	26.8	18.3	18.3	8.5	7.0	4.2	1.4	38.0	4.2
居住年数別	1年未満	6	0.0	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
	1年以上5年未満	25	20.0	28.0	20.0	8.0	4.0	24.0	8.0	0.0	44.0	4.0
	5年以上10年未満	53	35.8	18.9	17.0	28.3	11.3	9.4	18.9	0.0	22.6	3.8
	10年以上20年未満	106	34.0	29.2	29.2	11.3	11.3	6.6	9.4	0.0	25.5	1.9
	20年以上30年未満	111	26.1	23.4	24.3	16.2	9.0	16.2	8.1	0.9	31.5	0.9
	30年以上	357	28.6	28.3	22.4	17.6	20.2	9.5	4.5	0.8	30.5	2.8

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「非常食や水の備蓄」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「非常食や水の備蓄」が7.6ポイント低くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「避難場所・避難経路の確認」が9.6ポイント高くなっています。

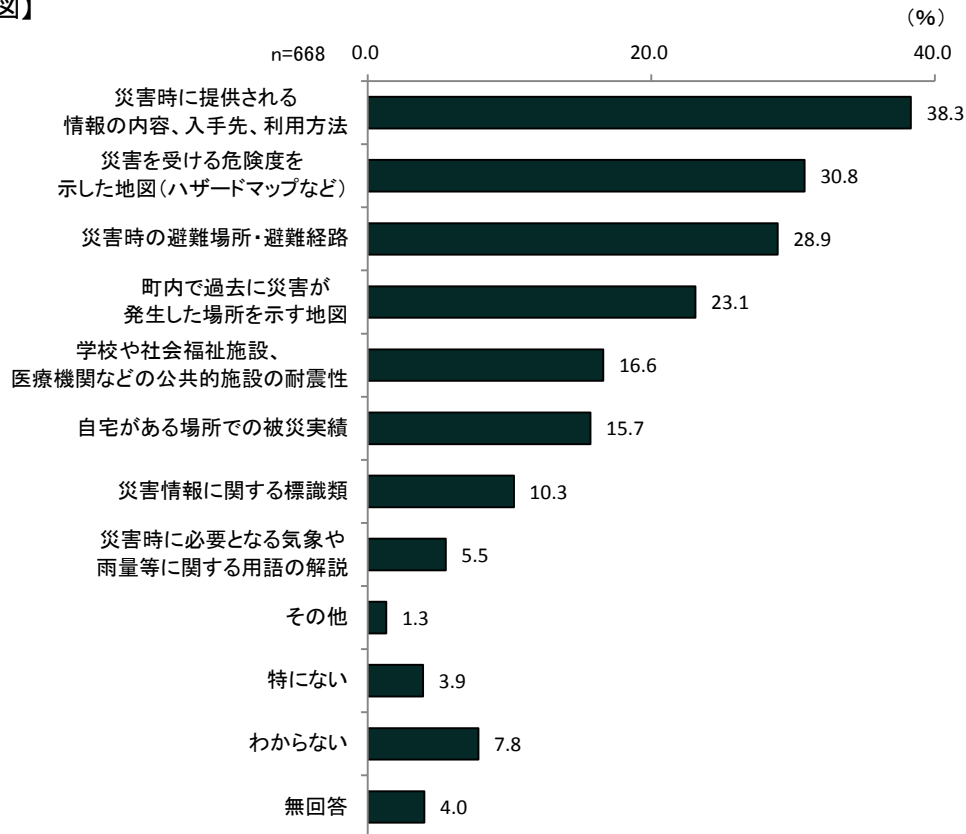
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

		サンプル数	非常食や水の備蓄	避難場所・避難経路の確認	家族との連絡方法を定める	家具の転倒防止	防災訓練への参加	確認ハザードマップの	地震診断の実施や自宅の耐震化や耐	その他	特に対策をしていない	無回答
全体		668	29.0	26.9	23.7	16.9	15.3	10.6	7.5	0.6	29.5	2.7
地域分類別	北部	239	30.5	24.7	23.8	18.4	15.9	11.3	7.5	0.4	30.5	2.1
	南部	406	28.3	28.1	23.6	16.0	15.5	10.6	7.4	0.7	29.1	2.7
	その他	10	30.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
住みやすさ別	大変住みよい	204	24.5	30.4	22.5	16.7	17.2	10.8	5.4	0.0	31.9	3.4
	まあ住みよい	368	32.1	26.6	25.3	18.5	15.8	10.1	7.9	0.8	28.3	1.9
	どちらともいえない	61	34.4	19.7	24.6	13.1	11.5	6.6	11.5	1.6	31.1	0.0
	やや住みにくい	17	11.8	23.5	11.8	17.6	5.9	23.5	5.9	0.0	23.5	0.0
町政への満足度別	大変住みにくい	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	50.0	16.7
町政への満足度別	満足群	319	29.5	33.9	26.3	19.4	16.6	11.3	5.3	0.3	27.9	0.6
	どちらともいえない	255	31.0	20.4	20.8	11.4	14.1	10.2	11.4	0.8	33.3	0.4
	不満群	74	24.3	24.3	25.7	25.7	16.2	10.8	5.4	1.4	28.4	1.4

問23 災害の危険性に関する情報や災害対策に役立つ情報について、あなたが現在より充実してほしいものはなんですか。 【〇はいくつでも】

充実して欲しい災害の情報について、「災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法」が38.3%と最も高くなっています。ついで、「災害を受ける危険度を示した地図（ハザードマップなど）」が30.8%、「災害時の避難場所・避難経路」が28.9%となっています。

【全体 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「災害を受ける危険度を示した地図（ハザードマップなど）」が9.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「20～29歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「自宅がある場所での被災実績」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「町内で過去に災害が発生した場所を示す地図」、「学校や社会福祉施設、医療機関などの公共的施設の耐震性」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	災害時の提供される利便性	災害を受けると危険度をマッピングした地図（ハザードマップなど）	災害時の避難場所・避難経路	町内で過去に災害が発生した場所を示す地図	学校や社会福祉施設、医療機関などの公共的施設の耐震性	自宅がある場所での被災実績
全体		668	38.3	30.8	28.9	23.1	16.6	15.7
性別	男性	272	37.5	36.8	29.0	23.9	16.9	14.0
	女性	384	39.3	27.1	29.4	23.2	16.7	17.4
年齢別	20～29歳	63	33.3	25.4	33.3	27.0	17.5	11.1
	30～39歳	86	34.9	36.0	36.0	24.4	32.6	12.8
	40～49歳	175	38.3	27.4	34.3	22.9	16.0	17.7
	50～59歳	59	45.8	40.7	16.9	39.0	15.3	20.3
	60～69歳	113	42.5	37.2	29.2	22.1	15.0	21.2
	70～79歳	91	36.3	28.6	22.0	17.6	14.3	16.5
	80歳以上	71	39.4	23.9	25.4	16.9	5.6	7.0
居住年数別	1年未満	6	0.0	16.7	66.7	50.0	33.3	33.3
	1年以上5年未満	25	56.0	24.0	52.0	44.0	32.0	16.0
	5年以上10年未満	53	20.8	30.2	34.0	30.2	28.3	20.8
	10年以上20年未満	106	38.7	25.5	32.1	26.4	17.9	17.0
	20年以上30年未満	111	32.4	30.6	26.1	26.1	14.4	14.4
	30年以上	357	42.3	33.3	26.3	18.8	14.0	15.1
		サンプル数	災害情報に関する標識	象や雨量等に必要となる用語の解説	その他	特になし	わからない	無回答
全体		668	10.3	5.5	1.3	3.9	7.8	4.0
性別	男性	272	12.5	5.5	1.8	4.4	6.6	3.3
	女性	384	8.6	5.7	1.0	3.6	8.3	3.6
年齢別	20～29歳	63	7.9	6.3	1.6	6.3	17.5	3.2
	30～39歳	86	7.0	4.7	0.0	0.0	5.8	4.7
	40～49歳	175	14.3	6.3	2.9	4.6	6.9	1.7
	50～59歳	59	11.9	5.1	5.1	0.0	6.8	0.0
	60～69歳	113	11.5	4.4	0.0	4.4	2.7	4.4
	70～79歳	91	3.3	6.6	0.0	5.5	7.7	3.3
	80歳以上	71	11.3	5.6	0.0	5.6	9.9	9.9
居住年数別	1年未満	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	1年以上5年未満	25	28.0	8.0	0.0	0.0	4.0	8.0
	5年以上10年未満	53	5.7	1.9	0.0	0.0	1.9	5.7
	10年以上20年未満	106	10.4	7.5	1.9	2.8	4.7	1.9
	20年以上30年未満	111	9.0	3.6	2.7	5.4	10.8	1.8
	30年以上	357	10.1	6.2	1.1	4.8	8.4	4.2

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「災害情報に関する標識類」が9.3ポイント低くなっています。

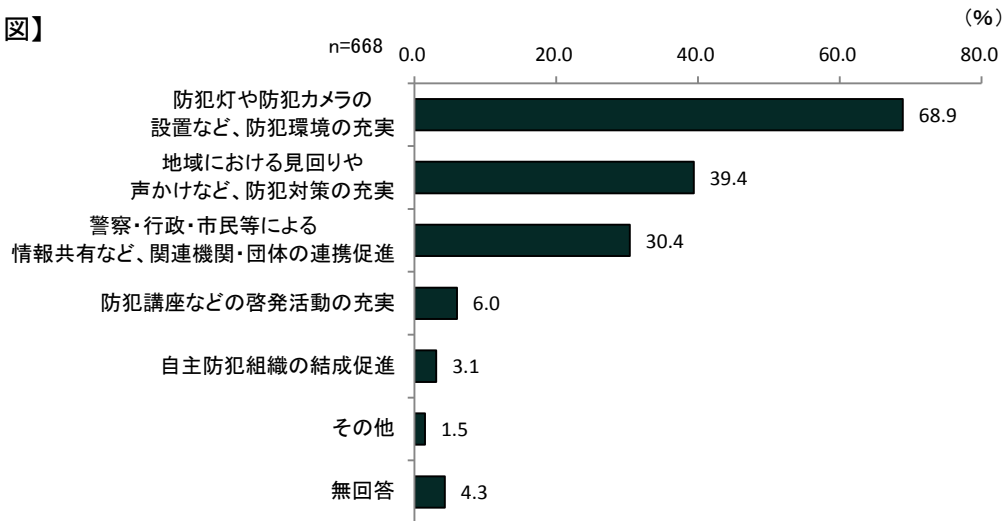
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

		サンプル数	先、情報利用方法	災害時に提供される内容、入手	ザードマップなど（ハザードを示した図表など）	災害時の避難場所・避難経路	町内での過去の災害発生場所を示すが	公共的施設の耐震性	学校や社会福祉施設	被災実績のある場所での
全体		668	38.3	30.8	28.9	23.1	16.6	15.7		
地域分類別	北部	239	41.8	29.3	27.2	19.7	15.9	13.8		
	南部	406	36.7	32.3	30.3	25.4	16.5	16.7		
	その他	10	30.0	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
	その他	10	30.0	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
住みやすさ別	大変住みよい	204	39.7	31.9	31.4	23.0	15.2	15.2		
	まあ住みよい	368	38.6	30.7	28.5	24.7	18.2	16.8		
	どちらともいえない	61	34.4	26.2	32.8	16.4	11.5	13.1		
	やや住みにくい	17	35.3	35.3	11.8	23.5	5.9	11.8		
	大変住みにくい	6	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7		
町政への満足度別	満足群	319	40.8	31.0	30.4	26.3	17.6	16.3		
	どちらともいえない	255	34.5	31.4	29.0	20.8	18.0	15.7		
	不満群	74	50.0	35.1	27.0	20.3	12.2	14.9		
		サンプル数	類災害情報に関する標識	語象の解説	災害時に必要となる用気	その他	特にな	わ	無	回
全体		668	10.3	5.5	1.3	3.9	7.8	4.0		
地域分類別	北部	239	8.4	6.3	0.8	4.6	7.5	4.2		
	南部	406	10.8	5.2	1.7	3.7	7.1	3.2		
	その他	10	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0		
	その他	10	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0		
住みやすさ別	大変住みよい	204	10.3	7.4	2.0	3.4	7.4	3.4		
	まあ住みよい	368	10.3	4.6	0.8	4.6	7.3	3.0		
	どちらともいえない	61	6.6	4.9	0.0	3.3	9.8	6.6		
	やや住みにくい	17	5.9	5.9	5.9	0.0	23.5	5.9		
	大変住みにくい	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7		
町政への満足度別	満足群	319	11.0	5.3	1.3	3.4	6.0	1.6		
	どちらともいえない	255	7.5	4.7	1.2	4.3	10.2	2.7		
	不満群	74	20.3	8.1	2.7	5.4	9.5	1.4		

問 24 あなたは、防犯に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。 【〇は2つまで】

防犯に対する取り組みで力を入れるべきことについて、「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」が 68.9%と最も高くなっています。ついで、「地域における見回りや声かけなど、防犯対策の充実」が 39.4%、「警察・行政・市民等による情報共有など、関連機関・団体の連携促進」が 30.4%となっています。

【全体 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」が 9.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「50～59 歳」から「80 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」が低くなっています。

居住年数別にみると、「10 年以上 20 年未満」から「30 年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「地域における見回りや声かけなど、防犯対策の充実」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実	声かけなど、防犯対策の充実	地域における見回りや声かけなど、防犯対策の充実	連関・団体の連携促進	警察・行政・市民等による情報共有など、関係機関の連携促進	防犯講座などの啓発活動の充実	自主防犯組織の結成促進	その他	無回答
全体		668	68.9	39.4	30.4	6.0	3.1	1.5	4.3		
性別	男性	272	74.3	37.9	29.8	9.2	4.8	1.8	3.7		
	女性	384	65.1	40.9	31.5	3.9	1.8	1.3	4.2		
年齢別	20～29歳	63	63.5	36.5	28.6	11.1	0.0	4.8	3.2		
	30～39歳	86	61.6	45.3	33.7	7.0	1.2	1.2	7.0		
	40～49歳	175	70.9	34.9	32.6	4.6	2.3	1.7	2.3		
	50～59歳	59	78.0	37.3	35.6	5.1	0.0	0.0	1.7		
	60～69歳	113	72.6	37.2	28.3	7.1	4.4	0.0	4.4		
	70～79歳	91	68.1	46.2	30.8	7.7	7.7	1.1	3.3		
	80歳以上	71	64.8	43.7	25.4	1.4	4.2	2.8	8.5		
居住年数別	1年未満	6	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1年以上5年未満	25	76.0	32.0	40.0	4.0	4.0	0.0	4.0		
	5年以上10年未満	53	71.7	47.2	18.9	5.7	0.0	5.7	7.5		
	10年以上20年未満	106	68.9	33.0	39.6	5.7	2.8	0.0	2.8		
	20年以上30年未満	111	64.0	37.8	26.1	9.9	0.0	2.7	3.6		
	30年以上	357	70.0	40.9	30.5	5.3	4.5	1.1	4.2		

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「地域における見回りや声かけなど、防犯対策の充実」が9.7ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

		サンプル数	防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実	声かけなど、防犯対策の充実	地域における見回りや声かけなど、防犯対策の充実	連関・団体の連携促進	警察・行政・市民等による情報共有など、関係機関の連携促進	防犯講座などの啓発活動の充実	自主防犯組織の結成促進	その他	無回答
全体		668	68.9	39.4	30.4	6.0	3.1	1.5	4.3		
地域分類別	北部	239	64.9	40.6	30.5	7.5	4.2	1.7	4.6		
	南部	406	71.2	38.7	31.0	4.9	2.5	1.5	3.9		
	その他	10	70.0	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
住みやすさ別	大変住みよい	204	69.1	40.2	30.4	5.9	2.9	1.0	4.9		
	まあ住みよい	368	70.1	41.0	28.8	5.4	3.0	1.1	3.0		
	どちらともいえない	61	60.7	31.1	42.6	11.5	6.6	3.3	4.9		
	やや住みにくい	17	70.6	17.6	35.3	0.0	0.0	0.0	5.9		
	大変住みにくい	6	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7		
町政への満足度別	満足群	319	73.4	40.8	27.6	4.7	3.1	1.6	2.5		
	どちらともいえない	255	66.7	41.6	34.1	7.8	2.4	0.4	2.0		
	不満群	74	71.6	31.1	36.5	6.8	6.8	5.4	1.4		

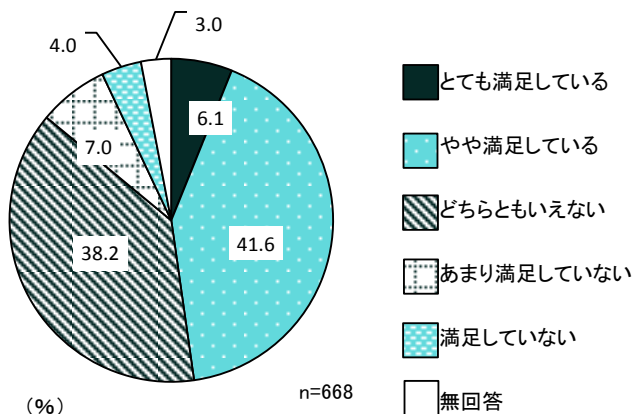
4 早島町の将来像について

問25 今の町政への満足度を教えてください。

【○は1つだけ】

今の町政への満足度について、「やや満足している」が41.6%と最も高くなっています。ついで、「どちらともいえない」が38.2%、「あまり満足していない」が7.0%となっています。

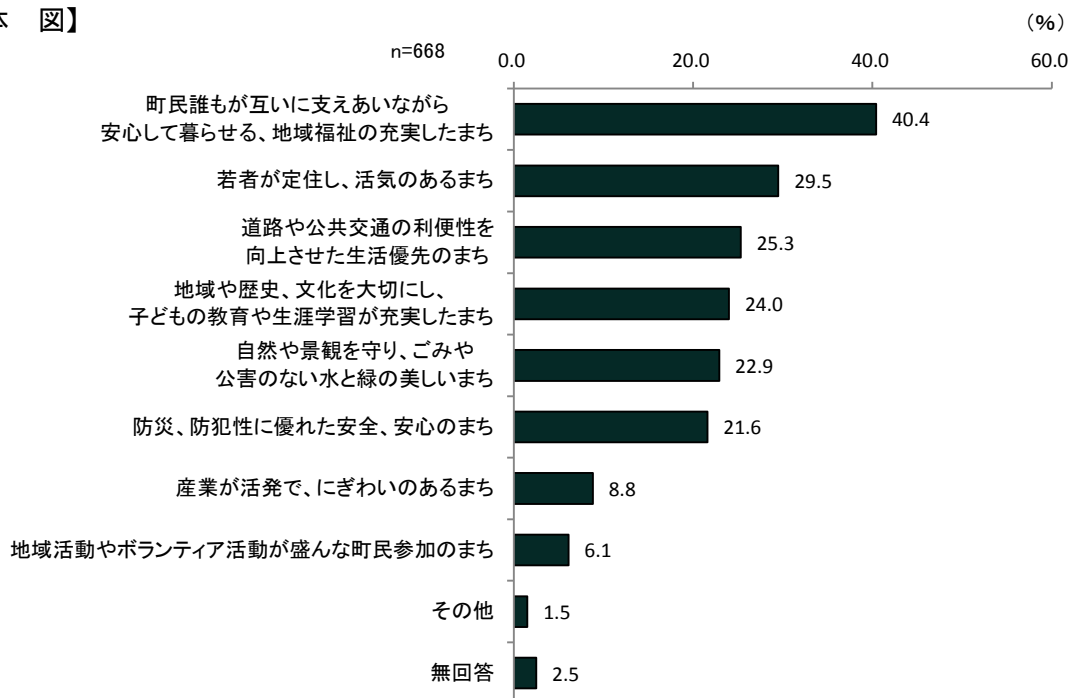
【全体 図】



問26 あなたは、今後早島町がどのように発展することが望ましいですか。 【○は2つまで】

今後の早島町の実現について、「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が40.4%と最も高くなっています。ついで、「若者が定住し、活気のあるまち」が29.5%、「道路や公共交通の利便性を向上させた生活優先のまち」が25.3%となっています。

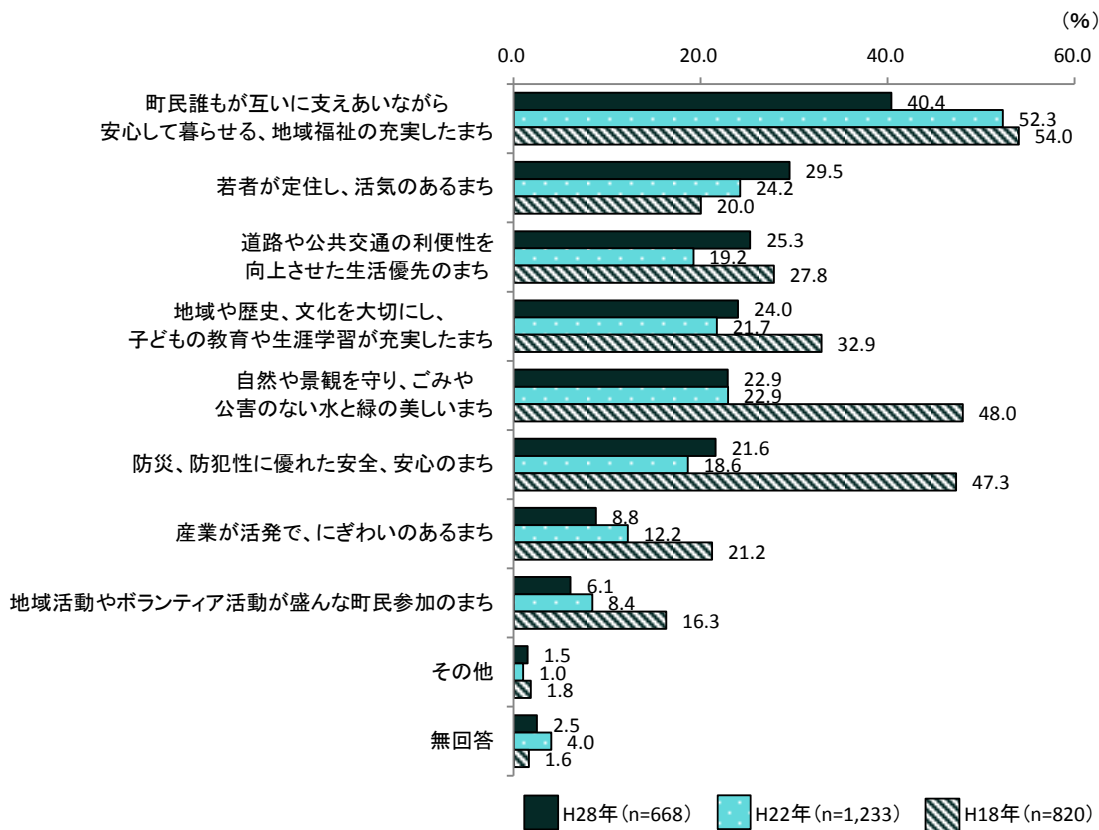
【全体 図】



【経年比較】

経年比較でみると、「H28年調査」は「H22年調査」、「H18年調査」に比べて、「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が低くなっています。

【経年比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が7.2ポイント低くなっています。

年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「若者が定住し、活気のあるまち」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「地域や歴史、文化を大切にし、子どもの教育や生涯学習が充実したまち」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	地域ながら安心して暮らせる、充実したまち	町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、	若者が定住し、活気のあるまち	道路や公共交通の利便性を向上させた生活優先のまち	習が充実したまち	地域や歴史、文化を大切に、子どもの教育や生涯学習に	まちや景観を守り、ごみや自然の美しい	公害のない水と緑の美しい	全、防災、防犯性に優れた安心のまち	産業が活発で、にぎわいの	動が盛んな町民参加のまち	地域活動やボランティア活	その他	無回答
全体		668	40.4	29.5	25.3	24.0	22.9	21.6	8.8	6.1	1.5	2.5				
性別	男性	272	36.8	29.8	28.3	20.6	26.5	21.0	9.6	7.4	2.2	2.6				
	女性	384	44.0	29.4	23.2	26.6	20.6	22.4	8.1	5.5	1.0	1.8				
年齢別	20～29歳	63	23.8	34.9	34.9	30.2	23.8	20.6	9.5	1.6	0.0	4.8				
	30～39歳	86	34.9	25.6	23.3	33.7	29.1	18.6	8.1	7.0	2.3	3.5				
	40～49歳	175	29.7	25.1	26.9	25.7	22.3	26.9	9.7	6.3	2.3	1.7				
	50～59歳	59	42.4	35.6	23.7	28.8	25.4	15.3	6.8	8.5	1.7	0.0				
	60～69歳	113	51.3	27.4	20.4	17.7	25.7	22.1	8.0	9.7	1.8	2.7				
	70～79歳	91	48.4	31.9	28.6	16.5	19.8	22.0	12.1	7.7	0.0	1.1				
	80歳以上	71	62.0	36.6	19.7	18.3	14.1	18.3	5.6	0.0	1.4	2.8				
居住年数別	1年未満	6	66.7	33.3	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年以上5年未満	25	44.0	24.0	28.0	36.0	16.0	24.0	12.0	0.0	4.0	4.0				
	5年以上10年未満	53	26.4	18.9	26.4	28.3	34.0	24.5	9.4	7.5	0.0	3.8				
	10年以上20年未満	106	31.1	27.4	28.3	24.5	22.6	25.5	11.3	7.5	0.9	1.9				
	20年以上30年未満	111	28.8	38.7	24.3	24.3	28.8	17.1	9.9	4.5	0.9	2.7				
	30年以上	357	49.0	29.4	24.6	21.6	20.2	21.6	7.6	6.4	2.0	2.0				

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が6.7ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、地域福祉の充実したまち」が17.5ポイント高くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

		サンプル数	地域ながら安心して暮らせる、充実したまち	町民誰もが互いに支えあいながら安心して暮らせる、	若者が定住し、活気のあるまち	道路や公共交通の利便性を向上させた生活優先のまち	習が充実したまち	地域や歴史、文化を大切に、子どもの教育や生涯学習に	まちや景観を守り、ごみや自然の美しい	公害のない水と緑の美しい	全、防災、防犯性に優れた安心のまち	産業が活発で、にぎわいの	動が盛んな町民参加のまち	地域活動やボランティア活	その他	無回答
全体		668	40.4	29.5	25.3	24.0	22.9	21.6	8.8	6.1	1.5	2.5				
地域分類別	北部	239	41.0	32.2	25.5	23.4	20.9	18.4	8.4	5.9	1.7	2.5				
	南部	406	41.6	27.6	24.4	23.9	23.9	23.6	9.1	6.7	1.5	2.2				
	その他	10	20.0	40.0	50.0	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0				
住みやすさ別	大変住みよい	204	46.1	26.0	22.1	26.0	20.6	21.6	10.8	7.4	0.0	3.4				
	まあ住みよい	368	39.4	32.6	24.2	25.8	23.6	20.7	7.1	6.5	2.2	1.4				
	どちらともいえない	61	29.5	24.6	41.0	9.8	29.5	27.9	13.1	1.6	1.6	0.0				
	やや住みにくい	17	35.3	17.6	41.2	23.5	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	5.9				
町政への満足度別	満足群	6	33.3	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7				
	どちらともいえない	319	44.5	26.6	21.6	27.9	21.6	23.2	9.4	8.2	1.3	0.6				
	不満群	255	40.4	33.3	30.2	22.4	24.3	19.2	6.3	4.7	0.8	0.4				
	74	27.0	33.8	29.7	17.6	25.7	25.7	17.6	4.1	5.4	1.4					

問 27 早島町は住みよいまちづくりを目指して、様々な施策に取り組んでいます。あなたが特に力を入れて欲しいと望むことは何ですか。次の中から特に必要と思うものを下の順位表に記入してください。 【優先順位の高い順に5つまで】

【総合点・町政への満足度別】

特に力を入れて欲しいと望むことについて、総合点でみると、「子育て支援の充実」が811点と最も高くなっています。ついで、「保健・医療の充実」が715点、「高齢者福祉の充実」が691点となっています。

満足群でみると、「子育て支援の充実」が401点と最も高くなっています。ついで、「保健・医療の充実」が337点、「高齢者福祉の充実」が361点となっています。

不満群でみると、「保健・医療の充実」が79点と最も高くなっています。ついで、「効率的で健全な行財政運営」が77点、「子育て支援の充実」と「道路の整備」がともに69点となっています。

【総合点・町政への満足度別 表】

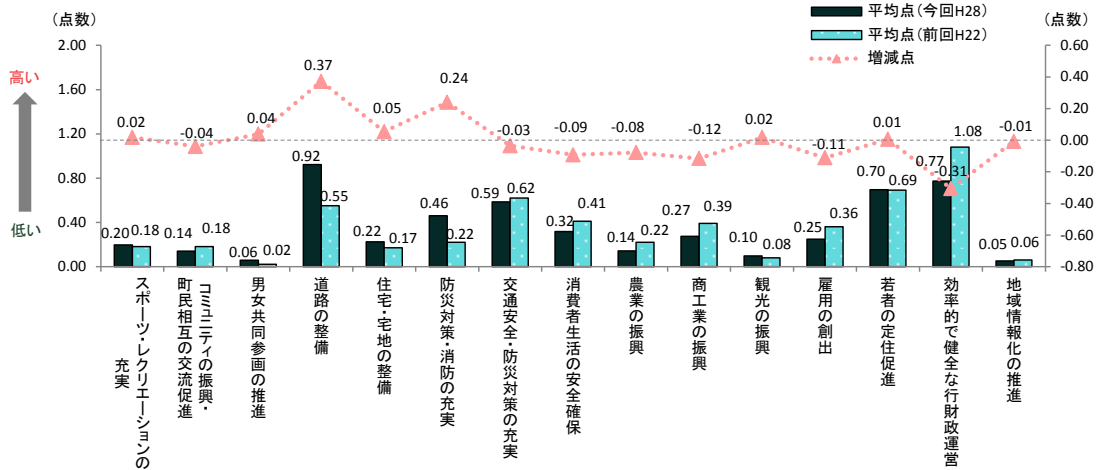
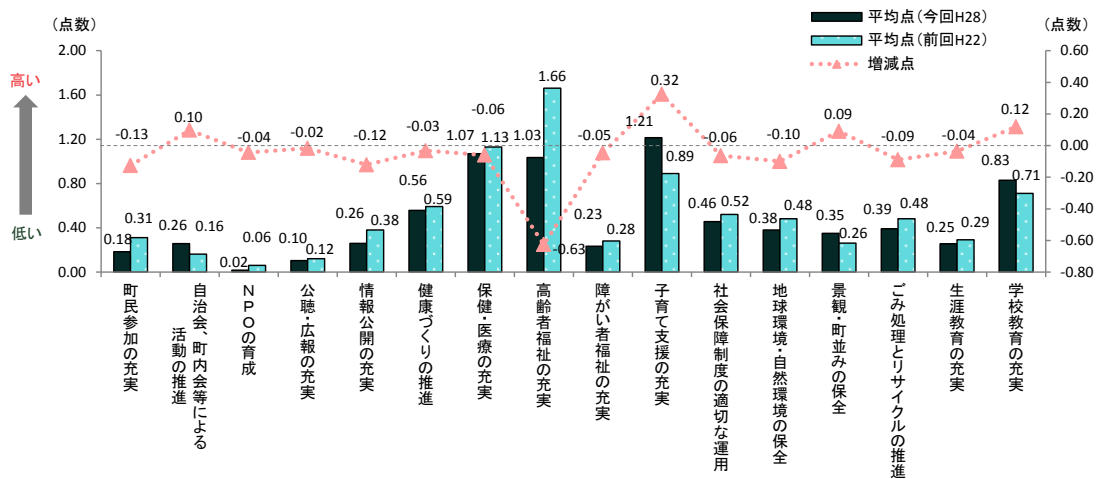
項目	総合点	満足群	どちらとも いえない	不満群
	点数	点数	点数	点数
子育て支援の充実	811	401	330	69
保健・医療の充実	715	337	285	79
高齢者福祉の充実	691	361	277	48
道路の整備	616	255	279	69
学校教育の充実	554	274	231	44
効率的で健全な行財政運営	517	215	213	77
若者の定住促進	465	203	192	65
交通安全・防災対策の充実	391	193	151	36
健康づくりの推進	373	218	107	37
防災対策・消防の充実	307	169	114	17
社会保障制度の適切な運用	305	108	156	27
ごみ処理とリサイクルの推進	261	134	91	29
地球環境・自然環境の保全	254	127	94	24
景観・町並みの保全	234	112	85	34
消費者生活の安全確保	212	91	88	29
商工業の振興	183	114	50	19
情報公開の充実	173	61	56	49
自治会、町内会等による活動の推進	172	103	48	18
生涯教育の充実	170	85	58	24
雇用の創出	166	75	63	23
障がい者福祉の充実	156	84	58	13
住宅・宅地の整備	150	60	64	21
スポーツ・レクリエーションの充実	132	59	47	21
町民参加の充実	123	68	47	3
農業の振興	95	31	42	22
コミュニティの振興・町民相互の交流促進	94	53	32	9
公聴・広報の充実	69	37	13	16
観光の振興	65	41	21	3
男女共同参画の推進	39	16	21	2
地域情報化の推進	35	23	9	3
NPOの育成	11	3	6	2

■ : 上位3位

※点数は票数に、1位：5点、2位：4点、3位：3点、4位：2点、5位：1点と点数を与えて算出しています。

【経年比較 図】

平均点（今回、前回）+増減点



【順位別 表】

	項目	1位	2位	3位	4位	5位
		票数	票数	票数	票数	票数
町民総参加の まちづくり	町民参加の充実	12	5	7	8	6
	自治会、町内会等による活動の推進	10	14	8	10	22
	NPOの育成	0	0	1	1	6
	公聴・広報の充実	1	3	9	9	7
	情報公開の充実	12	9	12	11	19
地域福祉の まちづくり	健康づくりの推進	29	29	25	13	11
	保健・医療の充実	49	60	50	29	22
	高齢者福祉の充実	66	46	28	33	27
	障がい者福祉の充実	6	16	13	7	9
	子育て支援の充実	88	48	33	31	18
	社会保障制度の適切な運用	14	25	30	15	15
水と緑の美しい まちづくり	地球環境・自然環境の保全	16	20	15	17	15
	景観・町並みの保全	9	17	21	21	16
	ごみ処理とリサイクルの推進	7	20	28	23	16
生涯学習の まちづくり	生涯教育の充実	6	10	17	15	19
	学校教育の充実	34	46	38	35	16
	スポーツ・レクリエーションの充実	4	12	8	15	10
	コミュニティの振興・町民相互の交流促進	2	7	10	9	8
	男女共同参画の推進	2	1	5	3	4
生活優先の まちづくり	道路の整備	49	33	43	36	38
	住宅・宅地の整備	10	12	7	11	9
	防災対策・消防の充実	13	23	18	40	16
	交通安全・防災対策の充実	23	25	27	32	31
	消費者生活の安全確保	13	10	10	25	27
活力ある まちづくり	農業の振興	5	5	10	5	10
	商工業の振興	15	10	13	10	9
	観光の振興	1	7	3	7	9
	雇用の創出	4	10	17	20	15
	若者の定住促進	25	29	37	32	49
その他	効率的で健全な行財政運営	53	22	23	24	47
	地域情報化の推進	1	1	3	4	9

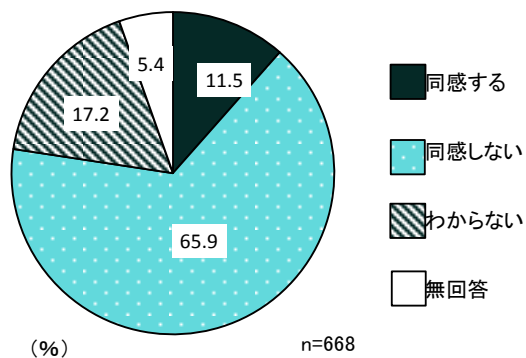
5 男女共同参画社会について

問 28 「男は仕事、女は家庭」という考えについて、あなたはどのようにお考えですか。

【〇は1つだけ】

「男は仕事、女は家庭」という考えについて、「同感しない」が65.9%、「同感する」が11.5%となっています。

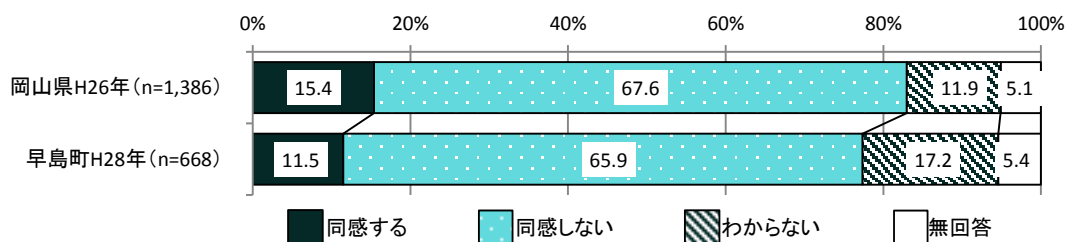
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、大きな差はみられません。

【県との比較 図】

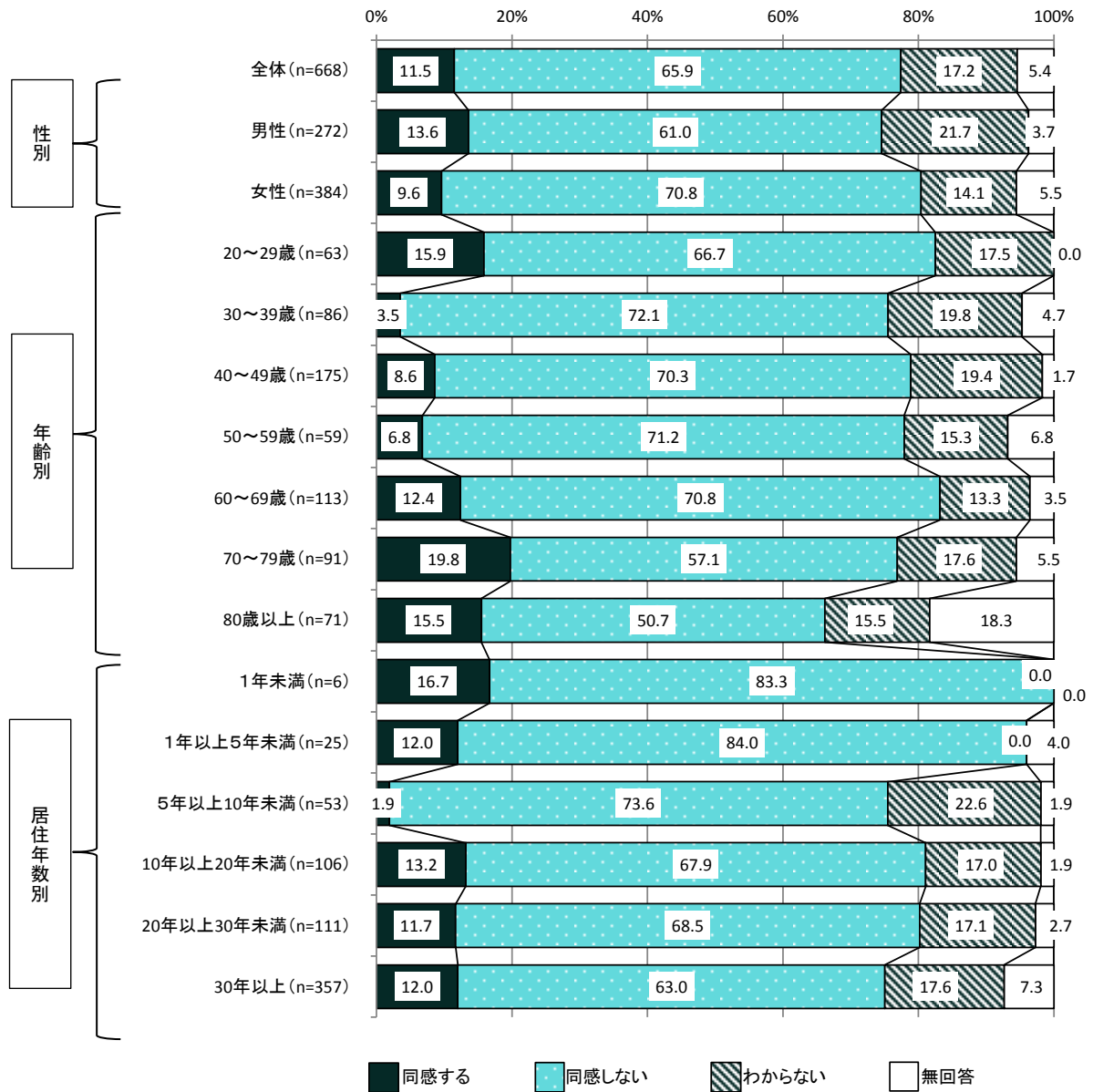


【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「同感しない」が9.8ポイント低くなっています。
 年齢別にみると、「50～59歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「同感しない」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「10年以上20年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「同感しない」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 図】



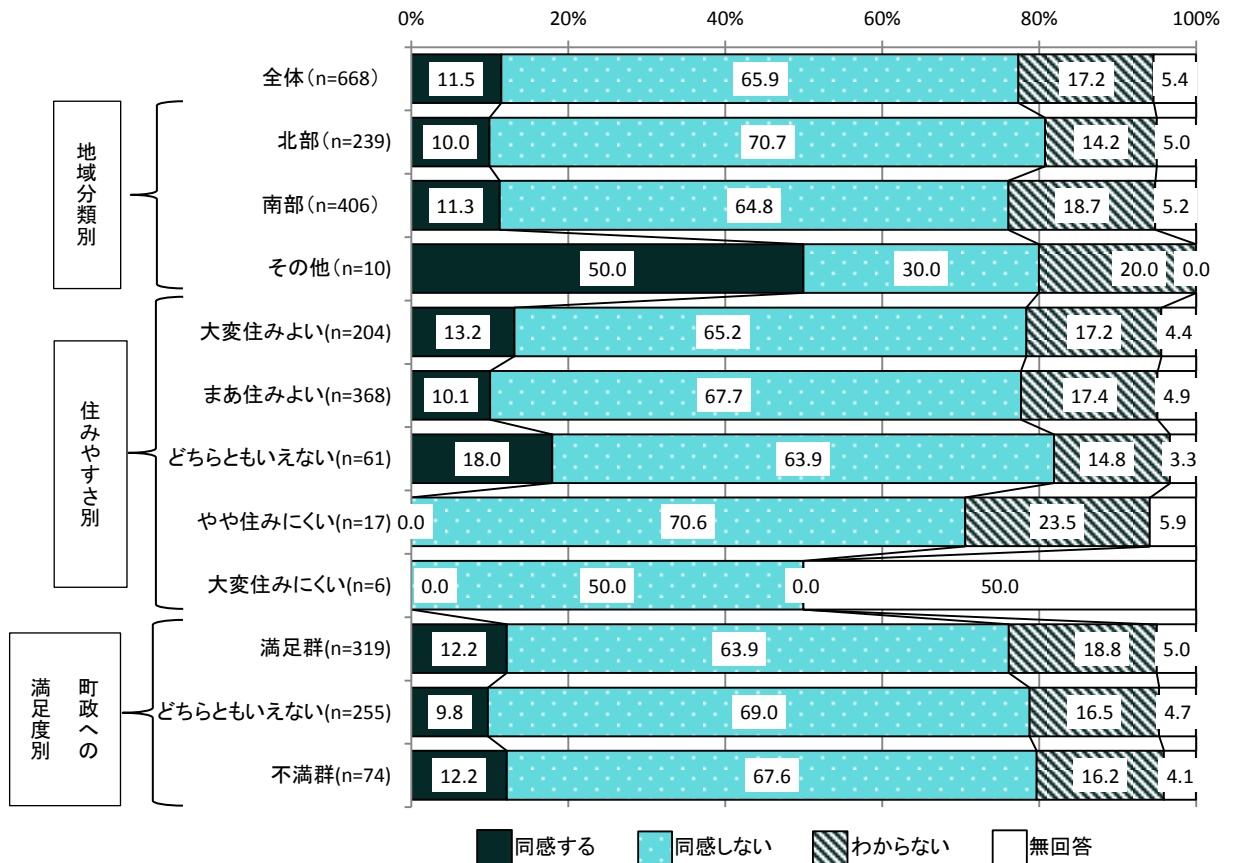
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「同感しない」が高くなっています。

住みやすさ別で見ると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別で見ると、「満足群」は「不満群」に比べて、大きな差はみられません。

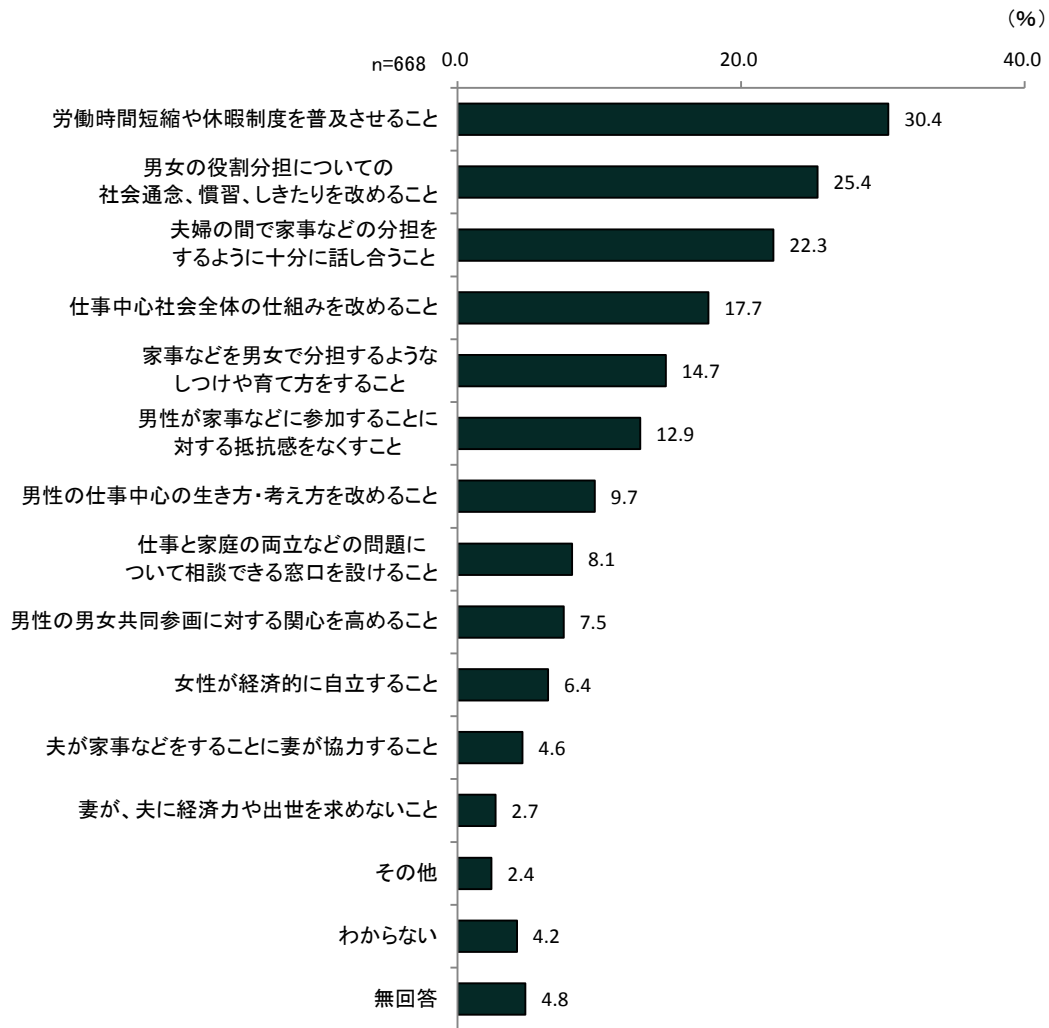
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】



問 29 今後、男女が共に家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。 【〇は2つまで】

男女が共に家事、子育てや教育、介護、地域活動に参加していくために必要なことについて、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が 30.4%と最も高くなっています。ついで、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が 25.4%、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が 22.3%となっています。

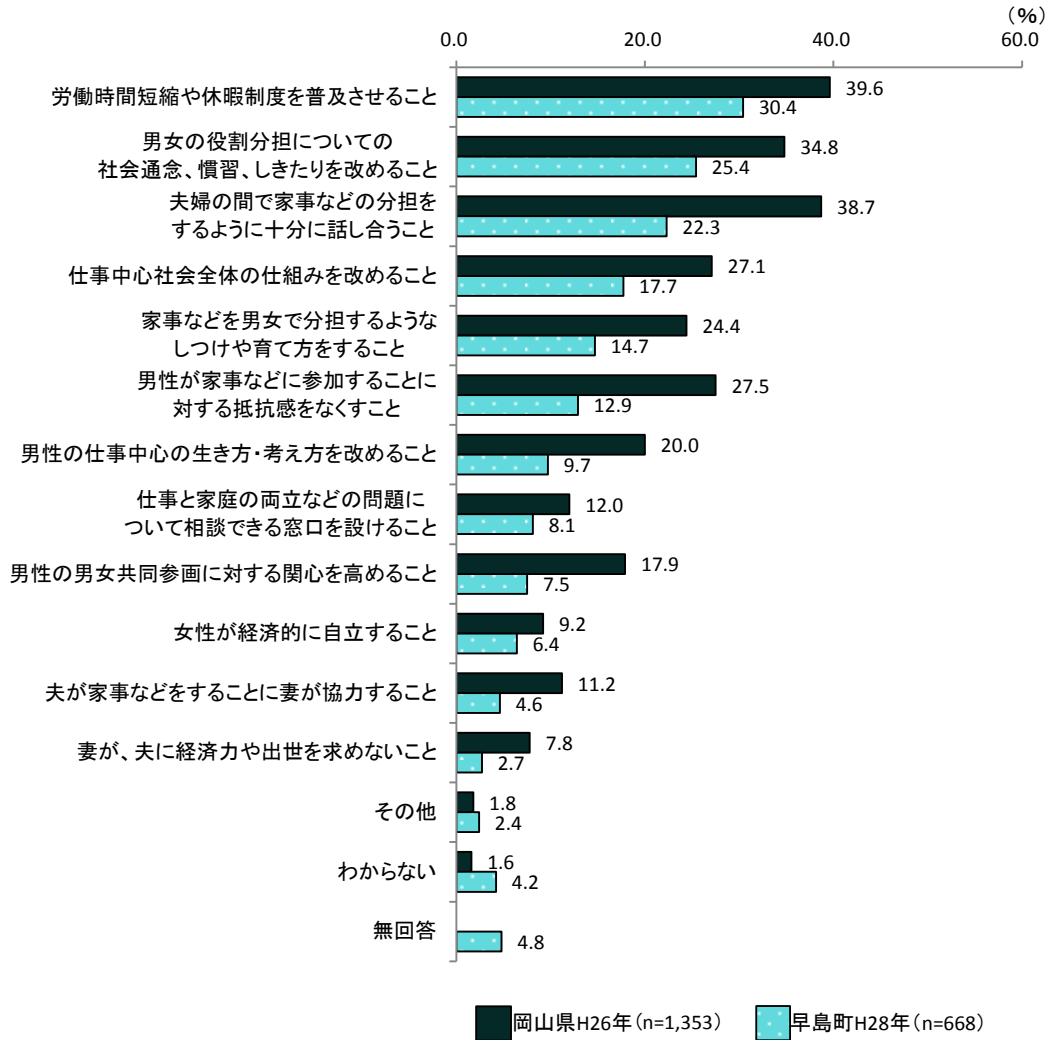
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が 16.4 ポイント高くなっています。

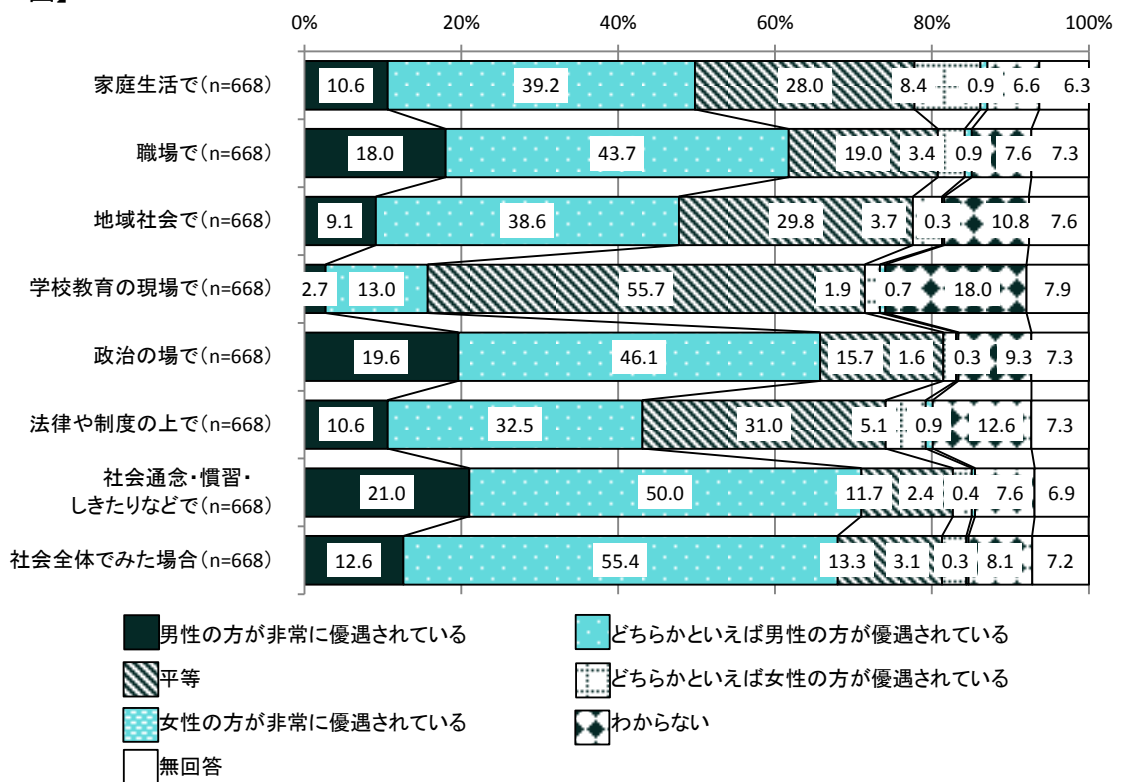
【県との比較 図】



問 30 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっているとお考えですか。(a)～(h)のそれぞれについてお答えください。【〇はそれぞれ1つだけ】

各分野の男女の地位の平等感について、『男性の方が優遇されている』『男性の方が非常に優遇されている』+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」では、「社会通念・慣習・しきたりなどで」が71.0%と最も高くなっています。ついで、「社会全体でみた場合」が68.0%、「政治の場で」が65.7%となっています。また、『女性の方が優遇されている』『女性の方が非常に優遇されている』+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」では、「家庭生活で」が9.3%と最も高くなっています。ついで、「法律や制度の上で」が6.0%、「職場で」が4.3%となっています。

【全体 図】

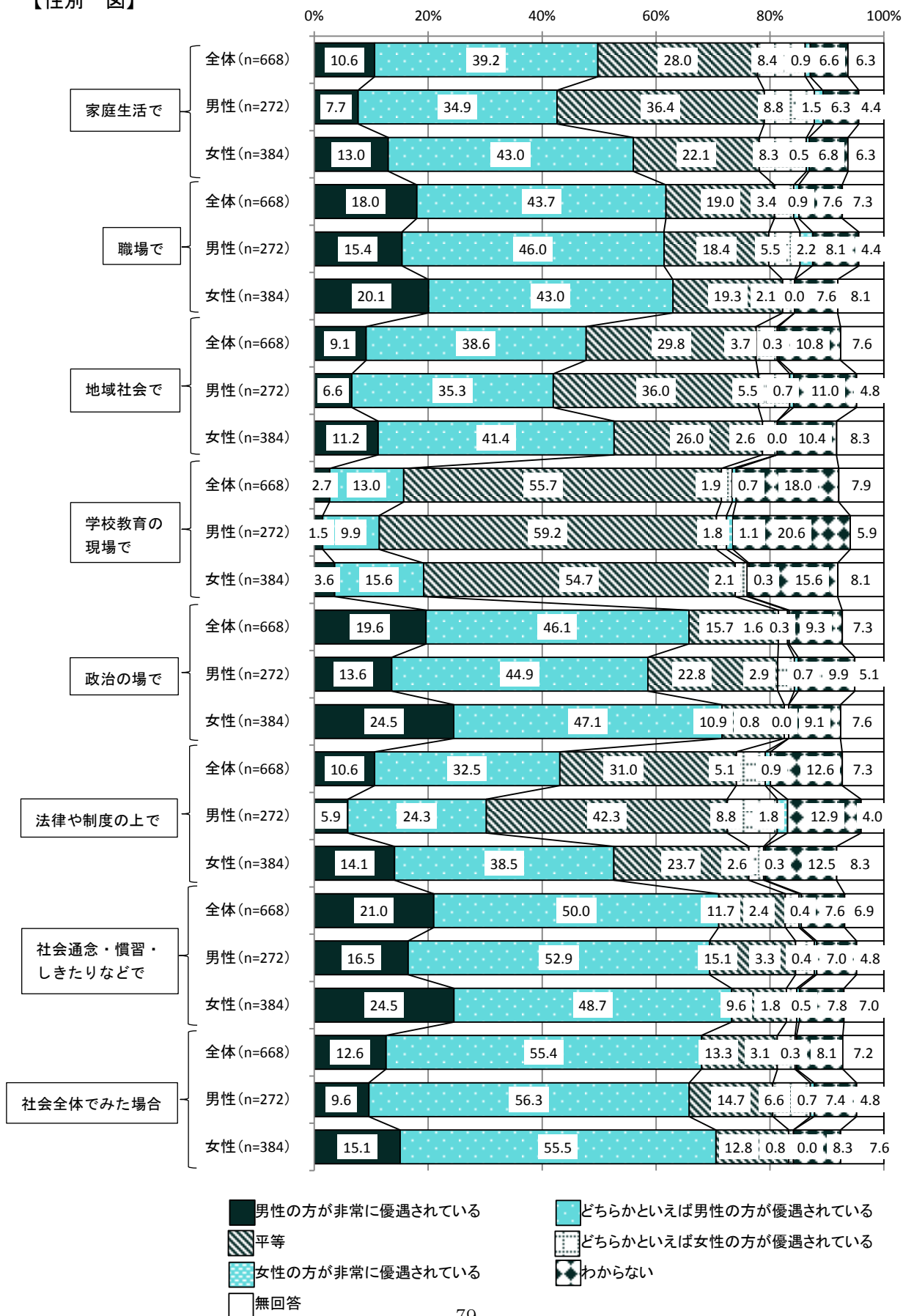


【性別】

性別でみると、「家庭生活で」は「男性」は「女性」に比べて、『平等』が14.3ポイント高くなっています。また、「職場で」は「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。また、「地域社会で」は「男性」は「女性」に比べて、『男性の方が優遇されている』『男性の方が非常に優遇されている』+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が10.7ポイント低くなっています。また、「学校教育の現場で」は「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。また、「政治の場で」は「男性」は「女性」に比べて、『男性の方が優遇されている』『男性の方が非常に優遇されている』+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が13.1ポイント低くなっています。また、「法律や制度の上で」は「男性」は「女性」に比べて、『男性の方が優遇されている』『男性の方が非常に優遇されている』+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が22.4ポイント低くなっています。また、「社会通念・慣習・しきたりなどで」は「男

性」は「女性」に比べて、『平等』が5.5ポイント高くなっています。また、「社会全体でみた場合」は「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

【性別 図】

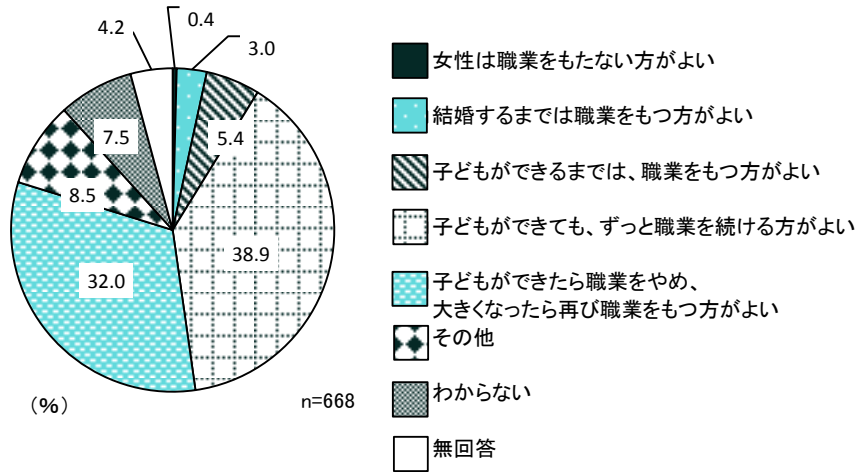


問 31 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。

【○は1つだけ】

女性が職業をもつことについて、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が38.9%と最も高くなっています。ついで、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が32.0%、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」が5.4%となっています。

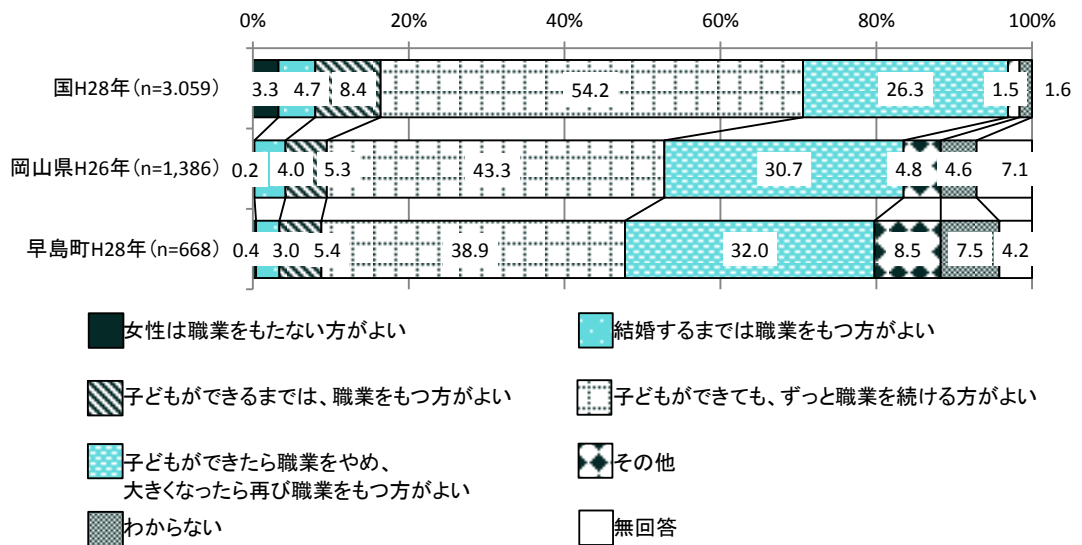
【全体 図】



【国・県との比較】

国・県との比較では、「国 H28 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が15.3ポイント高くなっています。

【国・県との比較 図】



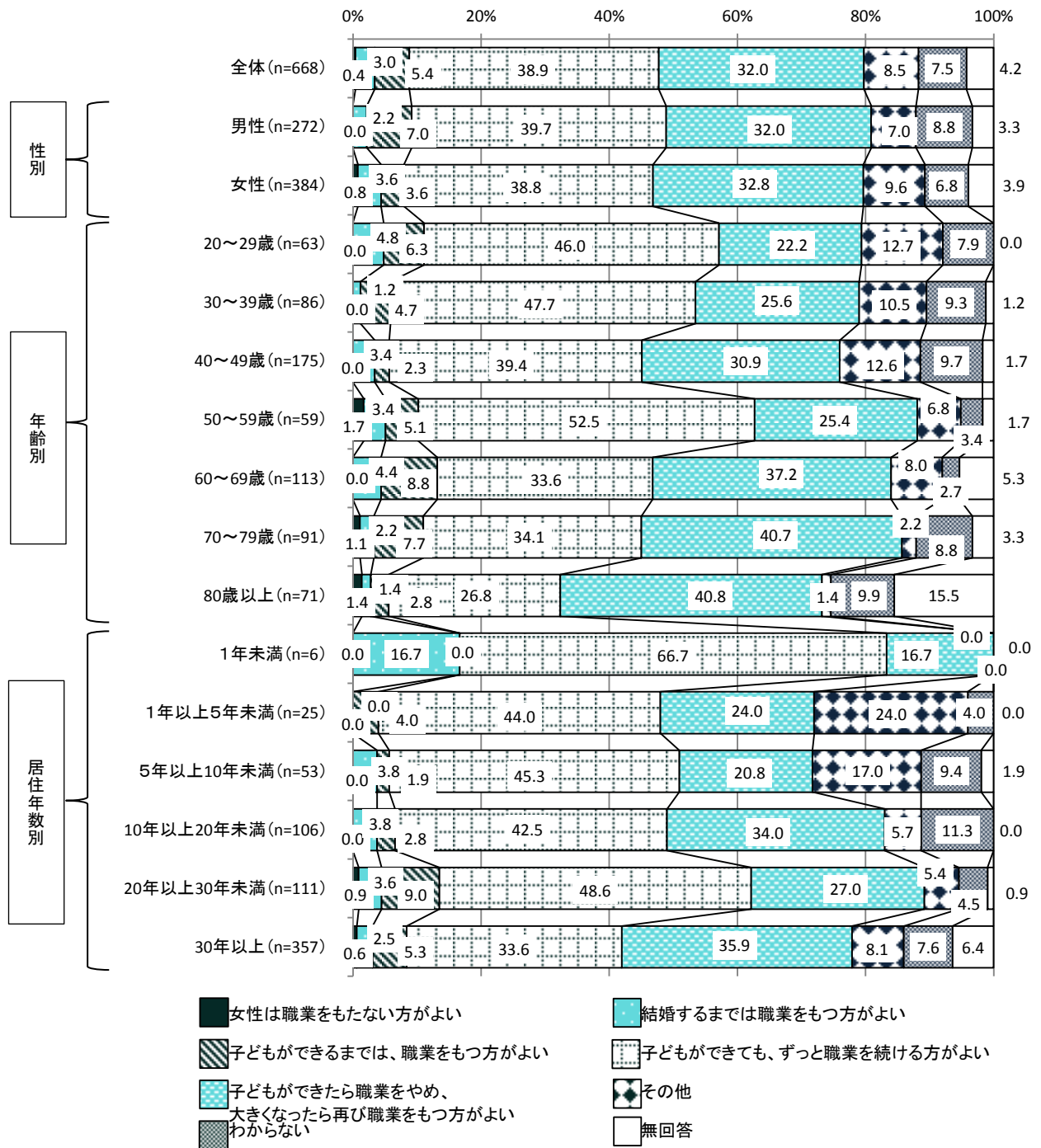
【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「50～59歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が高くなっています。

居住年数別にみると、「5年以上10年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 図】



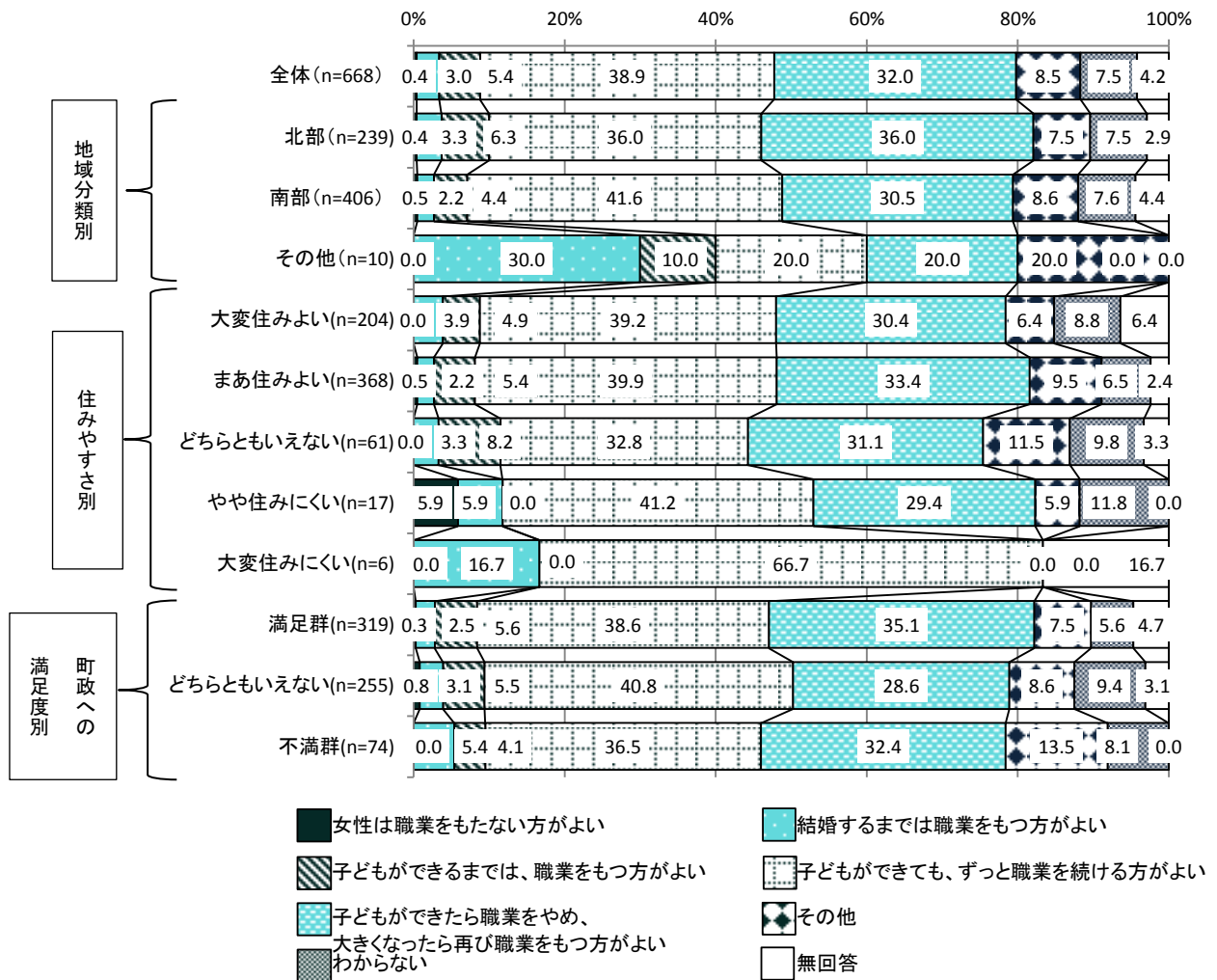
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が高くなっています。

住みやすさ別で見ると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別で見ると、「満足群」は「不満群」に比べて、大きな差はみられません。

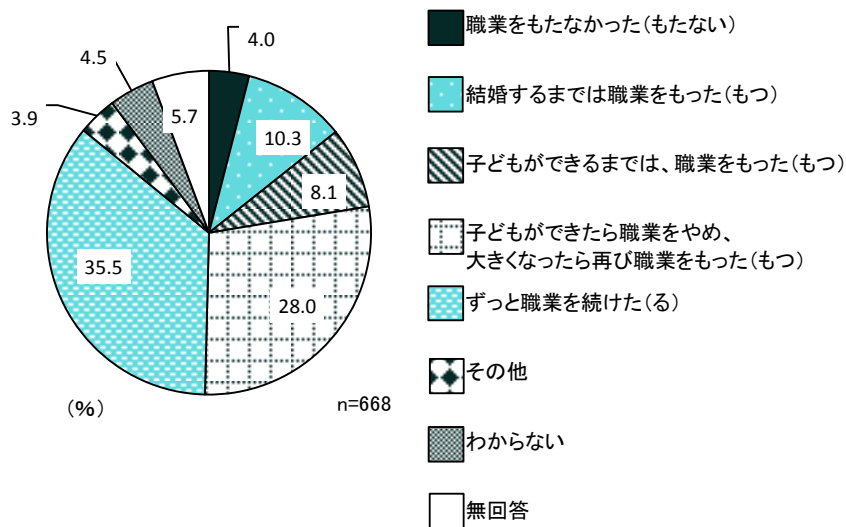
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】



問 32 女性が職業をもつことについて、あなたの現実にあてはまるもの（あてはまると予想されるもの）はどれですか。 【○は1つだけ】
 ※男性の方は、配偶者の働き方など、ご家庭での状況で現実にあてはまるもの（あてはまると予想されるもの）をお答えください。

女性が職業をもつことと自身の現実について、「ずっと職業を続けた（る）」が35.5%と最も高くなっています。ついで、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった（もつ）」が28.0%、「結婚するまでは職業をもった（もつ）」が10.3%となっています。

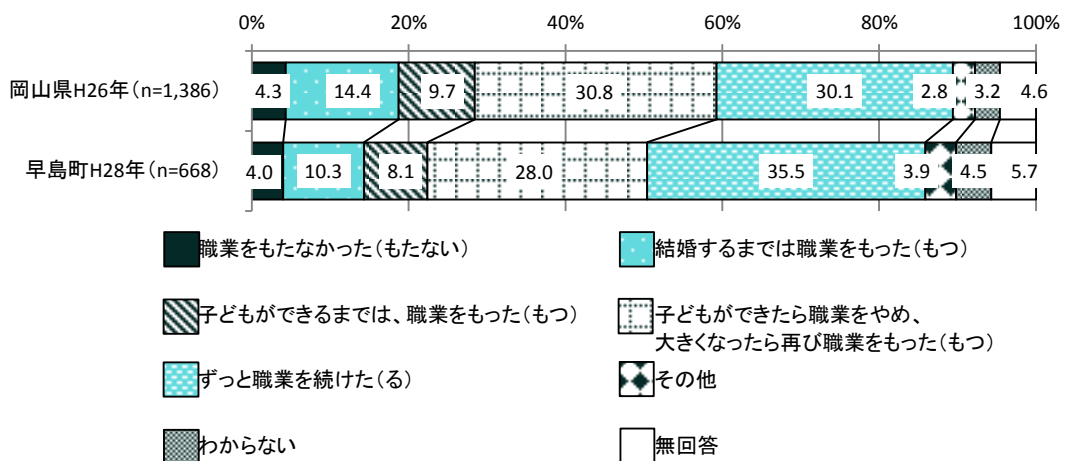
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「ずっと職業を続けた（る）」が5.4ポイント低くなっています。

【県との比較 図】



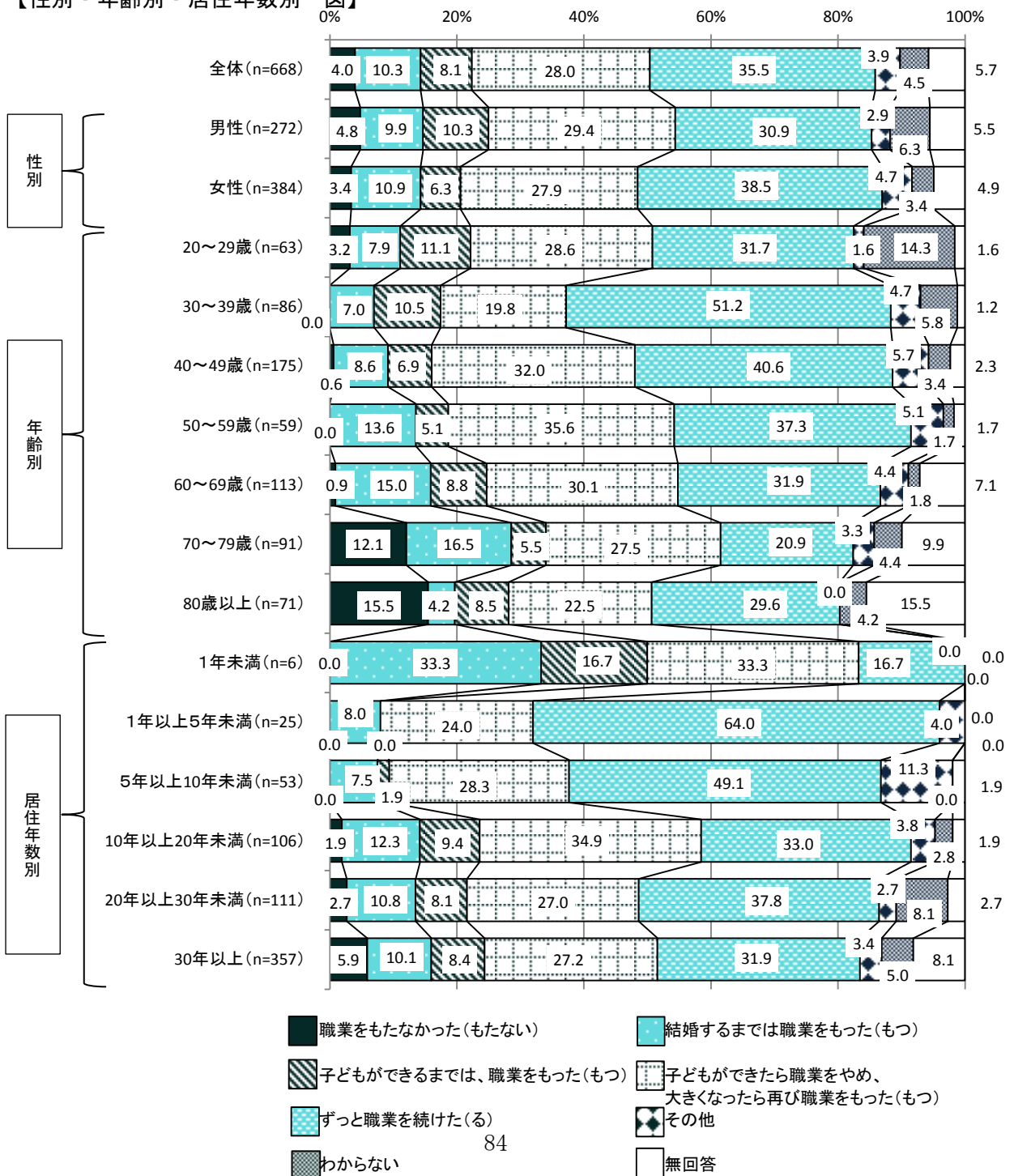
【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「ずっと職業を続けた(る)」が7.6ポイント低くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「70～79歳」にかけて年齢が上がるにつれて「結婚するまでは職業をもった(もつ)」が高くなっており、「ずっと職業を続けた(る)」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「10年以上20年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった(もつ)」が高くなっており、「ずっと職業をもち続ける(る)」が低くなっています。また、「10年以上20年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「職業をもたなかった(もたない)」が高くなっており、「結婚するまでは職業をもった(もつ)」が低くなっています。

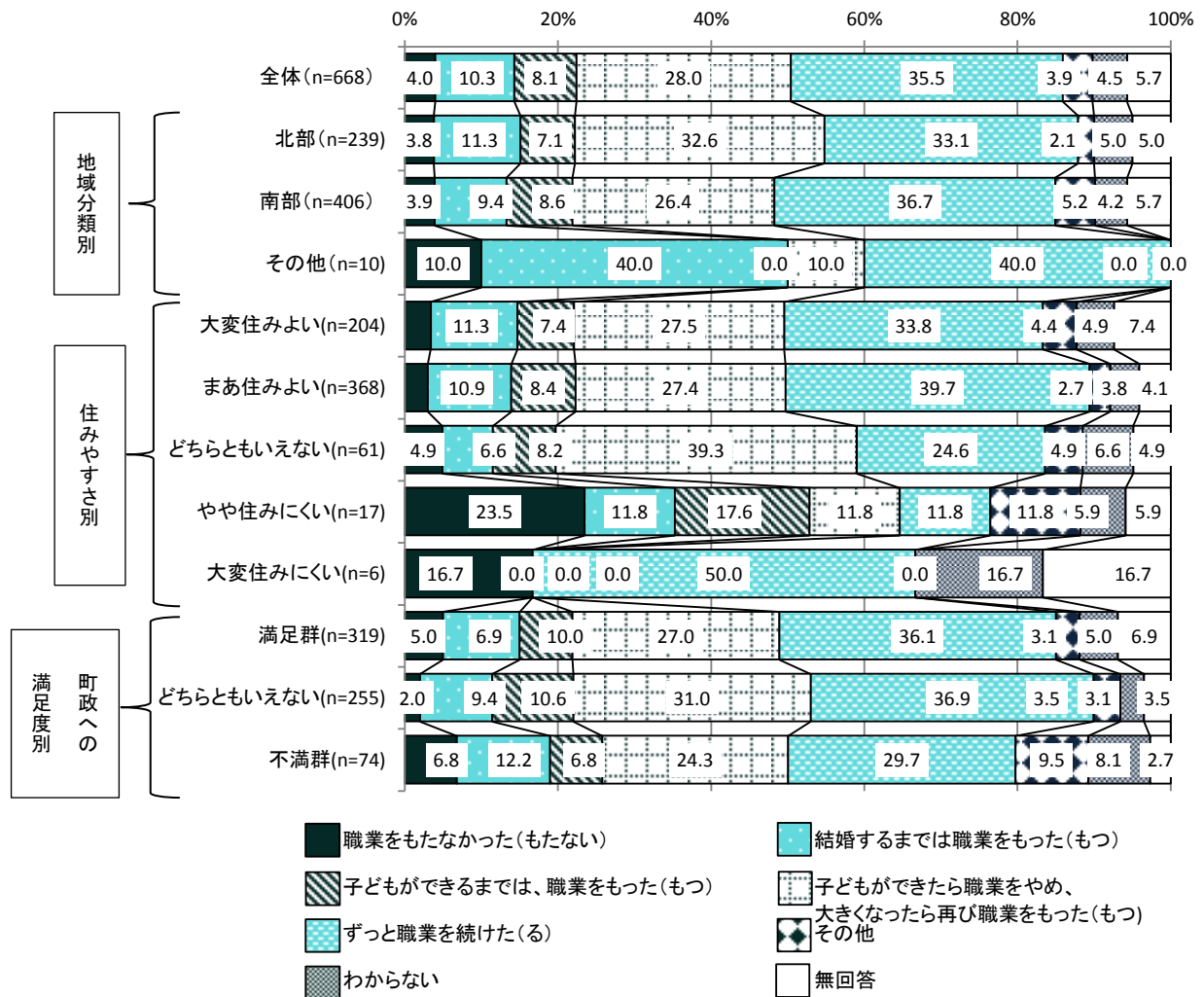
【性別・年齢別・居住年数別 図】



【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「ずっと職業を続けた(る)」が高くなっています。
 住みやすさ別で見ると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「ずっと職業を続けた(る)」が5.9ポイント低くなっています。
 町政への満足度別で見ると、「満足群」は「不満群」に比べて、「ずっと職業を続けた(る)」が6.4ポイント高くなっています。

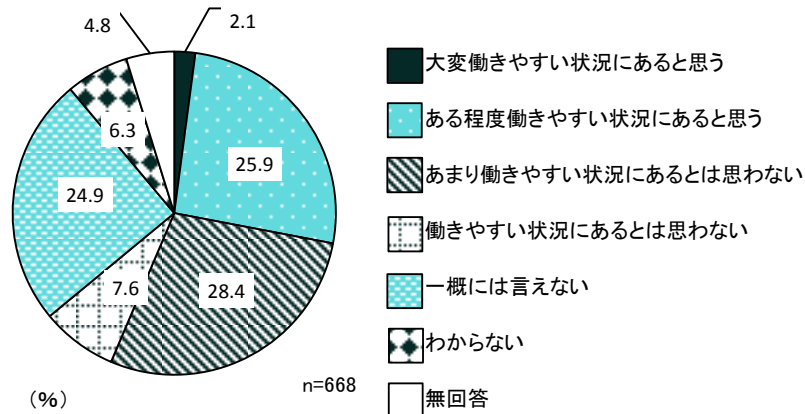
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】



問 33 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。【〇は1つだけ】

現在の社会での女性の働きやすさについて、「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」が28.4%と最も高くなっています。ついで、「ある程度働きやすい状況にあると思う」が25.9%、「一概には言えない」が24.9%となっています。

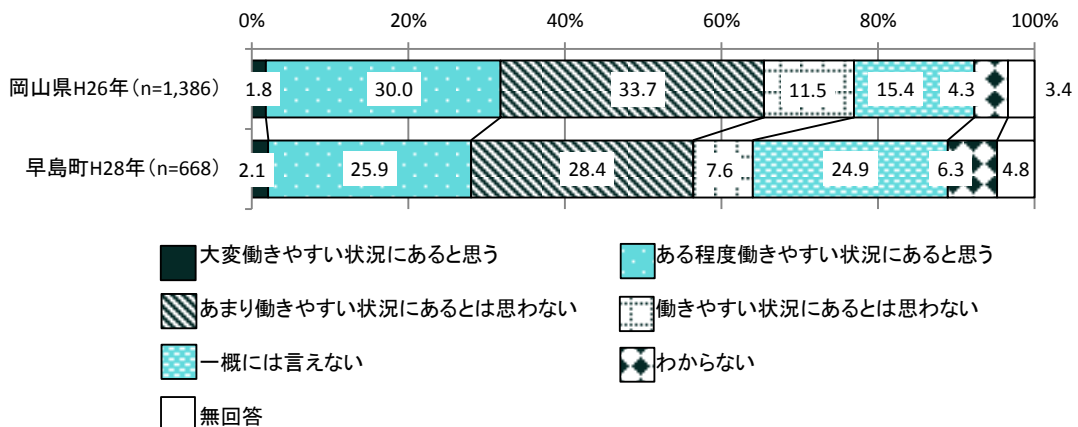
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「一概には言えない」が9.5ポイント低くなっています。

【県との比較 図】



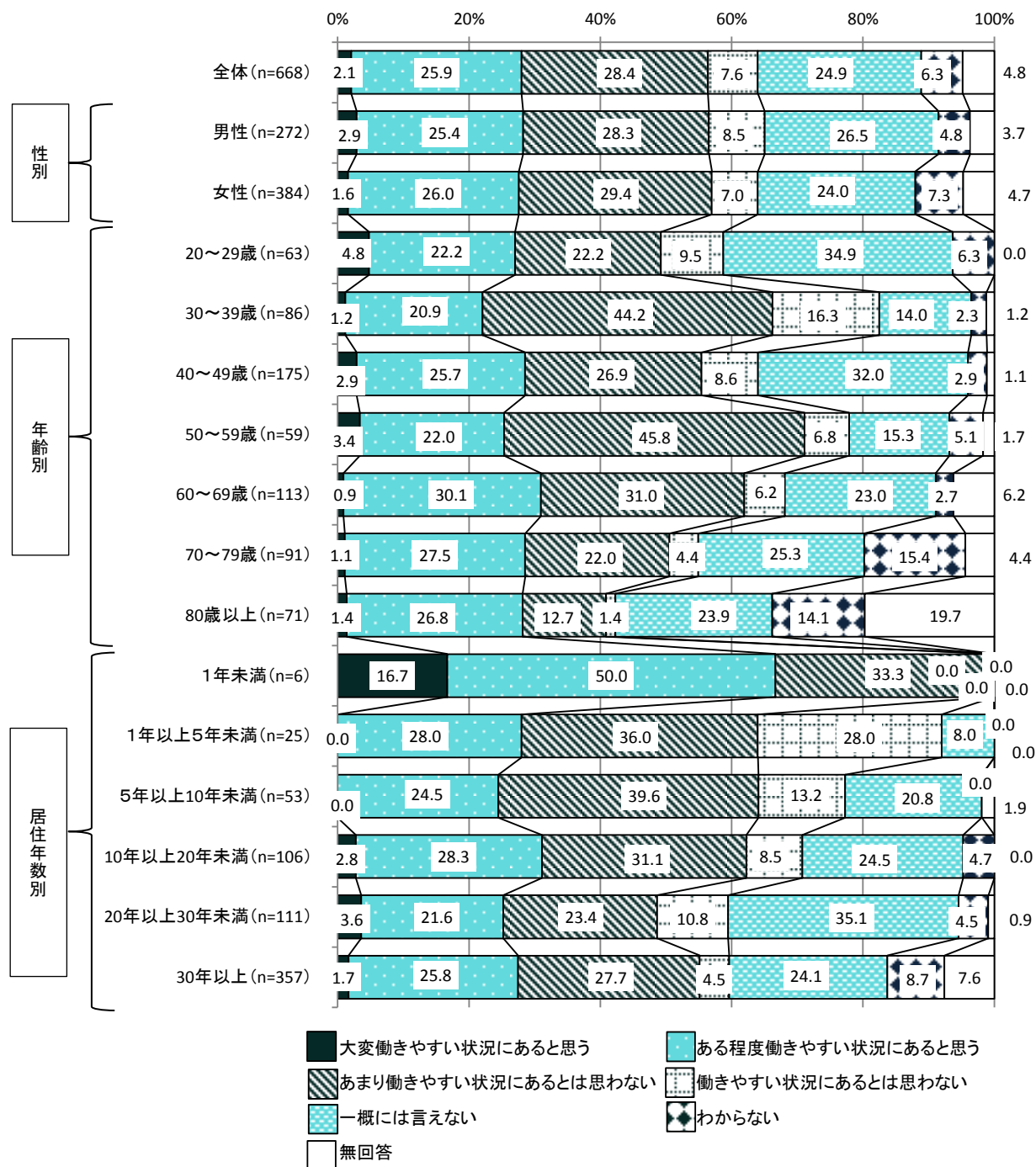
【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」と「女性」とを比べて、大きな差はみられません。

年齢別にみると、「30～39歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「働きやすい状況にあるとは思わない」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「一概には言えない」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 図】



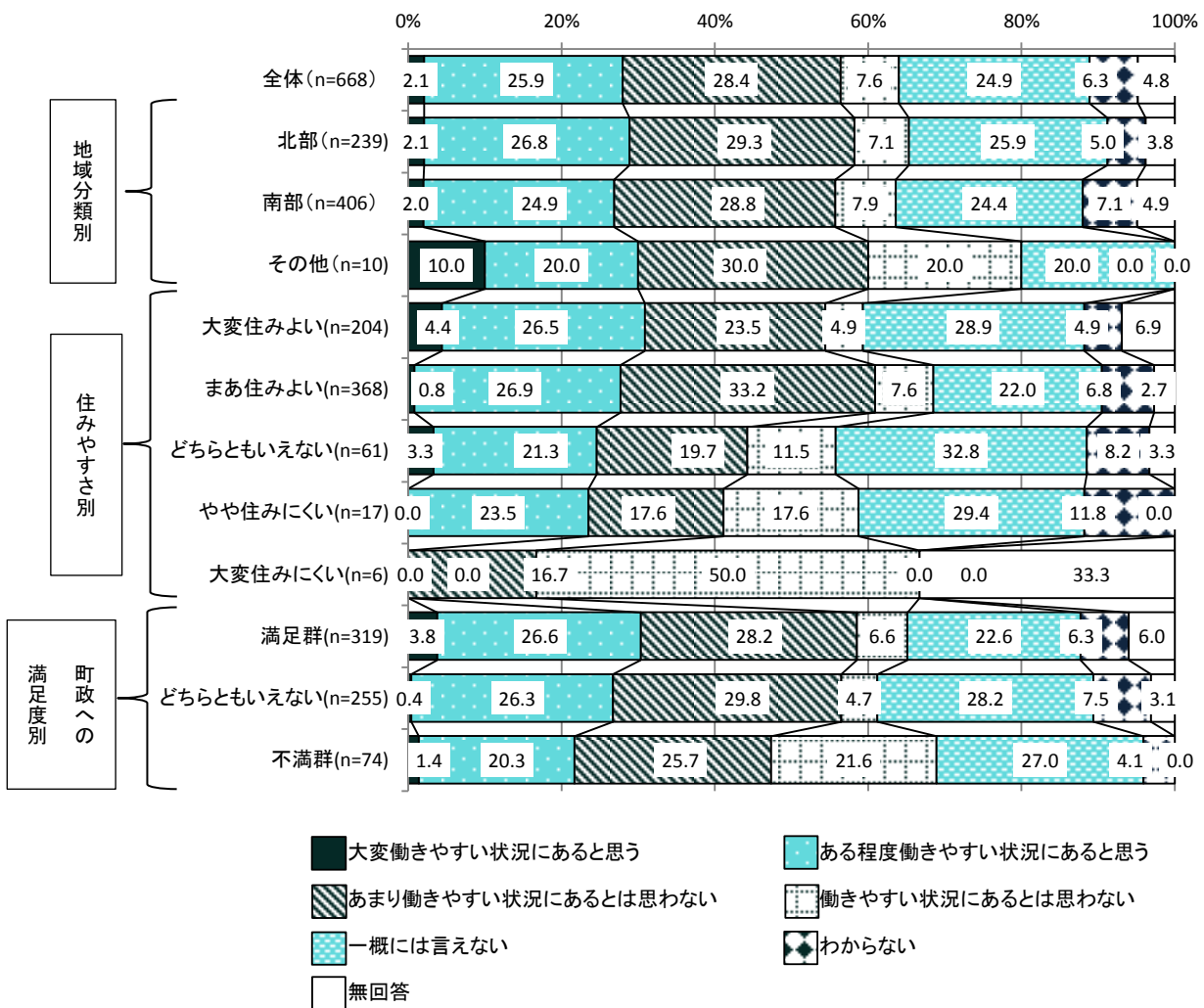
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」が9.7ポイント低くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「働きやすい状況にあるとは思わない」が15.0ポイント低くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】

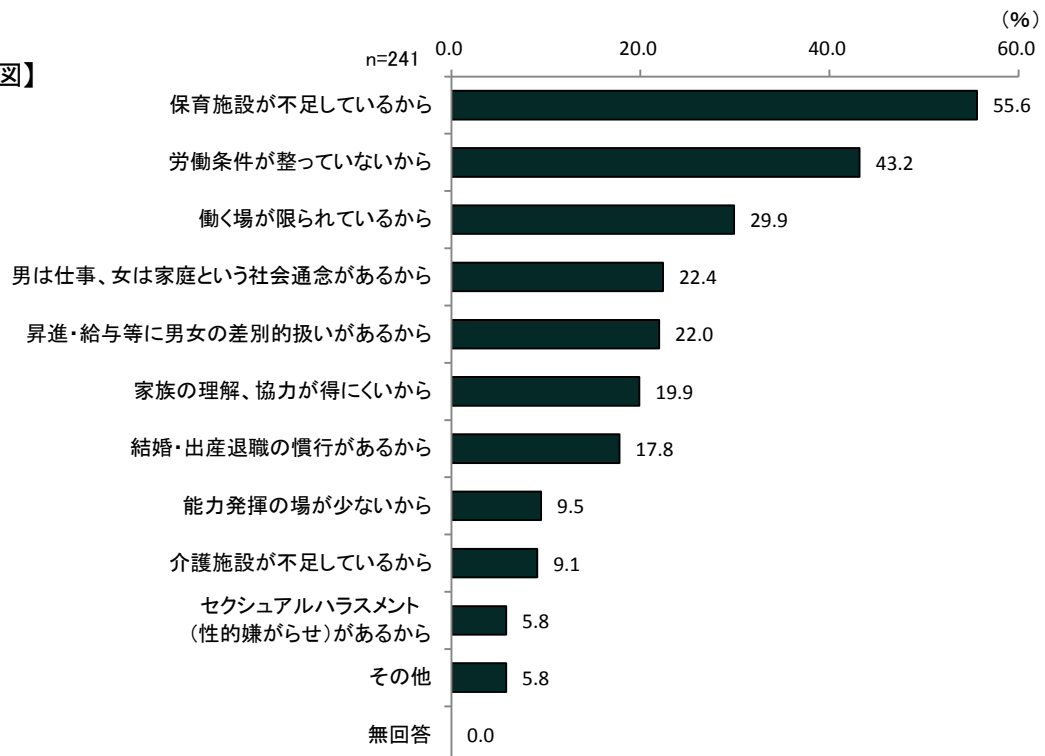


《問 33 で「3.」か「4.」を選択された方にお聞きします》

問 33-1 そう思わない理由は何ですか。 【〇は3つまで】

そう思わない理由について、「保育施設が不足しているから」が 55.6%と最も高くなっています。ついで、「労働条件が整っていないから」が 43.2%、「働く場が限られているから」が 29.9%となっています。

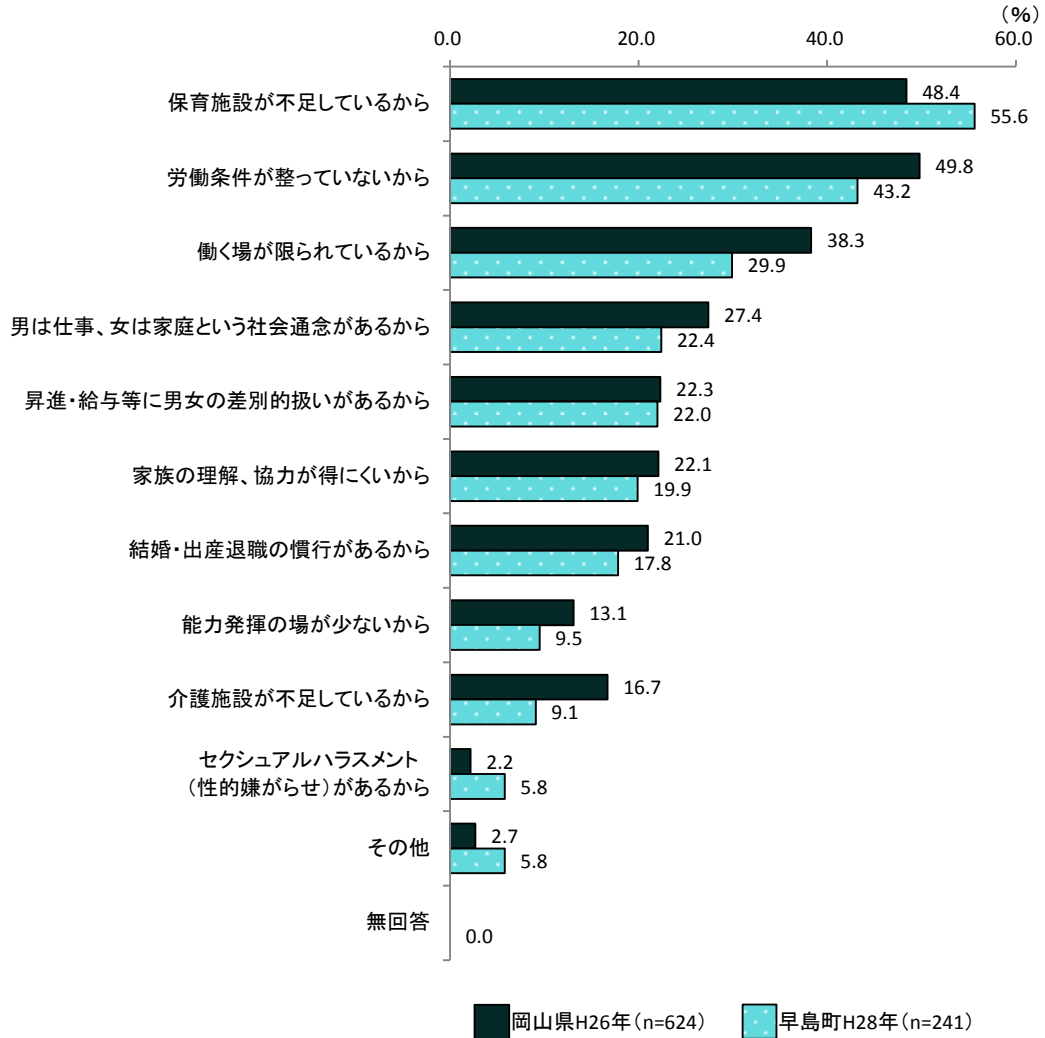
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「働く場が限られているから」が 8.4 ポイント高くなっています。

【県との比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「結婚・出産退職の慣行があるから」が15.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「20～29歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「介護施設が不足しているから」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「男は仕事、女は家庭という社会通念があるから」が高くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	い保育施設が不足しているから	な労働条件が整っていないから	働く場が限られているから	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから	昇進・給与等に男女差があるから	家族の理解、協力が得にくいから	結婚・出産退職の慣行があるから	能力発揮の場が少ないから	介護施設が不足しているから	セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）があるから	その他	無回答
全体		241	55.6	43.2	29.9	22.4	22.0	19.9	17.8	9.5	9.1	5.8	5.8	0.0	
性別	男性	100	62.0	38.0	28.0	21.0	21.0	15.0	27.0	11.0	9.0	7.0	2.0	0.0	
	女性	140	51.4	47.1	31.4	23.6	22.9	23.6	11.4	7.9	9.3	5.0	8.6	0.0	
年齢別	20～29歳	20	75.0	55.0	25.0	30.0	20.0	15.0	25.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	
	30～39歳	52	57.7	46.2	21.2	26.9	15.4	25.0	15.4	3.8	7.7	11.5	9.6	0.0	
	40～49歳	62	48.4	46.8	32.3	21.0	21.0	19.4	11.3	8.1	8.1	4.8	9.7	0.0	
	50～59歳	31	61.3	16.1	38.7	12.9	29.0	19.4	16.1	12.9	9.7	6.5	6.5	0.0	
	60～69歳	42	57.1	57.1	28.6	28.6	21.4	21.4	26.2	7.1	11.9	2.4	2.4	0.0	
	70～79歳	24	54.2	29.2	33.3	16.7	37.5	16.7	20.8	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	10	30.0	40.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	
	1年未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住年数別	1年以上5年未満	16	81.3	50.0	18.8	12.5	12.5	18.8	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	
	5年以上10年未満	28	53.6	53.6	35.7	17.9	28.6	21.4	17.9	7.1	0.0	7.1	10.7	0.0	
	10年以上20年未満	42	61.9	38.1	35.7	23.8	16.7	35.7	16.7	0.0	2.4	7.1	4.8	0.0	
	20年以上30年未満	38	60.5	39.5	26.3	39.5	26.3	15.8	10.5	10.5	13.2	5.3	0.0	0.0	
	30年以上	115	49.6	42.6	28.7	19.1	22.6	13.9	20.0	13.0	13.9	4.3	6.1	0.0	

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、すべての地域において「保育施設が不足しているから」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、「働く場が限られているから」が8.9ポイント高くなっています。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「働く場が限られているから」が13.5ポイント高くなっています。

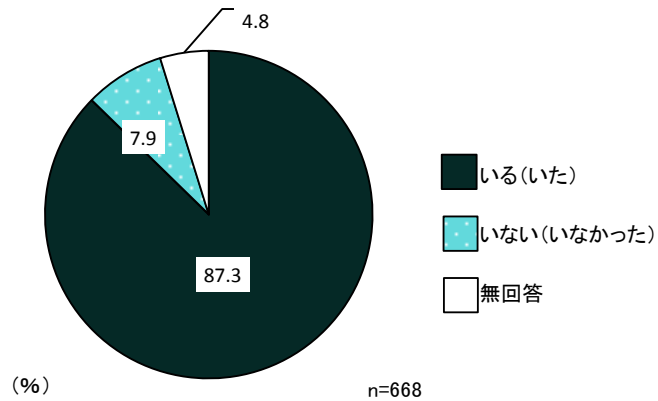
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

		サンプル数	い保育施設が不足しているから	な労働条件が整っていないから	働く場が限られているから	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから	昇進・給与等に男女差があるから	家族の理解、協力が得にくいから	結婚・出産退職の慣行があるから	能力発揮の場が少ないから	介護施設が不足しているから	セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）があるから	その他	無回答
全体		241	55.6	43.2	29.9	22.4	22.0	19.9	17.8	9.5	9.1	5.8	5.8	0.0	
地域分類別	北部	87	56.3	39.1	31.0	28.7	25.3	18.4	9.2	12.6	8.0	5.7	3.4	0.0	
	南部	149	55.0	45.6	28.9	18.1	20.1	20.8	23.5	7.4	9.4	5.4	6.7	0.0	
	その他	5	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	
住みやすさ別	大変住みよい	58	53.4	39.7	36.2	22.4	22.4	15.5	15.5	13.8	6.9	3.4	12.1	0.0	
	まあ住みよい	150	60.7	47.3	27.3	22.7	20.7	21.3	18.0	6.7	10.7	5.3	2.7	0.0	
	どちらともいえない	19	26.3	42.1	31.6	26.3	26.3	26.3	15.8	10.5	0.0	15.8	5.3	0.0	
	やや住みにくい	6	33.3	16.7	50.0	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	
	大変住みにくい	4	75.0	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
町政への満足度別	満足群	111	55.0	45.9	30.6	22.5	23.4	22.5	18.9	9.9	6.3	6.3	5.4	0.0	
	どちらともいえない不満群	88	58.0	37.5	33.0	18.2	19.3	15.9	14.8	10.2	8.0	5.7	5.7	0.0	
不満群		35	54.3	42.9	17.1	28.6	25.7	22.9	20.0	8.6	14.3	5.7	8.6	0.0	

問34 配偶者（同居しているパートナーを含む）や恋人が現在いらっしゃいますか。または、過去にいらっしゃったことがありますか。【○は1つだけ】

現在と過去の配偶者や恋人の有無について、「いる(いた)」が87.3%と最も高くなっています。ついで、「いない(いなかった)」が7.9%となっています。

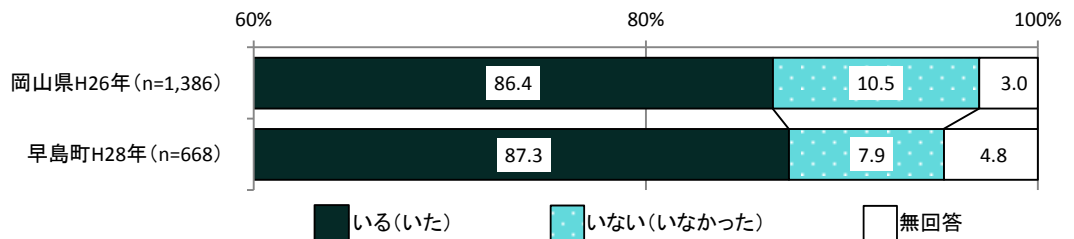
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、大きな差はみられません。

【県との比較 図】



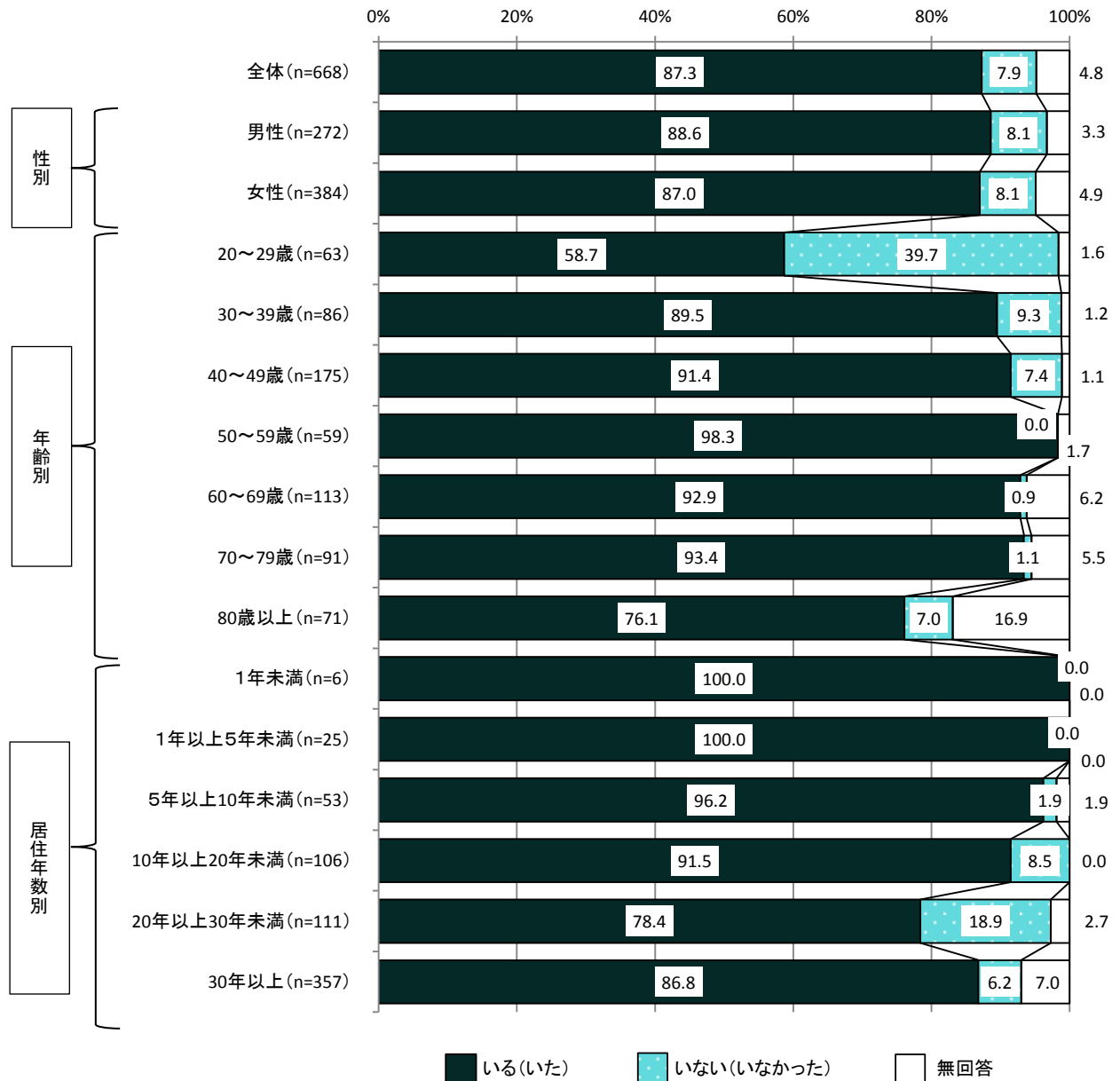
【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、あまり変化はなく、「いる(いた)」の割合が8割以上と高くなっています。

年齢別にみると、「20～29歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「いる(いた)」が高くなっています。

居住年数別にみると、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「いる(いた)」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 図】



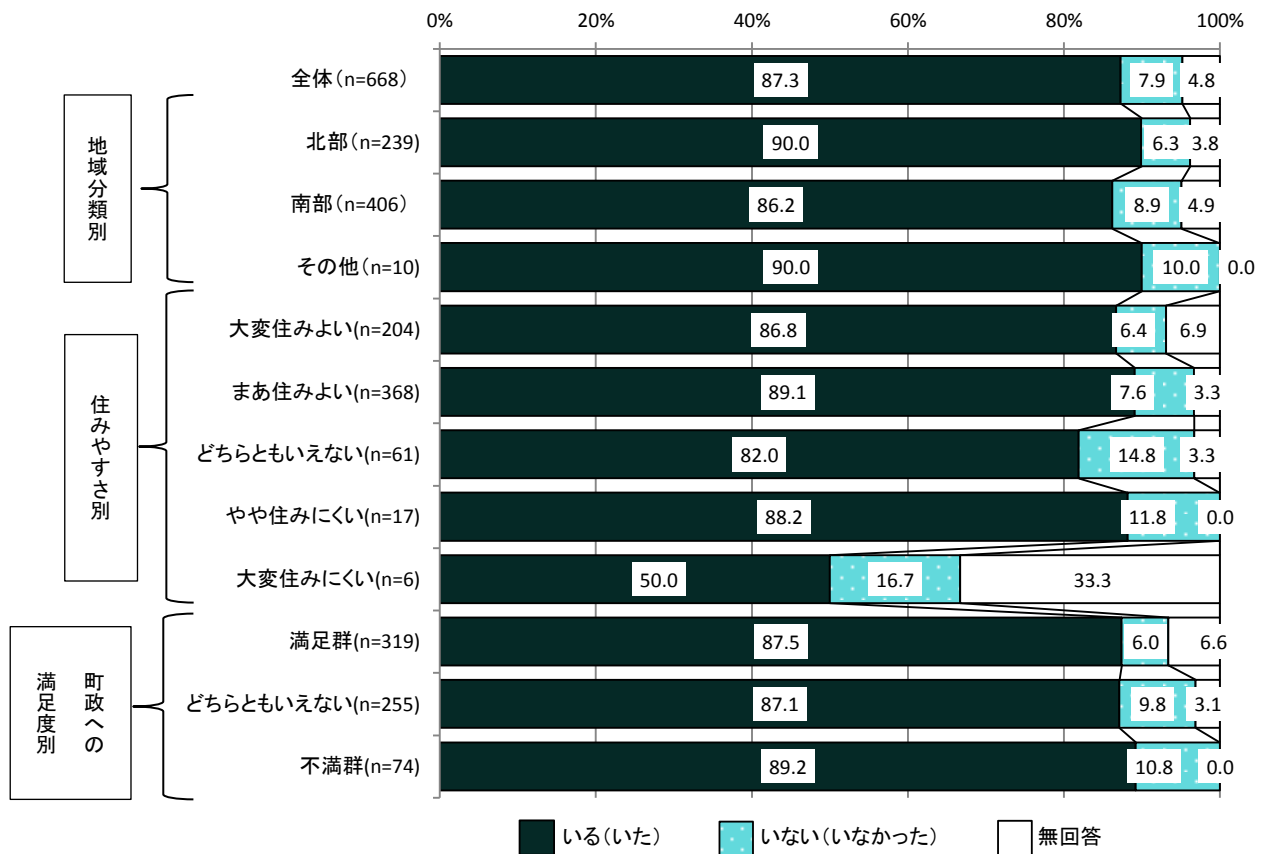
【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「いる(いた)」が高くなっています。

住みやすさ別で見ると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別で見ると、「満足群」は「不満群」に比べて、大きな差はみられません。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 図】



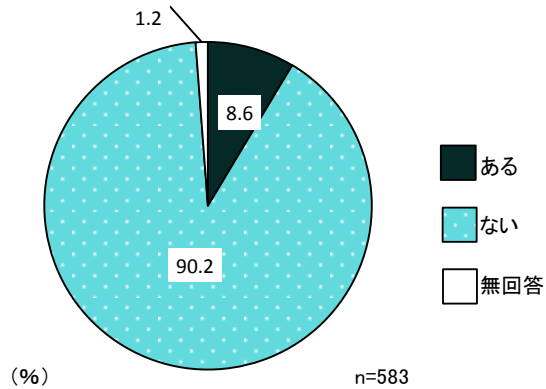
《問 34 で「1.」を選択された方にお聞きします。》

問34-1 あなたは、これまでに、配偶者や恋人関係にあった者から暴力行為（配偶者や交際相手からの暴力、性犯罪、セクシュアルハラスメント）を受けたことがありますか。

【○は1つだけ】

暴力行為被害の有無について、「ない」が90.2%と最も高くなっています。ついで、「ある」が8.6%となっています。

【全体 図】



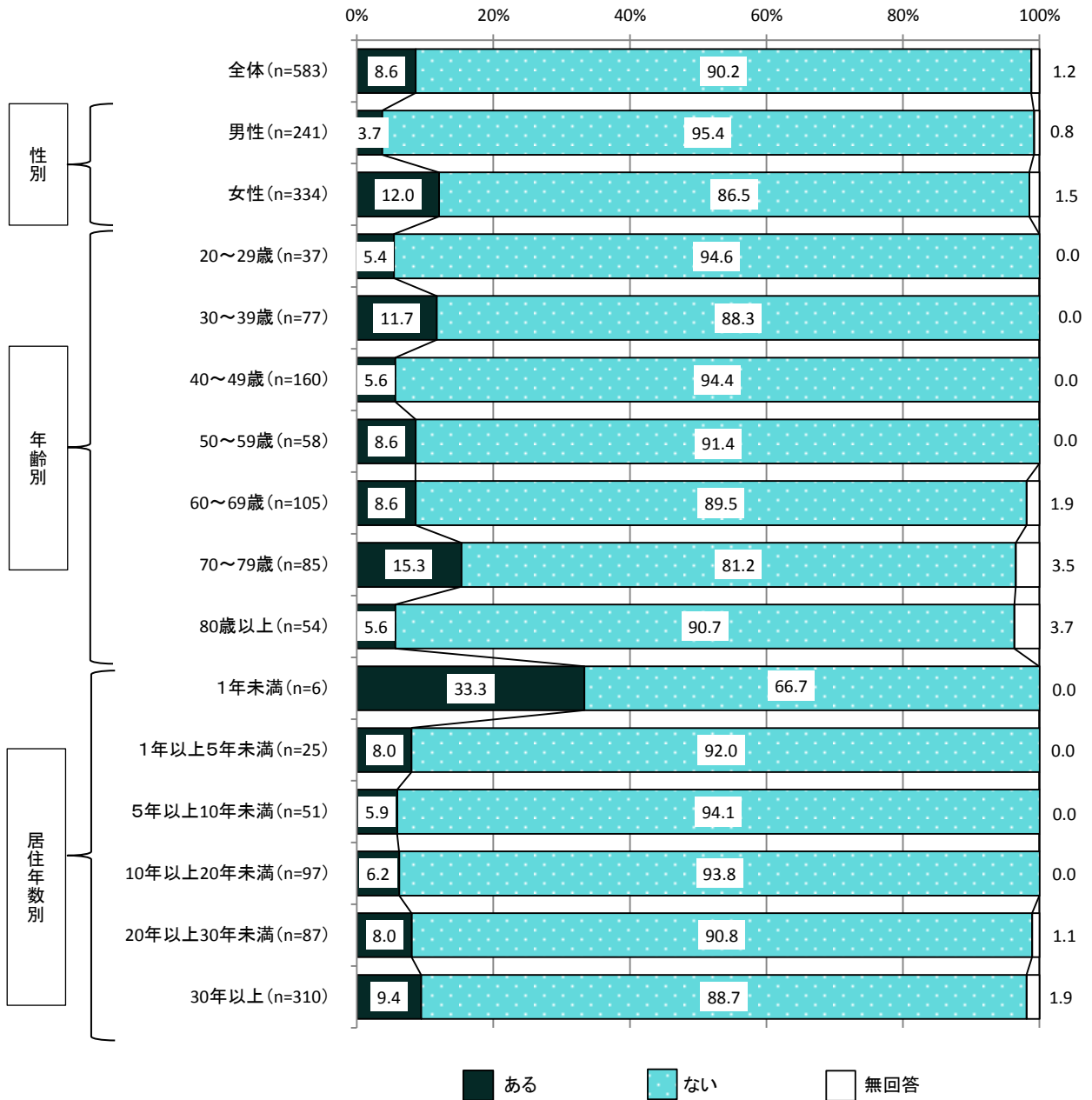
【性別・年齢別・居住年数別】

性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて、「ない」が8.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「40～49歳」から「70～79歳」にかけて年齢が上がるにつれて「ある」が高くなっています。

居住年数別にみると、「5年以上10年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「ある」が高くなっています。

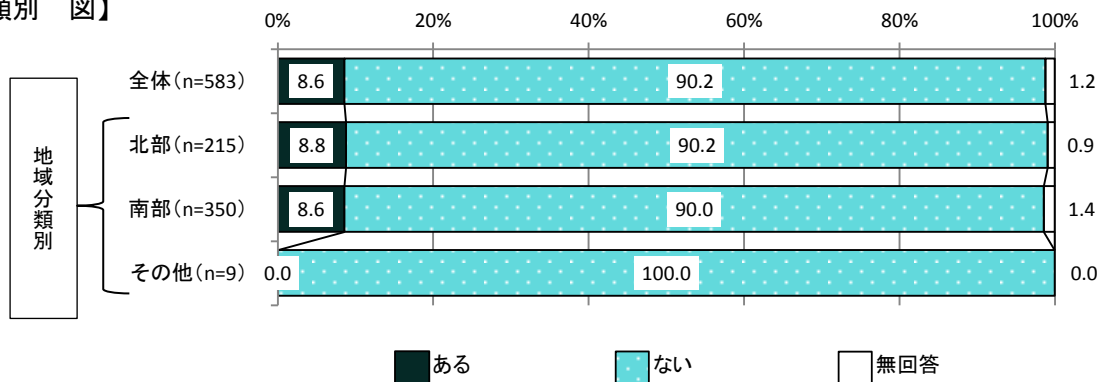
【性別・年齢別・居住年数別 図】



【地域分類別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「ない」が高くなっています。

【地域分類別 図】



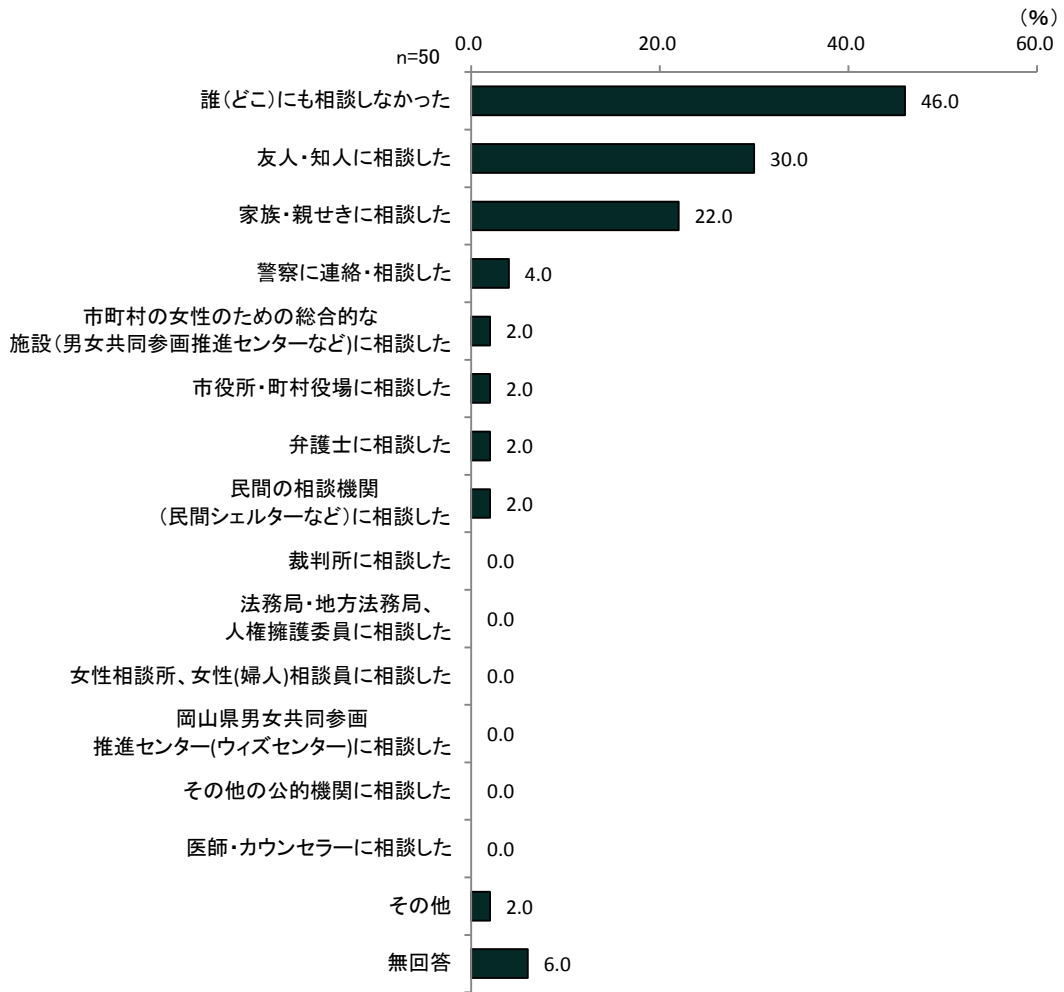
《問34-1で「1.」を選択された方にお聞きします。》

問34-2 あなたは、その受けた行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

【○はいくつでも】

暴力行為被害の相談先について、「誰（どこ）にも相談しなかった」が46.0%と最も高くなっています。ついで、「友人・知人に相談した」が30.0%、「家族・親せきに相談した」が22.0%となっています。

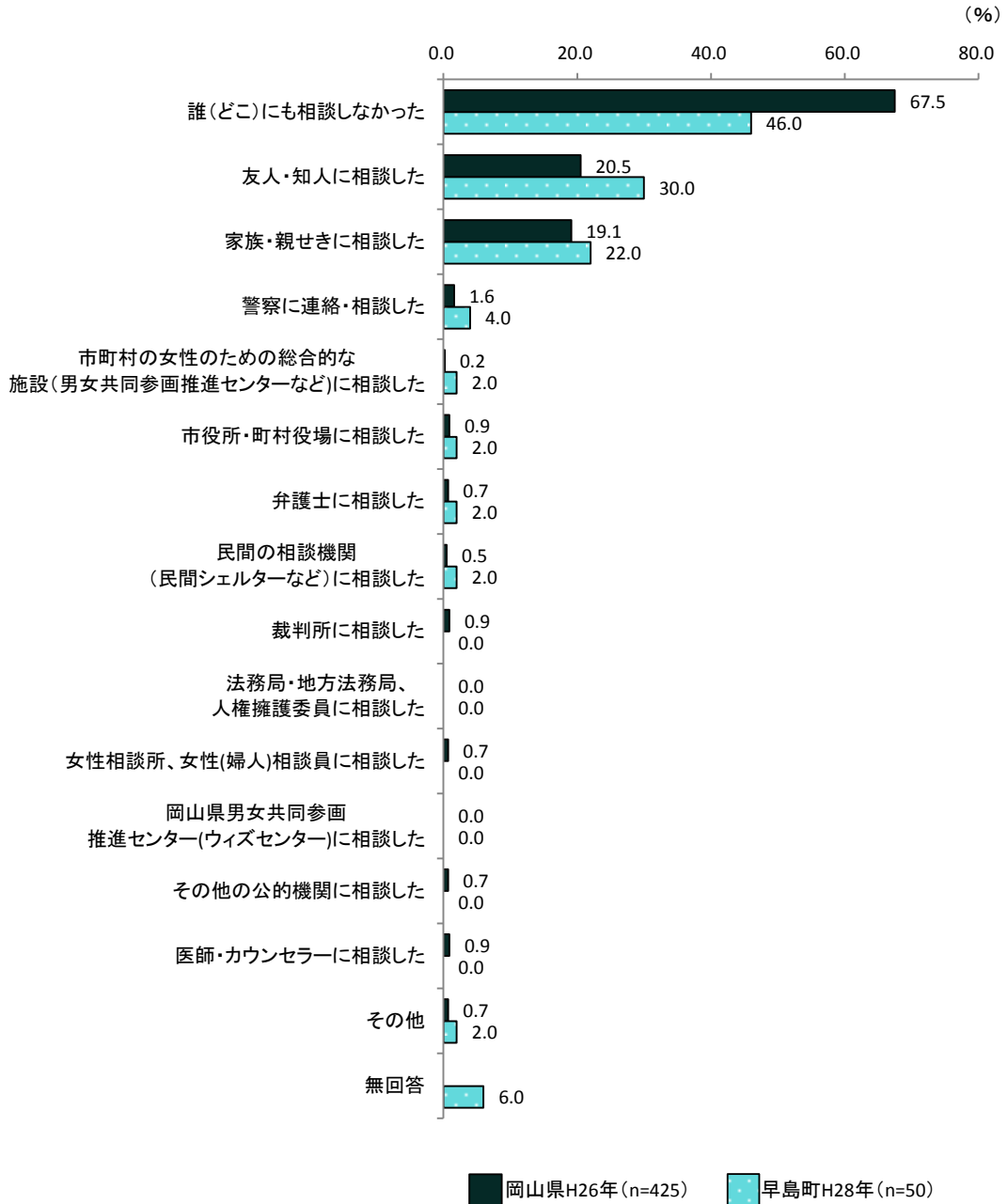
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「誰（どこ）にも相談しなかった」が 21.5 ポイント高くなっています。

【県との比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「家族・親せきに相談した」が27.5ポイント低くなっています。

年齢別にみると、「50～59歳」から「80歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「友人・知人に相談した」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	た誰（どこ）にも相談しなかった	友人・知人に相談した	家族・親せきに相談した	警察に連絡・相談した	市町村の女性のための総合的な施設（男女共同参画推進センター）に相談した	市役所・町村役場に相談した	弁護士に相談した	民間の相談機関（民間シェルターなど）に相談した
全体		50	46.0	30.0	22.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0
性別	男性	9	33.3	44.4	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	女性	40	50.0	27.5	27.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20～29歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	9	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	9	66.7	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	5	0.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	9	66.7	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	70～79歳	13	46.2	15.4	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
		サンプル数	裁判所に相談した	法務局・地方自治体、人権擁護委員に相談した	女性相談所、女性（婦人）相談員に相談した	岡山県男女共同参画推進センター（ウイズセンター）に相談した	その他の公的機関に相談した	医師・カウンセラーに相談した	その他	無回答
全体		50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.0
性別	男性	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	女性	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	5.0
年齢別	20～29歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	40～49歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	60～69歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	70～79歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	80歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【地域分類別】

地域分類別で見ると、すべての地域において「誰(どこ)にも相談しなかった」が高くなっています。

【地域分類別 表】

	サンプル数	誰(どこ)にも相談しなかった	友人・知人に相談した	家族・親せきに相談した	警察に連絡・相談した	市町村の女性のための総合的な施設(男女共同参画推進センターなど)に相談した	市役所・町村役場に相談した	弁護士に相談した	民間の相談機関(民間シェルターなど)に相談した
全体	50	46.0	30.0	22.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0
地域分類別	北部	19	47.4	31.6	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	南部	30	46.7	30.0	20.0	3.3	3.3	3.3	3.3
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サンプル数	裁判所に相談した	法務局・地方公務局、人権擁護委員に相談した	女性相談所、女性(婦人)相談員に相談した	岡山県男女共同参画推進センター(ウイズセンター)に相談した	その他の公的機関に相談した	医師・カウンセラーに相談した	その他	無回答
全体	50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.0
地域分類別	北部	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	南部	30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

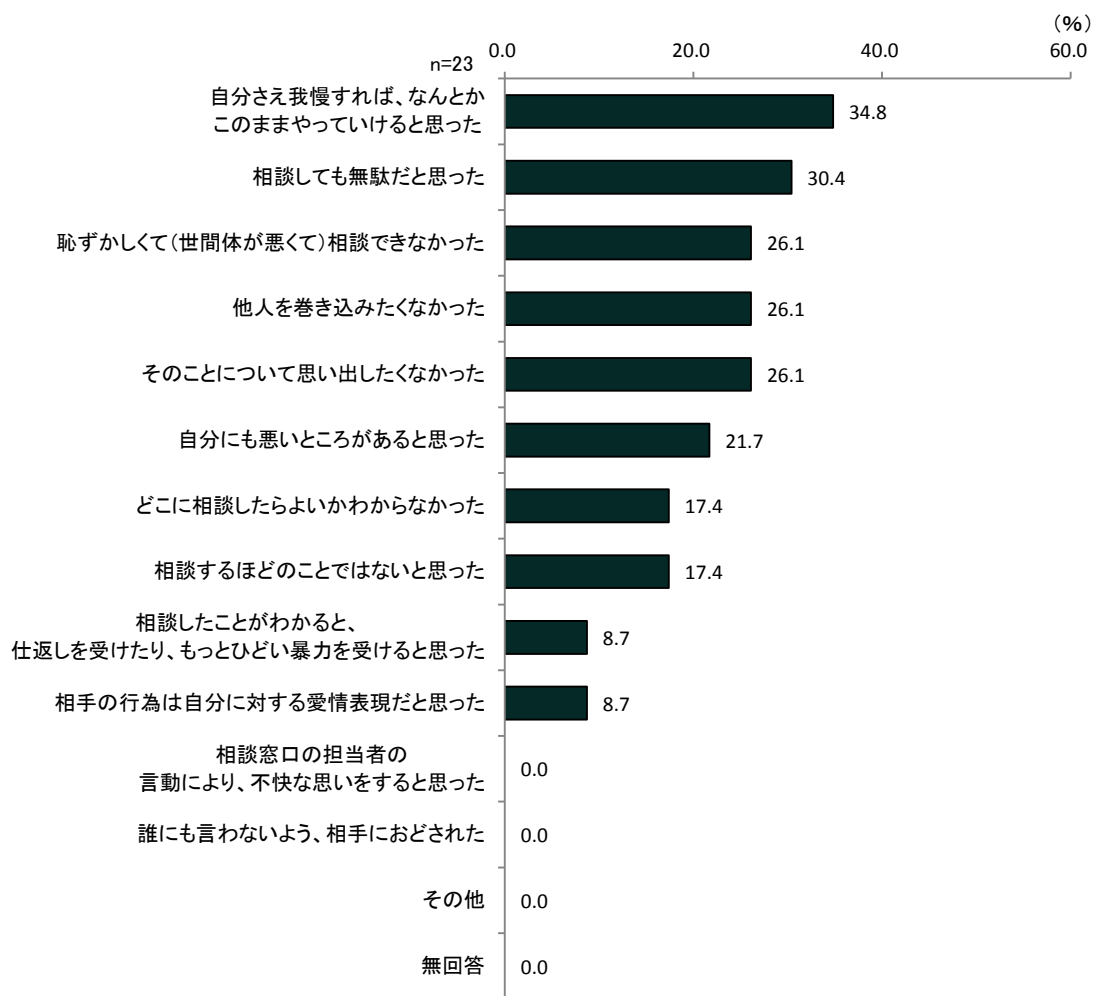
《問 34-2 で「1.」を選択された方にお聞きします。》

問34-3 誰（どこ）にも相談しなかった理由は何ですか。

【〇はいくつでも】

誰（どこ）にも相談しなかった理由について、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が 34.8%と最も高くなっています。ついで、「相談しても無駄だと思った」が 30.4%、「恥ずかしくて（世間体が悪くて）相談できなかった」、「他人を巻き込みたくなかった」、「そのことについて思い出したくなかった」が 26.1%となっています。

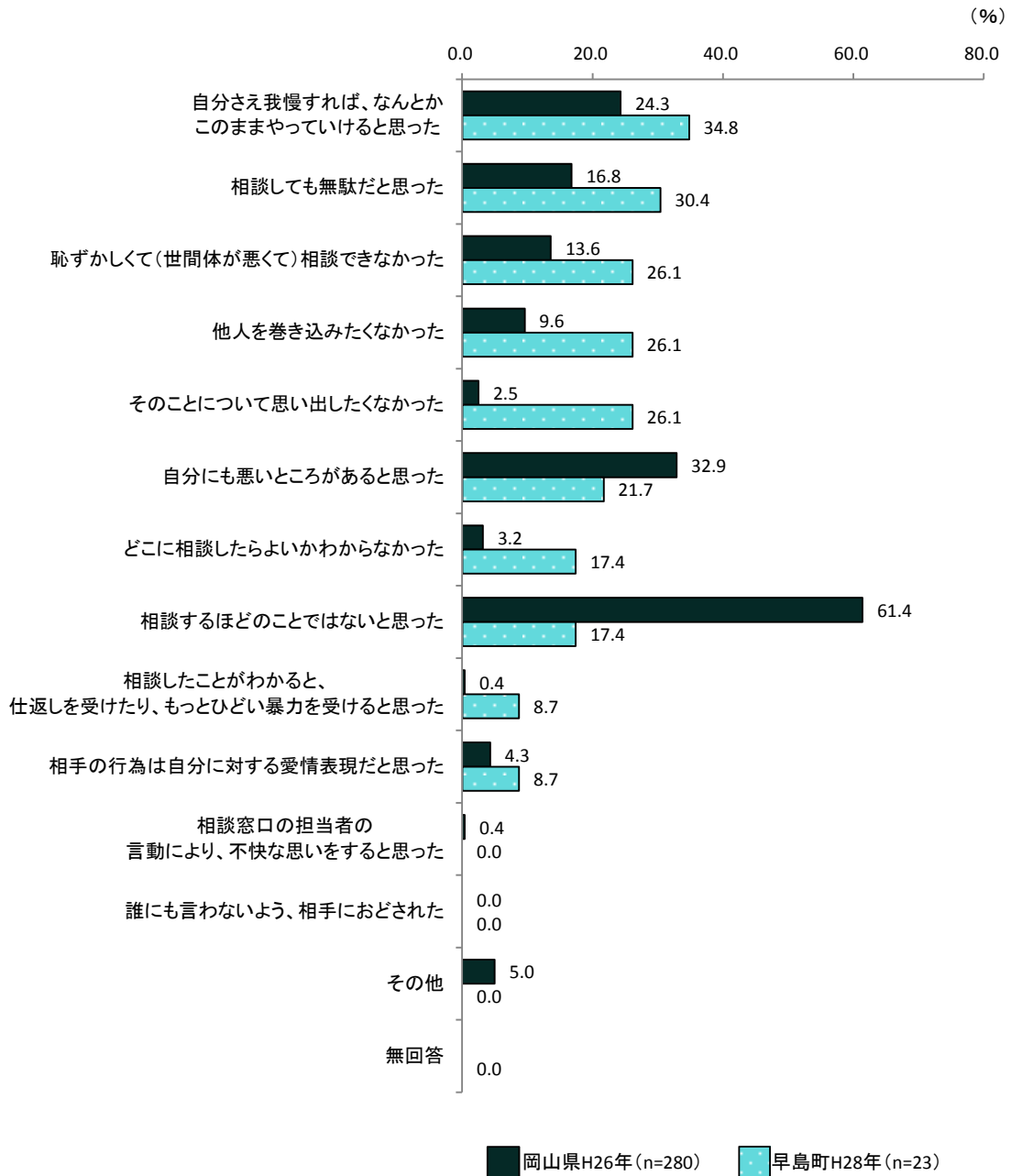
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「相談するほどのことではないと思った」が 44.0 ポイント高くなっています。

【県との比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思った」が40.0ポイント低くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思った」と、「他人を巻き込みたくなかった」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った	相談しても無駄だと思った	恥ずかしくて（世間体が悪くて）相談できなかつた	他人を巻き込みたくなかつた	そのことについて思い出したくなかつた	自分にも悪いところがあると	どこに相談したらよいかわからなかつた
全体		23	34.8	30.4	26.1	26.1	26.1	21.7	17.4
性別	男性	3	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	女性	20	40.0	35.0	20.0	25.0	25.0	25.0	20.0
年齢別	20～29歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30～39歳	3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	40～49歳	6	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	50.0
	50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	6	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0
	70～79歳	6	66.7	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
	80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
全体		23	17.4	8.7	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	20	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	20～29歳	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～79歳	6	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【地域分類別】

地域分類別でみると、「北部」は「相談しても無駄だと思った」(55.6%)が高くなっており、「南部」は「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」(42.9%)が高くなっていきます。

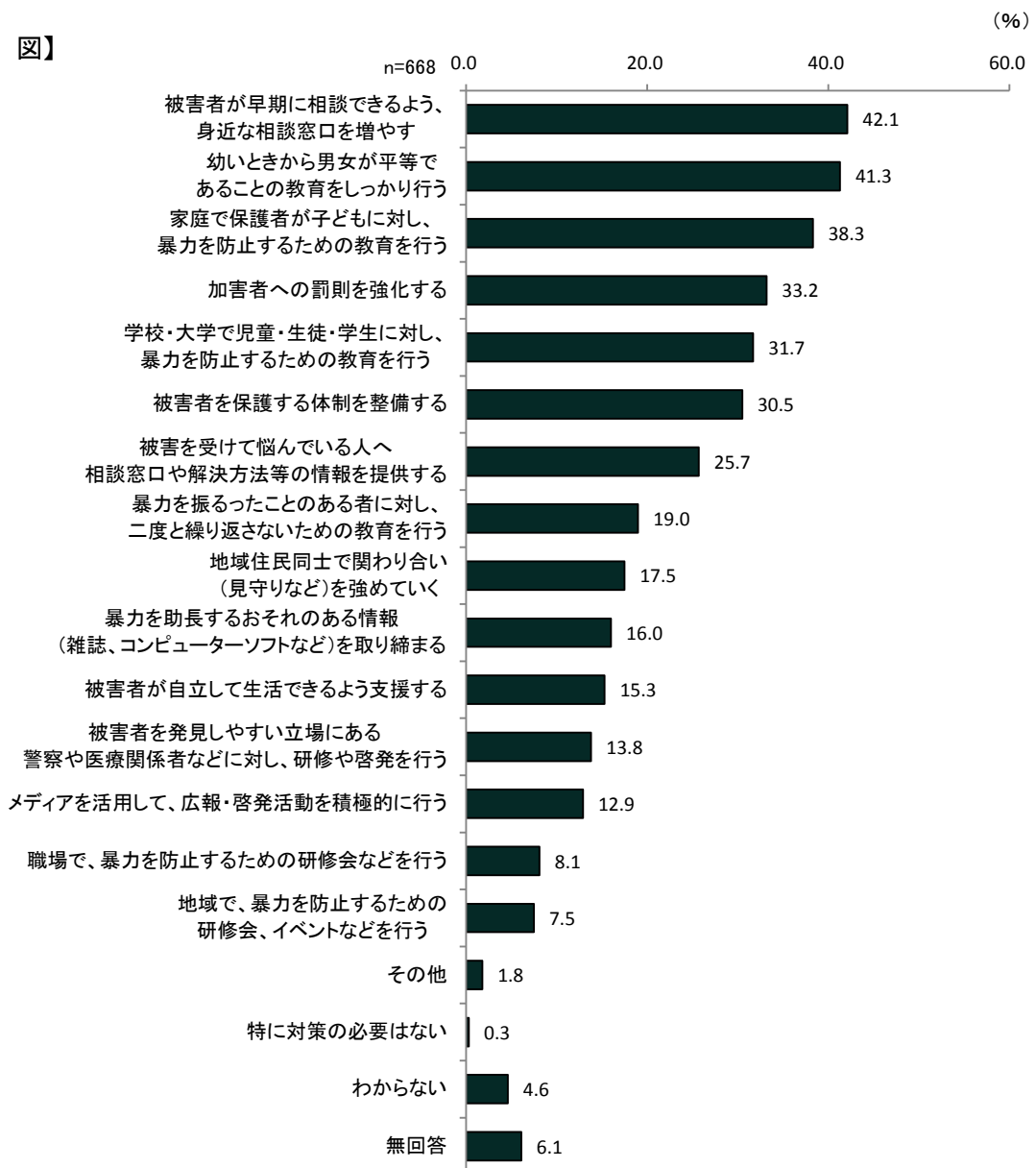
【地域分類別 表】

	サンプル数	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った	相談しても無駄だと思った	恥ずかしくて(相談できなかつた)	他人を巻き込みたくなかつた	そのことについて思い出したくなかつた	自分にも悪いところがあると	どこに相談したらよいかわからなかつた
全体	23	34.8	30.4	26.1	26.1	26.1	21.7	17.4
地域分類別	北部	9	22.2	55.6	22.2	22.2	11.1	22.2
	南部	14	42.9	14.3	28.6	28.6	35.7	14.3
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サンプル数	相談するほどのことではないと思つた	相談したことがわかると、ひどい暴力を受けたり、思った	相手の行為は自分に対する愛情表現だと思つた	相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思つた	誰にも言わないよう、相手に	その他	無回答
全体	23	17.4	8.7	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0
地域分類別	北部	9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	南部	14	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 35 男女間における暴力（配偶者や交際相手からの暴力、性犯罪、セクシュアルハラスメントなど）への取組として必要だと思うことは何ですか。 【〇はいくつでも】

男女間における暴力に必要な取組について、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が 42.1%と最も高くなっています。ついで、「幼いときから男女が平等であることの教育をしっかりと行う」が 41.3%、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が 38.3%となっています。

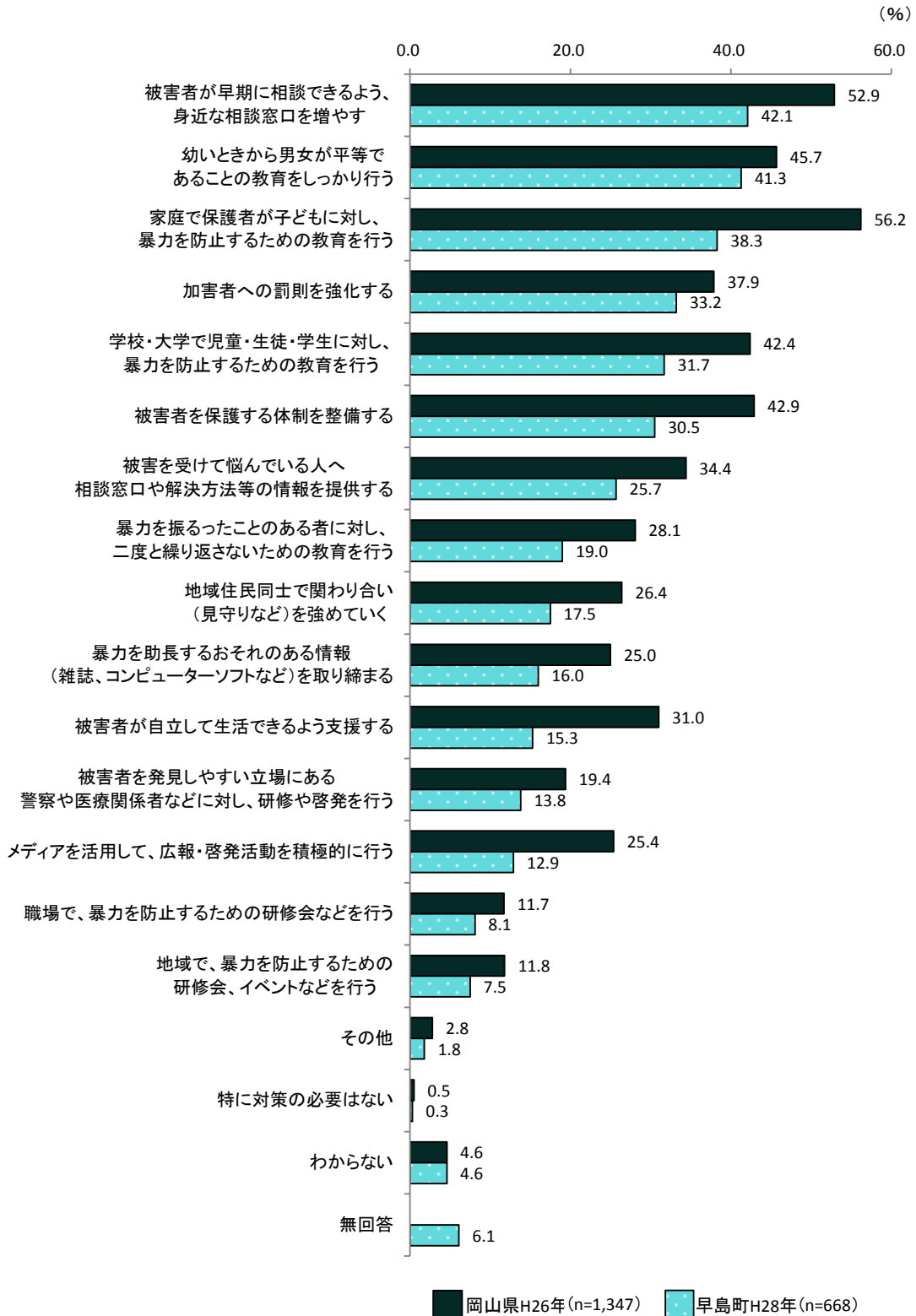
【全体 図】



【県との比較】

県との比較でみると、「岡山県 H26 年」は「早島町 H28 年」に比べて、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が 17.9 ポイント高くなっています。

【県との比較 図】



【性別・年齢別・居住年数別】

性別でみると、「男性」は「女性」に比べて、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」が8.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」から「70～79歳」にかけて年齢が上がるにつれて「加害者を保護する体制を整備する」が低くなっています。

居住年数別にみると、「1年以上5年未満」から「30年以上」にかけて居住年数が上がるにつれて「被害者を保護する体制を整備する」が低くなっています。また、「1年未満」から「20年以上30年未満」にかけて居住年数が上がるにつれて「被害を受けて悩んでいる人へ相談窓口や解決方法等の情報を提供する」が低くなっています。

【性別・年齢別・居住年数別 表】

		サンプル数	被害者が早期に相談できる よう、身近な相談窓口を増やす	幼いことからの教育をしっかりと	家庭で保護者が子どものために 教育を行う	加害者への罰則を強化する	学校・大学で児童・生徒・ 学生に対し、暴力を防止す るための教育	被害者を保護する体制を整 備する	被害を受けた悩んでいる人 へ相談窓口や解決方法等 の情報を提供する	暴力を振ったことのある 者に 対し、 二度と 繰り返 さない ための 教育を 行う	地域住民同士で （見守りなど）を 強めて いく					
全体		668	42.1	41.3	38.3	33.2	31.7	30.5	25.7	19.0	17.5					
性別	男性	272	40.8	41.9	43.4	34.2	35.3	29.4	27.2	18.8	17.3					
	女性	384	43.5	41.7	35.4	32.6	30.2	31.8	25.3	19.8	17.7					
年齢別	20～29歳	63	42.9	22.2	30.2	36.5	30.2	36.5	28.6	17.5	14.3					
	30～39歳	86	47.7	40.7	34.9	48.8	31.4	41.9	30.2	22.1	16.3					
	40～49歳	175	45.1	39.4	39.4	36.6	25.7	38.3	26.3	20.0	14.9					
	50～59歳	59	42.4	49.2	35.6	32.2	39.0	30.5	28.8	15.3	13.6					
	60～69歳	113	42.5	46.9	42.5	32.7	40.7	28.3	31.0	16.8	23.0					
	70～79歳	91	37.4	47.3	40.7	20.9	29.7	14.3	16.5	24.2	19.8					
	80歳以上	71	33.8	43.7	42.3	18.3	35.2	18.3	19.7	16.9	19.7					
居住年数別	1年未満	6	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	0.0					
	1年以上5年未満	25	56.0	44.0	36.0	40.0	48.0	60.0	40.0	24.0	24.0					
	5年以上10年未満	53	52.8	45.3	43.4	41.5	39.6	47.2	34.0	34.0	18.9					
	10年以上20年未満	106	38.7	31.1	29.2	42.5	24.5	30.2	26.4	15.1	13.2					
	20年以上30年未満	111	31.5	35.1	38.7	39.6	25.2	29.7	19.8	13.5	13.5					
	30年以上	357	43.7	45.7	40.3	26.1	33.9	26.1	24.9	19.6	19.3					
		サンプル数	ソ情報（雑誌など）を 取り締まる	暴力を助長するおそれ がある	被害者が自立して生活 できる	よう支援する	ある、警察や医療関係者 など	被害者を発見しやすい 立場に	啓発活動を積極的に 行う	メディアを活用して、 広報・	職場、研修会、暴 力を防止するた め	の地域で、暴 力を防止するた め	その他	特に 対策の 必要は ない	わか らな い	無 回 答
全体		668	16.0	15.3	13.8	12.9	8.1	7.5	1.8	0.3	4.6	6.1				
性別	男性	272	15.8	12.9	11.8	12.9	10.3	8.5	2.6	0.7	4.0	4.8				
	女性	384	16.7	17.4	15.4	13.0	6.8	7.0	1.3	0.0	4.9	6.0				
年齢別	20～29歳	63	14.3	15.9	14.3	14.3	7.9	4.8	1.6	1.6	6.3	3.2				
	30～39歳	86	12.8	17.4	20.9	12.8	9.3	7.0	3.5	0.0	5.8	1.2				
	40～49歳	175	9.7	17.1	13.7	13.1	5.7	4.0	1.7	0.0	3.4	2.9				
	50～59歳	59	15.3	15.3	15.3	15.3	6.8	8.5	3.4	1.7	5.1	5.1				
	60～69歳	113	24.8	16.8	14.2	16.8	8.8	13.3	1.8	0.0	1.8	3.5				
	70～79歳	91	20.9	14.3	9.9	9.9	14.3	9.9	1.1	0.0	5.5	13.2				
	80歳以上	71	18.3	8.5	8.5	7.0	5.6	7.0	0.0	0.0	8.5	15.5				
居住年数別	1年未満	6	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年以上5年未満	25	8.0	16.0	20.0	8.0	16.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0				
	5年以上10年未満	53	13.2	15.1	22.6	24.5	7.5	7.5	1.9	0.0	1.9	0.0				
	10年以上20年未満	106	16.0	17.0	11.3	10.4	4.7	1.9	1.9	0.9	3.8	5.7				
	20年以上30年未満	111	11.7	19.8	17.1	15.3	9.0	9.9	4.5	0.0	7.2	3.6				
	30年以上	357	18.8	13.7	11.5	11.2	7.8	8.1	1.1	0.0	5.0	7.8				

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別】

地域分類別でみると、「北部」は「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」(38.9%)が高くなっており、「南部」は「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(45.3%)が高くなっています。

住みやすさ別でみると、「大変住みよい」は「まあ住みよい」に比べて、大きな差はみられません。

町政への満足度別でみると、「満足群」は「不満群」に比べて、「地域住民同士で関わり合い（見守りなど）を強めていく」が9.4ポイント低くなっています。

【地域分類・住みやすさ・町政への満足度別 表】

	サンプル数	被害者が早期に相談できるような身近な相談窓口を増やす	幼いときから男女が平等であることのできる教育を行う	家庭で保護者が子どもにたいして、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	学校・大学で児童・生徒・学生の教育、暴力を防止するた	被害者を保護する体制を整備する	被害を受けた人への相談窓口や解決方法等の情報提供	暴力を振ったことのある者に対する、二度と繰り返さないための教育を行う	地域住民同士で関わり合い（見守りなど）を強めていく		
全体	668	42.1	41.3	38.3	33.2	31.7	30.5	25.7	19.0	17.5		
地域分類別												
北部	239	36.8	38.5	38.9	35.6	32.2	28.5	22.6	18.0	18.4		
南部	406	45.3	44.1	38.9	31.5	32.3	30.5	27.3	20.2	16.7		
その他	10	40.0	30.0	20.0	40.0	30.0	80.0	40.0	20.0	20.0		
住みやすさ別												
大変住みよい	204	44.6	39.7	39.7	32.8	32.8	30.9	27.9	16.2	17.6		
まあ住みよい	368	42.4	43.2	38.9	32.3	30.7	31.5	27.4	20.1	17.9		
どちらともいえない	61	31.1	41.0	32.8	36.1	29.5	16.4	8.2	21.3	13.1		
やや住みにくい	17	52.9	35.3	35.3	47.1	47.1	58.8	41.2	23.5	17.6		
大変住みにくい	6	33.3	50.0	33.3	50.0	50.0	16.7	0.0	16.7	33.3		
町政への満足度別												
満足群	319	43.6	43.3	42.6	30.1	32.9	29.5	29.8	19.4	16.3		
どちらともいえない	255	40.4	40.8	31.8	37.6	29.8	31.0	21.6	19.2	16.5		
不満群	74	40.5	39.2	43.2	35.1	35.1	32.4	23.0	17.6	25.7		
	サンプル数	情報（雑誌、コンピュター）を助長するおそれのあるソフト（雑誌、コンピュター）を取り締まる	被害者が自立して生活できるよう支援する	被害者を発見しやすい立場にあり、警察や医療関係者などに対する、啓発や啓蒙を行う	啓発活動を積極的に、広報・メディアを活用して、広報・職場で、暴力を防止するための研修会などを行う	地域の研修会、イベントなどを行う	その他	特に対策の必要はない	わからない	無回答		
全体	668	16.0	15.3	13.8	12.9	8.1	7.5	1.8	0.3	4.6	6.1	
地域分類別												
北部	239	18.0	16.3	13.4	12.1	8.4	9.6	1.7	0.0	3.8	7.1	
南部	406	15.3	15.0	13.8	13.3	7.9	6.4	2.0	0.5	5.2	4.9	
その他	10	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	
住みやすさ別												
大変住みよい	204	16.2	16.7	11.8	12.3	8.8	6.4	2.5	0.0	2.9	4.9	
まあ住みよい	368	16.0	14.7	14.4	12.5	8.2	8.2	1.6	0.3	4.3	5.7	
どちらともいえない	61	19.7	13.1	18.0	18.0	3.3	4.9	1.6	0.0	9.8	6.6	
やや住みにくい	17	17.6	17.6	11.8	5.9	11.8	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	
大変住みにくい	6	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	
町政への満足度別												
満足群	319	15.7	14.1	14.7	12.2	10.3	10.0	1.6	0.0	2.5	7.2	
どちらともいえない	255	15.3	16.1	13.7	12.9	6.3	3.9	1.6	0.0	6.3	3.5	
不満群	74	18.9	14.9	10.8	18.9	6.8	10.8	4.1	2.7	8.1	5.4	

6 重要度・満足度から見た分析について

重要度：問27（早島町に対して特に力を入れてほしいと望むことについて）で選択されたものについて、1位を5点、2位を4点、3位を3点、4位を2点、5位を1点、選ばれなかった場合は0点とし、各項目の平均値を重要度の得点としました。

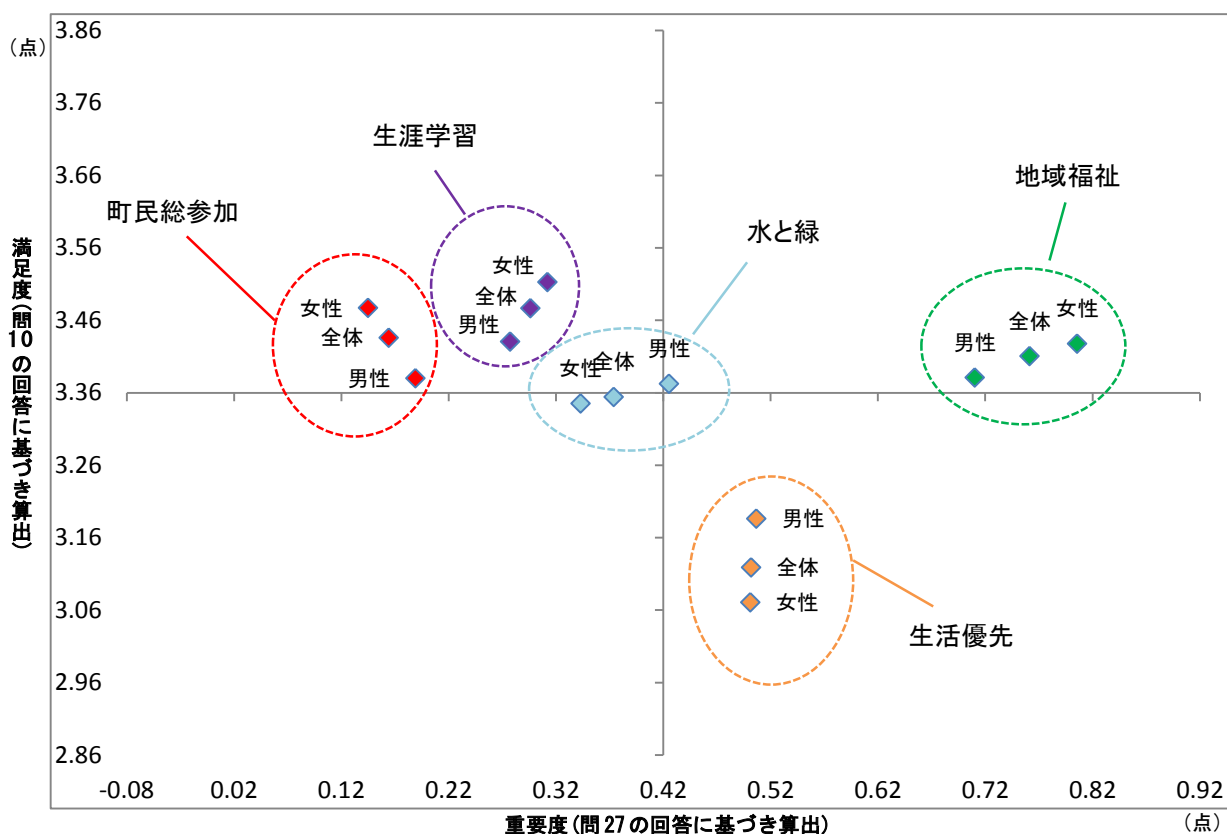
満足度：問10（早島町での暮らしをとりまく生活環境への満足度について）で「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満である」を2点、「不満である」を1点とし、各項目の平均値を満足度の得点としました。

※重要度と満足度の交点は、それぞれの平均点とし、その平均点から各項目の位置を比較した。

【全体・性別】

全体、性別ともに、「生活優先」の項目について、重要度が高く、満足度が低くなっています。

【全体・性別 図】

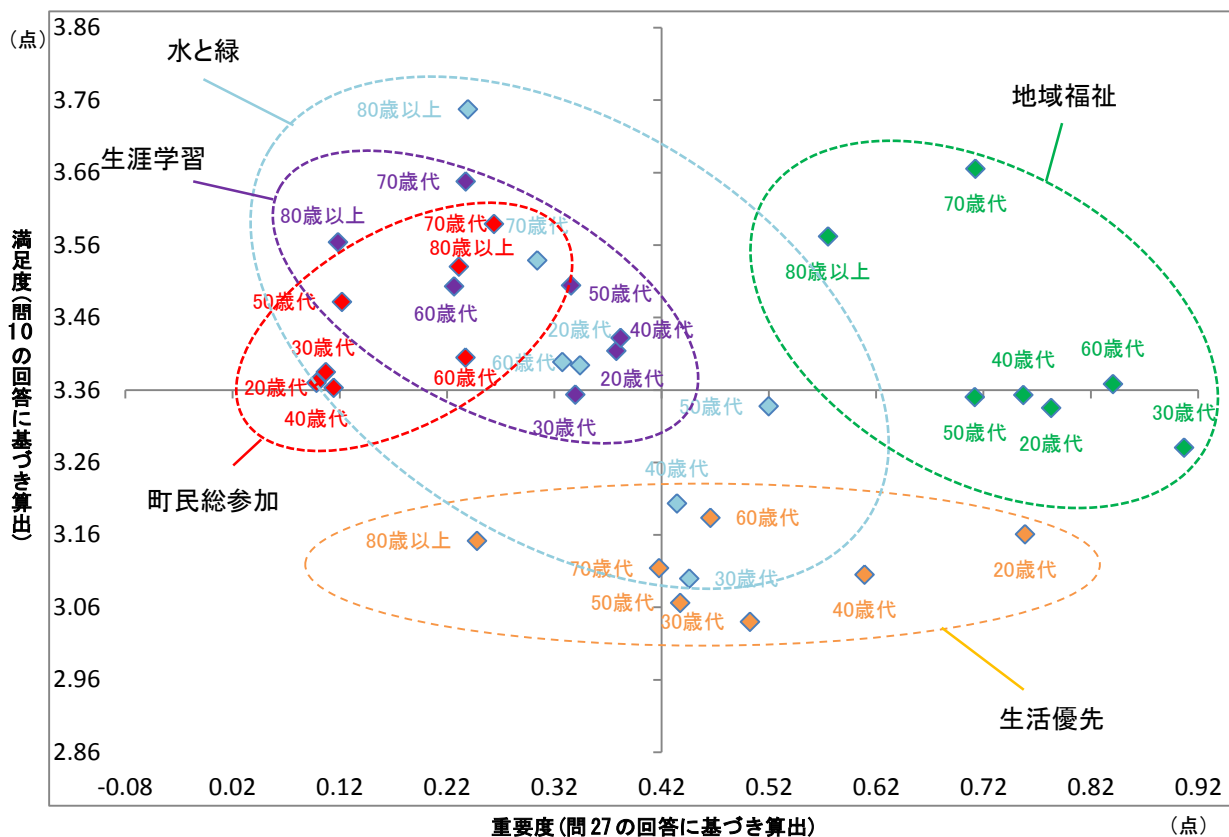


【年齢別】

年齢別でみると、「生活優先」の項目について、満足度は年齢にかかわらず低くなっていますが、「20歳代」、「40歳代」、「30歳代」といった若い年齢層で重要度が高くなっています。

「地域福祉」の項目については、重要度が年齢にかかわらず高くなっていますが、「70歳代」、「80歳代」といった高年齢層で満足度が高くなっています。

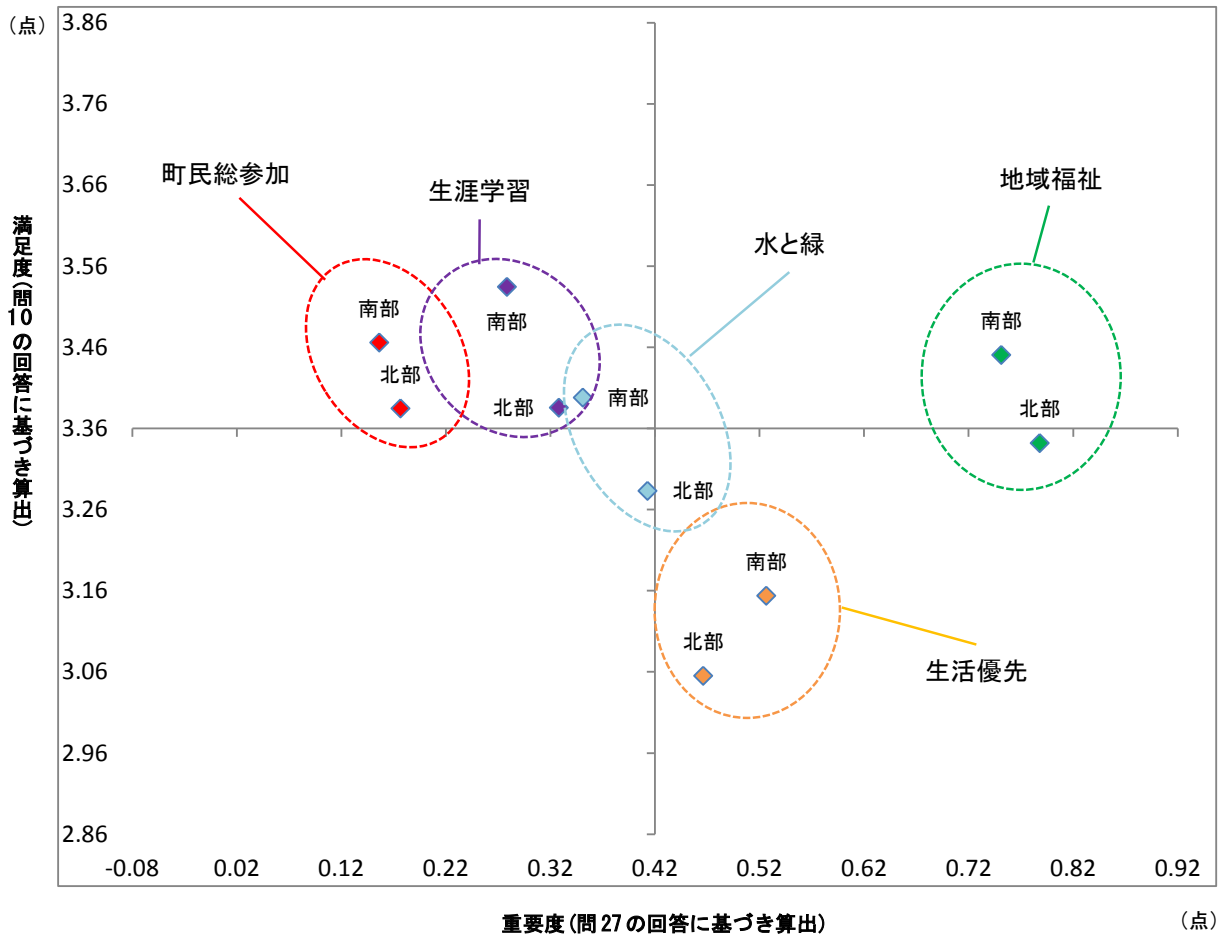
【年齢別 図】



【地域別】

地域別でみると、すべての項目について、「北部」よりも「南部」の方が満足度が高くなっています。

【地域分類別 図】

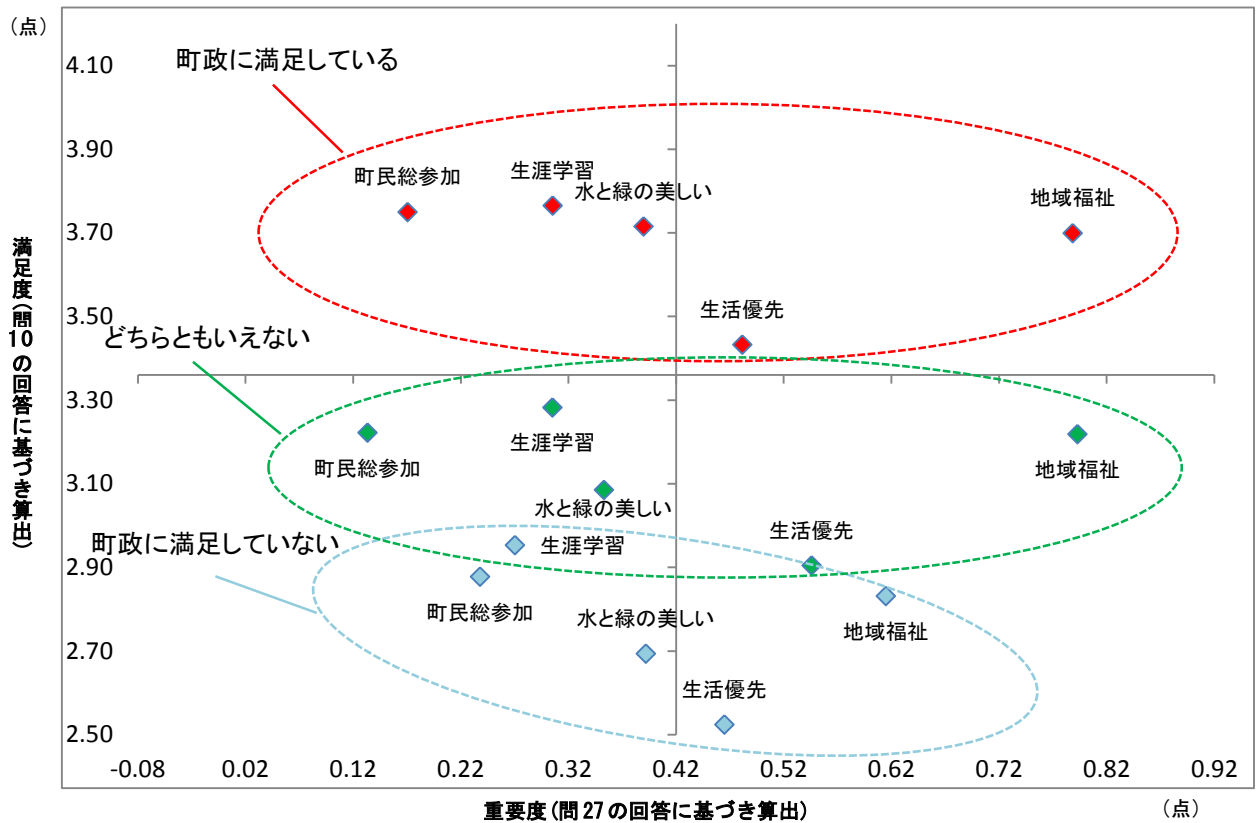


【町政への満足度別】

町政への満足度別でみると、すべての回答群の重要度は、「地域福祉」について得点が高く、「町民総参加」についての得点が低くなっています。

また、「町政に満足している」場合、すべての項目の満足度が高く、「町政に満足していない」場合、すべての項目の満足度が低くなっています。町政への満足度は、特定の項目ではなく、すべての項目の満足度が関連していると考えられます。

【町政への満足度別 図】

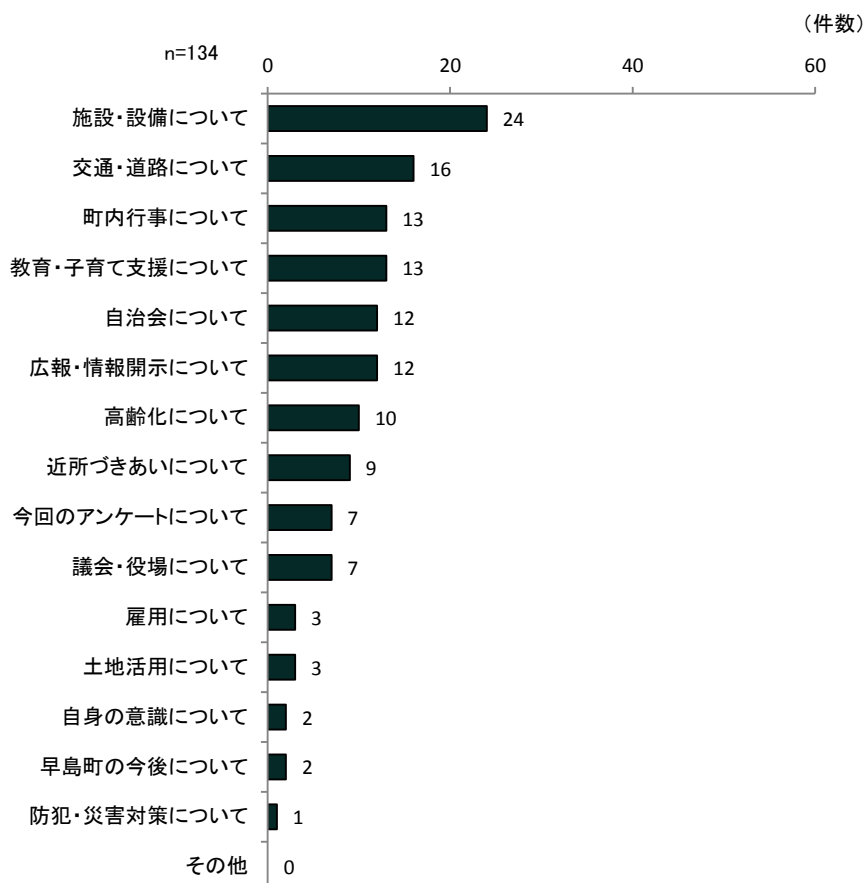


7 自由意見について

問36 町では「自分たちのまちは自分たちで！」という町民参加によるまちづくりを推進しています。ご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。 【自由意見】

町民参加によるまちづくりへのご意見ご要望について、「施設について」に分類されるものが24件と最も高くなっています。ついで、「交通・道路について」に分類されるものが16件、「町内行事について」と「教育・子育て支援について」がともに13件となっています。

【分類 図】



1. 施設・整備について

意見
早島駅のエスカレーターかエレベーター（特にエレベーター）設置を1日も早くお願いします。困っている人々が多くいます。町内に病児保育の設置を1日も早くお願いします。（女性 30～39歳）
役場東入口横のリサイクルコーナーにもっと回収できる物をふやして、いつでも利用できるようにしてほしいです。（高知県だったか、こんな取り組みをしている町があるようです）生活道路を30km以上のスピードで走行する車はこわいです。公用車がペースメーカー車として町内を走行してくだされば抑止力となるのではと考えます。（女性 60～69歳）
駅前の野外コンサートは良かった。森林公園はよいのもう少し整備や清掃をして下さい。深砂公園も同様です。（男性 60～69歳）

2. 交通・道路について

意見
大野地区に住んでいます、小学校通学に間に合う時間帯にバスが通っていないので、改善してほしいです。あと幼稚園用の駐車場を作って欲しいです。通うのに少し距離があり小さい子供2人、3人連れて歩くには大変です。(男性 30~39歳)
これから日が短くなり、街灯が必要になります。駅前ルートの街灯が少し暗いです。また樹木が邪魔になり、よく暗くなっています。その他の地区での街灯も切れたら一週間以上そのままになっているものもあります。毎日、夜になったシルバー会員でもいいのでパトロールをしたらどうでしょうか。また、夜は街灯が切れていると街灯の番号がみえません。(安心安全で住みよい町づくりのために)(男性 60~69歳)
早島町は災害も少なく住み良い町であるが、岡山と倉敷の中間で公共の交通網が不便で車がないと生活できない状況。その中、コミュニティバスは良いと思うが倉敷方面への手段がなく、何らかの手段を講じていただきたい。(男性 60~69歳)

3. 町内行事について

意見
町外の方も来くなるようなお祭りやイベント(フリーマーケットなど)をもっと増やし、たくさん宣伝してほしいです。(女性 20~29歳)
夏祭り、今年はとても賑やかで良かったので、来年も花火は数を減らしても上げてほしい。(女性 70~79歳)
毎年7月中旬~8月中旬頃まで土曜夜市がどこの市町村でもあるので、早島町商工会開催で何か出来ればよいと思います。(男性 60~69歳)

4. 教育・子育て支援について

意見
シングルマザーの家庭が受けられる制度が色々あると思いますが、意外と自分で調べてみないとわからない制度が多く、困った経験があります。働きに行かないといけないので役場に何度も足を運ぶわけにも行きません。シングルマザー(ファザー)向けのガイドブックのような物があればありがたいと思います。所得によって受給が変動するのも分かりやすい説明や計算方法があれば良いなと思います。(女性 30~39歳)
小学生学童保育長期休み(夏休み等)期間の預入時間等の件、保育園は7:00~利用できる為、現在仕事を続けられています。しかし、小学校の長期休み期間の学童保育の預け入れが8:30~となり、これでは仕事開始時間に間に合わない為、退職せざるを得ません。さらに小4からは預け先がなくなるとのこと、このままの体制では女性(母親)が仕事を続けることは不可能です。仕事(会社)は子供が小学校に上がっても変わらないことを認識頂きたい。子供を育てながら男女共に仕事を一生涯(定年まで)続けていける社会体制が確立された町を強く望みます。(女性 30~39歳)
小学校の下校時に地域の年輩の方が道路に立って下さいます。登校時もそうですが、ほんとうにありがたく感謝しています。(女性 40~49歳)

5. 自治会について

意見
他の自治体よりしっかり地域活動も多く取り組んでいる町だと思います。私は早島が大好きです。(女性 40~49歳)
町内の回覧もスクールネットのようにメールも利用してほしい。(男性 40~49歳)
自治会活動の活発化に取り込む。老人クラブの活動はある程度行なわれているが自治会役員を中心にした活動がなく、部落での輪がつくれていない。(男性 70~79歳)

6. 広報・情報開示について

意見
自ら進んで参加したいと思う様な町政になっていく事が理想ですが、情報は意識がないからか、少なく感じます。 (女性 40~49歳)
自分たちのまちは自分たちで、ということではやはり、町民がまちづくりの活動に積極的に参加することが必要であると考えます。町内でイベントや行事があれば、広報などの広告を用いた住民に対する呼びかけやあらゆる場にポスターなどで貼り付けるなど、誰もが知ることのできる方法が効果的であると思う。(男性 20~29歳)
いろいろな活動が有るのですが各々の活動内容を発表してもらいたい。今後自由時間が出来たら参加を考えたい。 (男性 60~69歳)

7. 高齢化について

意見
高齢化で足(交通手段)のない人は買い物も困るだろうし、特に町内で手に入らないものとかなんとならんどしようかね。自転車屋さんとか、今ある所がなくなったらすごく困ると思う。(女性 30~39歳)
団地では皆、高齢になってきましたので、自治会、老人会それぞれで役員を捜すのは、無理です。自治会と老人会を1本化すべきです。夏祭りなども負担の軽い催しにした方が良いと思います。コンビニがいかしの舎周辺に集中しています。何とか、二号線より北の団地へ1つ出来ないでしょうか。車を運転出来なくなっている高齢者も増えています。(女性 60~69歳)
高齢化が進む中で、早島では地元で定住するケースが多い様に思います。(若者が)新しく早島に移住する方も増えてきていますが、これからの早島を考えるなら、若い年代(25~40ぐらい?)の意見をもっと聞いてみては?長い間、早島に住んでいますそういった場があるのかわかりませんが。(男性 20~29歳)

8. 近所づきあいについて

意見
自治会には入っていませんが近所の方々がやさしくあいさつをしてくれます。1人1人が自分のまちだという気持ちが伝わってくる気がします。まだ早島に来てから数年しかたっていませんが、将来、家をたてるのは早島がいいと夫婦で話しています。より良い町づくりをお願いします。(女性 20~29歳)
町の単位より団地の単位でまずは参加していき、グループコミュニティを結束し、顔の見える団地づくり、助けあえる近所関係の構築が必要なのは…町民運動会だけじゃない。団地対抗のものが増え、張り合い・団結をもてる場を、三世代交流の場を作ってほしい。(女性 40~49歳)
古くから住んでいる方(学校も一緒)と新たな住民との接点がなく、違和感がある。何かできませんか?何か交流地点でもあれば。(男性 60~69歳)

9. 今回のアンケートについて

意見
アンケートの解答数の上限が2つまでという設問が多かったが、説得力のある解答例が多く判断に迷うため、せめて3つまでとしていただきたかった。(男性 40~49歳)
アンケートに答えて自分自身に参加意識が薄いことがよくわかった。町民に「自分たちのまちは自分たちで」という意識がはたしてどれくらいあるのだろうか?まだまだ「行政からサービスを提供してもらおう」という意識が強く、自分のこととして考えていない人が多いのではないかと思う。(男性 50~59歳)
継続性があり方向の見える町づくりこそが大事ではないか。アンケート結果も一資料だが、今までの町政と現状とを分析する中から見えてくるものがあるはず。(男性 70~79歳)

10. 議会・役場について

意見
新しい事をやってみては。(男性 60~69 歳)
難題だと思いますが、町を良くする前向の姿勢には拍手を送りたい。(男性 70~79 歳)
議会だより 27 年 12 月 1 日発行の中より議員定数を減らすべきとの問に対して、議会の役割を重要視しており議論形成の為にはある一定の数が必要で有ると云うことだが、今その議論形成がなされていない。それは今迄さすが町会議員だなどという事項が一つもない。そんなわけで今 10 人を 8 人にして判断する。報酬も減額するべきで有る。今現在、報酬だけの成果を上げていない。早急に対応するべきで有る。又、議員にも年齢制限を設ける上は 65 才で止めるべきだ。(男性 70~79 歳)

11. 雇用について

意見
農業を後継者が続けにくいと感じる。設備費、労働などを考えても全く収入に結びつかないことが原因。(女性 60~69 歳)
今現在、私の組合では子供が少しかいないので若い人に子供を増やし、仕事がしやすい町作りをしていただきたい。(女性 60~69 歳)
職の安定、住環境の推進、もっと安全便利な町づくり。職なくして若者の定住無し。南部での過疎化の現実、老人に活躍の場を元気過ぎ。(男性 40~49 歳)

12. 土地活用について

意見
調整区域の土地があります。活用も出来ず、困っています。毎年、税金だけ払っています。町の方では、対応するフリだけをしてると。周りの同じ立場の方で、そう言う方もいます。困っているのはきっと多くまだいるのでは…自分たちではどうすることもできないです…。(女性 30~39 歳)
宅地不足、保育園不足、新たな定住者の受け入れ体制ができてない。きめ細かいケアを望む。(男性 30~39 歳)
町の人口を増やす。住宅地を整備し定住できる町作り。企業の誘地より家庭、家族を増やし、活気ある町に。町の収入も大事と思いますが、日曜日、祝日でも活気があり、人間ありきの早島町にして欲しいです。町に住民がいての話と思います。(男性 40~49 歳)

13. 自身の意識について

意見
一人一人が一人の人を大切にという気持ちになればよいまちづくりになるのではと思います。(女性 60~69 歳)
自分の事で精一杯ですが、余裕が出来たら考えてみたいと思います。今の早島は住みやすいと思います。(男性 60~69 歳)

14. 早島町の今後について

意見
日本、そして世界に誇れる早島町の良い所を、もっと前面に出してほしい。(男性 20~29 歳)
心温まる早島でありたい。昭和平成の過去を思い出し、今でも余波が漂っている感じです。楽しい日々が来ることを心待ちしています。(性別不明 80 歳以上)

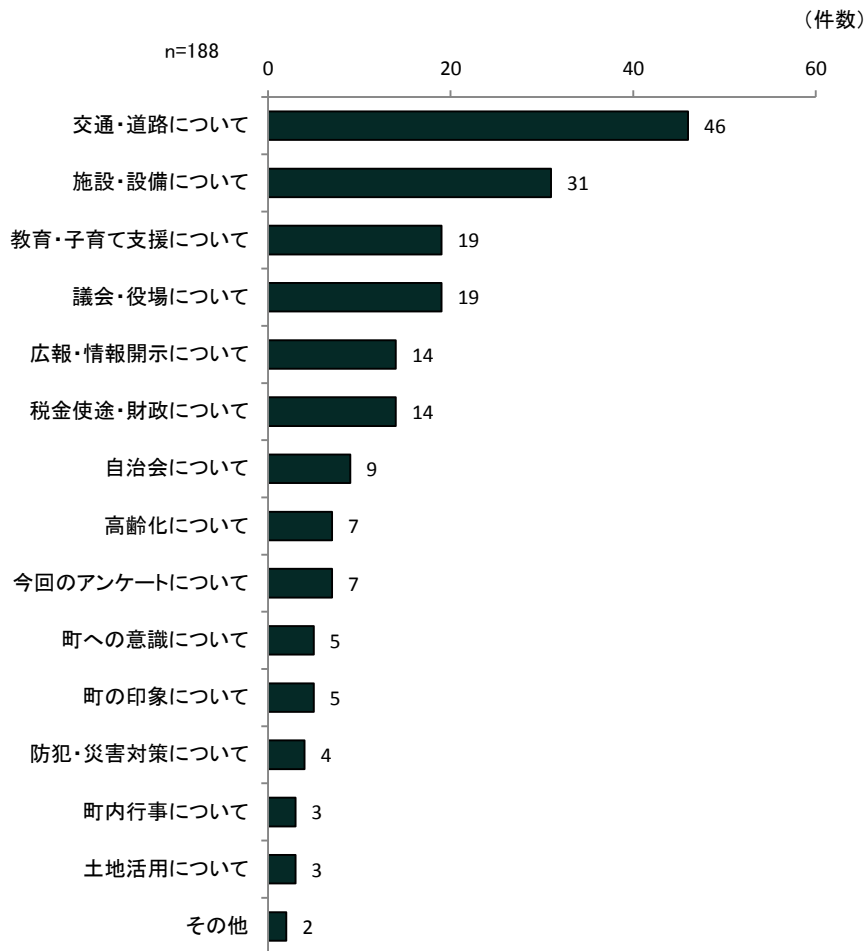
15. 防犯・災害対策について

意見
防災訓練で支援学校に移動するのは、低地へ一担下るので大谷池が欠いたりも考えられ、津波も心配なので好ましくないのでは？訓練と本番が違っては、東日本大震災でも問題になった小学校のようになるのではないのでしょうか？若宮園に行くのが一番です。(男性 60~69 歳)

問37 最後に町政運営や、まちづくりに対するご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。 【自由意見】

町政運営や、まちづくりに対するご意見ご要望について、「道路・交通について」に分類されるものが46件と最も高くなっています。ついで、「施設について」に分類されるものが31件、「教育・子育て支援について」と「議会・役場について」がともに19件となっています。

【分類 図】



1. 交通・道路について

意見
他県出身者なのですが、むき出しの用水路が非常に多く、子供達の通学、自分が車を運転する時も、とても不安を感じます。ポールなどで目印を立ててあっても、転落は防止できないと思います。ガードレールや、柵、等対策をとって欲しいと思います。中学校が自転車通学なのに、子供たちが安心して自転車の練習をしたり、乗ったりできる場所がありません。グラウンドや、公園でも「乗らないでくれ」と言われるし、マスカット球場のところに車で行って、そこで練習を皆さんされています。もっと子供が遊べるよう整備して下さい。(女性 40～49歳)
町道の整備をよろしくお願いします。接する斜面がくずれているところがあります。接する土地は民間の土地ですが、年々くずれが激しくなっています。災害が起きる前の対策・危機管理をしていただきたいと思います。(女性 50～59歳)
町道で舗道の悪いところがあると思いますので出来るだけ早く行なってもらいたい。長津の天神様の前の町道でトラックが通った時少しの段差があるためドンと音がするので一度確認してもらいたい。(男性 60～69歳)

2. 施設・設備について

意見
早鳥駅のバイク駐車場あたりの防犯カメラの設置をして欲しいです。カギをかけていたのにその付近で盗難にありました。その後も次の新しい自転車を壊されていました。(女性 20~29歳)
児童館のような場所が、中心地にしかなく、バイパスより北の子が、バイパスを渡らなくても、遊べるコミュニティが欲しい。夏休み等の過ごし方に困る。コミュニティバスの時間が少なすぎて活用しにくい。(女性 40~49歳)
駅を車イスなどの高齢者でも使いやすいうように、ホームの立橋にエレベーターなどがあると良いと思う。夜道を歩く時街灯が少なく、女性が歩くには危ないと思います。(男性 30~39歳)

3. 教育・子育て支援について

意見
共働きしないと生活は難しいが、子育てをしながら働く事の難しさを感じます。又、小4年生から夏休み等預ける所がなく、だからといって1人で自宅で2ヵ月近く過ごさせるには正直不安です。頼りたくても頼れない場合、結局仕事をやめないとけなくなるのでは。子育てのしやすい町づくりを望みます。(女性 30~39歳)
若者定住のためや子育て支援と合わせて不妊治療の助成も今以上に行って欲しいです。私は体外授精を行っているのですが40才以下は6回まで助成金を頂けるのは助かるのですが、助成金を全て受け取ってしまうと凍結した授精卵を移植するだけでも月13~15万かかり働いていても治療費に一瞬で消えてしまいます。子供が産みたくてもあきらめている方も沢山いるのかも…とってしまいます。(女性 30~39歳)
プールも夏になったら、開放して小学生が夏休み中利用できるようにしてもらいたい。大人も掃除や監視の目を向けたり、出来る事はしていきたい。(男性 30~39歳)

4. 議会・役場について

意見
地産地消を実践して行けば、自然に早鳥町が盛り上がっていくと思います。町民を大切に、町政を行っていただきたい。(女性 40~49歳)
もっと若い人達に町政に関心を持ってもらい若い議員さんが増えて欲しいです。立候補者の年齢を制限してもいいし、議会は夜開かれてもいい位です。女性議員を半数に決めるのもいいです。気候変動や自然災害のことを思うと若い人達のために早鳥は地産地消のできる町であった方が安心な気がします。(女性 70~79歳)
早鳥町の独自性づくりのための対応(策)は必要ない。(他地域と比較するためだけの施策)町民の多くが望む(であろう)策を実施すべき。国や県との協力の中からも大事な方向があるのではないかと。(女性 70~79歳)

5. 広報・情報開示について

意見
広報の議会だよりの疑問に答えるというのは非常に良いと思います。(女性 20~29歳)
広報紙は生活にとっても役立つ内容ですが十分に利用されていないのがもったいないです。読まない人もいらっしゃるようです。(女性 60~69歳)
小さなことでも町内の善良な話があれば新聞等で発表して頂ければ、新聞を広げても楽しみがあります。他の町村では次々とニュースが出ているのを見ると羨ましいです。(女性 80歳以上)

6. 税金使途・財政について

意見
独身女性は結婚しない限り、税金其他のメリットが何もなく、自分1人で老後の生活を考えなくてはならない様な事がないような町になってほしいと願っています。結婚を希望していても、中々出来ない独身者も多いはず。(女性 40~49歳)

教育の町にする方針は、聞いたことがあり、方向性は正しいと思う。税金で行うことは施策実施後、必ず検証が必要、検証結果を公開すること、このようなサイクルで町を盛り上げてほしい。(男性 40~49 歳)

高齢者の為に税金を使わず、もっともっと子供達の為に金を使って下さい。介護保険料など国税でも若年層は大きな負担をしているのに我子には十分な事をしてやれない矛盾。ならば小さな早島町ならではの子育て家庭への大きな支援を望みます。高齢者への優遇はもういいです。将来を担う子供達、それらの家庭への支援をもっともっと手厚くして下さい。(男性 50~59 歳)

7. 自治会について

意見

矢屋は、高齢者が増えて若い世代が増えていません。将来的に民生委員などの役員や自治会の負担が不安です。町から地域住民の負担が減るよう対策をお願いします。(女性 40~49 歳)

若者が参加しやすい体制づくりが必要。(女性 50~59 歳)

8. 高齢化について

意見

町営住宅をもっと増やして欲しい。持ち家のないこれから高齢者のために。強く希望します。(女性 60~69 歳)

高齢者の1人暮らしについて、ご近所とのコミュニケーションはもちろん大事だと思いますが回りも皆、高齢者であり、老々介護の方々も多くなりました。いざという時に連絡先があっても相談が出来、しかるべき対処をお願い出来るシステムがあればと考えます。地域の役員の方達も必ず在宅とも限らないし、不安があります。(女性 70~79 歳)

高齢者の割合が高く実際に早島町で働く若い世代の方が少ない様に感じます。(住居は早島で仕事は町外の人が多い)若い世代の方が定住しかつ就業できる環境整備して誰もが「早島町」としてアピールできる産業の取り込みや開発を期待しています。自分の子供や孫の世代が働きがいを持って仕事出来る町を望みます。(女性 80 歳以上)

9. 今回のアンケートについて

意見

今回、このようなアンケートを初めて受け取りました。「早島町まちづくり憲章」策定のために今日が初めてでしょうか？初めてであれば今回だけでなく、毎年or半期に1度行う。20歳以上の2000人から有用な回答数が、いくつ得られる分かりませんが、母数を増やしては？共に実施するパワーを考慮していませんが、町民としてアンケートを受け取るのは悪い気はしません。(男性 20~29 歳)

アンケートは作るのは、たやすいと思いますが具体的な解答が少ない時その先に進むのが難題です。住みやすい早島を作りましょう。このアンケートは非常に項目が多いと思います。(男性 60~69 歳)

10. 町への意識について

意見

今回、町政が、どの様に行われているのか意識していない事に気づきました。町の設備は、ほぼ南に有。不公平だなあと感じていました。今後この様になるか関心を少しは持つ様にします。(女性 40~49 歳)

両親と同居、勤務先は町外。今回のアンケート調査を回答するにあたって、両親まかせにしており、現状の早島町がわかっていない自分であることがわかりました。今後町の行事など、関心をもっていきたいと思う。さらに良い町へ発展して欲しいと思います。(女性 40~49 歳)

早島の方は、まちへの愛情が強い方が多く住みやすく感じています。大きな公約を提現し、町民が良い変化に気付けるようにしていただきたいです。これからの期待すると共に微力ながら協力していきたいです。(男性 30~39 歳)

11. 町の印象について

意見
他のまちにはない独自の魅力のあるまちにしていければいいと思います。(女性 40~49歳)
町外に出たら、早島町はいい所ですね。住みやすそうですねと良く言われます。(女性 70~79歳)
私は生まれ育ったこの町が大好きです。父も母もこの町で生まれ私を育ててくれました。最近新聞テレビで見聴する事件、何と痛ましいことでしょう。幼い時から人に優しい人を愛し動物を愛する心優しい子供や大人が育て欲しいです。挨拶はされて嬉しくして気持ちよいものです。幼い時からそんな習慣をつけてこの穏やかな町に相応しい人間が育つよう切に願っています。(女性 80歳以上)

12. 防犯・災害対策について

意見
ゲリラ豪雨のような極端な天候が増えている現在、特に早島町は浸水の恐れがあると感じております。田、畑、山の開発ばかりではなく、それによって起こり得る人災とも言える、浸水を防ぐための策を一刻も早く取り組んでいただきたいと思います。(女性 50~59歳)
交番のパトロールが少なすぎる。夕方、夜、バイパスでのバイクの騒音がうるさ過ぎるのでどうにかならないのか。(女性 60~69歳)
できれば交番に警察官が常駐できるようにしていただくと有難い。(男性 40~49歳)

13. 町内行事について

意見
町民運動会は必要でしょうか？なくしてもいいのでは。自治会役員になった年に参加者を探さないといけないが大変。参加者がいない。(女性 40~49歳)
子供から大人まで、一緒に楽しめるイベントが盛んでとても良いことだと思う。しかし、働き盛りの年代が、集まってリフレッシュできる方法を考えていただきたい。どの年代も早島に魅力があるとされる町づくりをお願いしたい。会社なら働く世代が充実してから福利厚生のはずです。早島に長く住んで、高齢者や子供には良いまちづくりになってきたと感じます。が、働く者には何の魅力もない町です。(女性 50~59歳)
私の地域では、南の方の町へ行くのに遠くて年寄り参加しにくいので、南と北に分けていろんな事をしてもらいたい。(女性 60~69歳)

14. 土地活用について

意見
現在、コーポに住んでいますが、将来、戸建てへの住み替えも考えています。近所に空き家や空地はありますが、空き家募集などがあるのか分からないので、町が積極的に関わって、募集などを提示してもらいたいと思います。(女性 40~49歳)
古くからの町の景観を守ることが非常に重要だと感じています。個人の持ち物であれば一概には言えませんが、古い倉や空き家等の活用を町として考えて欲しいです。趣のある建物が取り壊されるのは、もったいないです。特に、いかしの舎から続く町筋の古い倉の並びは、歯抜けになると早島らしさが無くなると思います。サンクス前の倉、何とか活用法を。(女性 40~49歳)
調整区域を減らし市街化を増やし宅地供給化し若者の定着増を計り早人口増を計る。(男性 60~69歳)

15. その他

意見
プライバシーになるので残念ですがやめます。すみません。(女性 70~79歳)